



# 漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領

【2022.10】

北海道建設部

#### 工事工種体系とは

北海道建設部及び建設管理部が施工する土木事業の契約・積算について、透明性・客観性を向上し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、「契約図書を誰がつくっても同一のものになる」ように、請負工事、測量・調査・設計業務の発注に際して作成される数量総括表(設計図書)や設計書・見積用参考資料(参考資料)について、その構成・記述方法の標準化を行っています。この構成・記述方法の標準化が「工事工種体系化」です。

#### 漁港関係工事数量算出要領とは

北海道建設部では、建設管理部が施工する土木工事にかかる工事費用の積算及び契約における透明性・客観性を向上し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、「工事工種体系化」を定めています。

この「工事工種体系化」により工事費用を積算するために、各工種ごとに算出する数量の項目、区分及び算出方法を定めたものが「漁港関係工事数量算出要領」です。

漁港関係工事工種体系化の手引き の **改定**・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)2月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現行	備考																																																						
第2章 工事工種 体系構成 表  2. 漁港 海岸整備  堤防・護 岸・胸壁	45  堤防・護岸・ 胸壁-1	堤防・護岸・胸壁 工事工種体系化構成表(漁港海岸) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)</th> <th>規格(レベル5)</th> <th>規格記入例</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>単価構成内容</th> <th>明示すべき積算条件</th> <th>記載例</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="9">海岸土工</td> </tr> <tr> <td colspan="9">法面整形工</td> </tr> <tr> <td>法面整形(切土部)</td> <td>土質:</td> <td>砂質土</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td>法面整形費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>法面整形(盛土部)</td> <td>—</td> <td></td> <td>m2</td> <td>1</td> <td>法面整形費 土材料費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>護岸法面小段整形</td> <td></td> <td></td> <td>m2</td> <td>1</td> <td>護岸法面小段整形費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考	海岸土工									法面整形工									法面整形(切土部)	土質:	砂質土	m2	1	法面整形費				法面整形(盛土部)	—		m2	1	法面整形費 土材料費				護岸法面小段整形			m2	1	護岸法面小段整形費				堤防・護岸・胸壁-1  護岸法面 小段整形 を削除
		工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考																																															
		海岸土工																																																							
法面整形工																																																									
法面整形(切土部)	土質:	砂質土	m2	1	法面整形費																																																				
法面整形(盛土部)	—		m2	1	法面整形費 土材料費																																																				
護岸法面小段整形			m2	1	護岸法面小段整形費																																																				
改定																																																									
堤防・護岸・胸壁 工事工種体系化構成表(漁港海岸) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)</th> <th>規格(レベル5)</th> <th>規格記入例</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>単価構成内容</th> <th>明示すべき積算条件</th> <th>記載例</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="9">海岸土工</td> </tr> <tr> <td colspan="9">法面整形工</td> </tr> <tr> <td>法面整形(切土部)</td> <td>土質:</td> <td>砂質土</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td>法面整形費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>法面整形(盛土部)</td> <td>—</td> <td></td> <td>m2</td> <td>1</td> <td>法面整形費 土材料費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考	海岸土工									法面整形工									法面整形(切土部)	土質:	砂質土	m2	1	法面整形費				法面整形(盛土部)	—		m2	1	法面整形費 土材料費															
工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考																																																	
海岸土工																																																									
法面整形工																																																									
法面整形(切土部)	土質:	砂質土	m2	1	法面整形費																																																				
法面整形(盛土部)	—		m2	1	法面整形費 土材料費																																																				

# 漁港関係工事工種体系化の手引き



# 目次

## 第1章 工事工種の体系化について

1. 工事工種の体系化とは
2. 工事工種体系構成表について
3. 単価構成内容について
4. 工事工種体系構成表の活用にあたって
5. 土工の解説
6. 作業土工の解説
7. 仮設物の解説
8. 工事工種体系構成表からの設計書の作成例

## 第2章 工事工種体系構成表（漁港・漁港海岸）

1. 漁港整備
  - 航路・泊地
  - 防波堤・防砂堤・導流堤
  - 護岸・岸壁・物揚場
  - 棧橋・係船杭
  - 船揚場
  - 用地
  - 道路
  - 突堤
2. 漁港海岸整備
  - 堤防・護岸・胸壁
  - 突堤
  - 消波堤
  - 離岸堤
  - 人工リーフ
  - 養浜
3. 全工事共通
  - 仮設工
  - 共通仮設費



# **第1章 工事工種の体系化について**

- 1. 工事工種の体系化とは**
- 2. 工事工種体系構成表について**
- 3. 単価構成内容について**
- 4. 工事工種体系構成表の活用にあたって**
- 5. 土工の解説**
- 6. 作業土工の解説**
- 7. 仮設物の解説**
- 8. 工事工種体系構成表からの設計書の作成例**



# 1 工事工種の体系化とは

工事工種の体系化は、客観性、透明性を確保することを目的とした枠組みであり、階層的に工種を細分化し、「設計書の構成」、「目的物の名称・品質」、「設計上の表示単位」を標準的に規定したものである。

## (1) 階層の統一

- ・積算の枠組みといえる階層（レベル）構造を統一する。
- ・階層数、各階層の内容を共通的に定義する。
- ・共通仕様書と構成・名称を統一（編・章・節・条の4つに対する、レベル0・1・2・3の階層の合致）して、使いやすいものとする。

レベル	名称	内容	例
0	事業区分	事業執行上の区分	漁港整備、漁港海岸整備
1	工事区分	通常1件の工事として発注される区分	防波堤、護岸、岸壁・物揚場 堤防・護岸、突堤、消波堤
2	工種	一定の構造を持つ部分を施工するための一連作業の総称	海上地盤改良工、基礎工、 海岸土工、表法被覆工
3	種別	レベル2とレベル4をつなぐ区分 (可能な限り、施工順序に従った構成)	床掘工、基礎捨石工、場所打コ ンクリート工、消波ブロック工
4	細別	工事を構成する基本的な単位目的物・仮設物を示す 単位とともに契約数量を表示するレベル	グラブ浚渫[純土量]、基礎捨 石、消波ブロック製作
5	規格	レベル4を構成する材料等の材質・規格、寸法、契約上 明示する条件を示す	C-、混合セメント(B種)、 5.0×2.5×1.5m、 W=42.32t(根固ブロックの場合)

## (2) 用語及び単位の統一

- ・用語及び個々の用語に含まれる内容（単位当り単価構成内容）を統一する。
- ・単位の表示を統一する。

## (3) 工事目的物の明確化

- ・工事目的物ごとに構成要素を細分し明確にする。

## (4) 契約項目の明確化

- ・契約上、制約される事項・数量なのか、任意な事項・数量なのかを明確にする。

## (5) 工事工種体系構成表の作成

- ・階層数や階層定義、細分方法などの構成方法、用語名称や数量単位などの表示方法を工種ごとに標準化、規格化を行ない、工事工種体系構成表を作成した。
- ・このようにして規定された工事工種体系構成表より、個々の積算者が積算上必要な項目を抽出して設計書を作成する方法とした。

【客観性の確保】誰が設計書を作成しても同一条件の現場では、同じ内容表示の設計書となる



【透明性の確保】誰が見ても設計の内容がわかりやすいものとなる



【妥当性の確保】発注者－設計者－施工者の間において、設計書構成の統一により共通認識がもてる

これらのことにより、1工事の計画 調査設計 積算 工事の施工 完成までの一連業務において、積算を取り巻く環境が整備される。

## 2 工事工種体系構成表について

- (1) 一つの工事目的物ごとに構成し、契約対象（単位を含む）を明確にしなければならない。
- (2) 工種等の順序は標準的な施工手順を想定している。
- (3) 細別（レベル4）を、“契約数量を示すレベル”として位置付ける。  
 なお、構成表の細別欄が括弧書きの場合は、一般的に契約対象とならない。これらについては、設計図書の仕事数量総括表で細別、単位、数量を（ ）書きで明示する。  
 （例 床掘、埋戻、型枠、足場、仮設工など）
- (4) 規格（レベル5）では、細別（レベル4）の単価構成内容にかかる材料等の材質、規格及び寸法などの契約上必要な条件を明示しなければならない。
- (5) 適用欄により、細別（レベル4）にかかる積算にあたり、想定した現場条件（積算条件）等を明示することができる。この場合、当該条件にかかる特記仕様書を省略できる。
- (5) 契約数量を分かりやすくするため、細別（レベル4）では名称そのままとしているが、工種（レベル2）及び種別（レベル3）では名称を“ 工 ”としている。

## 3 単価構成内容について

- (1) 細別（レベル4）を構成する費用（単価構成内容）を統一化することを目的としている。  
 （下の例では裏埋土工の土砂掘削という細別（レベル4）を構成する費用に作業土工である“掘削、土砂等運搬等、整地等”にかかる費用も含まれている）
- (2) 単価構成内容のうち、“ 費 ”とある場合は、機・労・材（損料等を含む）の全てを含む費用である。  
 ただし、“ 材料費 ”等とある場合は、歩掛が材料費等を含まない施工費のみの場合であり、必要に応じて別途材料費等を計上しなければならない。
- (3) 単価構成内容のうち、“均しコンクリート、型枠”のように“ 費 ”とつかない場合は、別途その費用にかかる細別（レベル4）が定められている。  
 （下の例では土砂掘削という細別（レベル4）には、別途定めてられている“掘削”や“土砂等運搬費”等の細別（レベル4）が単価構成内容として必要となる。
- (4) 歩掛等における「設置費」「据付費」「布設費」等の表現について、単価構成内容では「設置費」に統一している。
- (5) 歩掛等における「賃料」「損料」等の表現について、単価構成内容では「賃料等」に統一している。
- (6) 単価構成内容で示す費用は、標準的な構成であるが、その全てを計上しなければならないわけではなく、施工にあたり不要な費用は計上しない。

### 構成表の選択例

工種種別 (レベル 2,3)	細 別 (レベル 4)	規 格 (レベル 5)	単 位	単 価 構 成 内 容	明示すべき積算条件
裏埋土工					
	土砂掘削	土質	m3	掘削、土砂等運搬、整地、・・・	

### 別途定められている細別例

工種種別 (レベル 2,3)	細 別 (レベル 4)	規 格 (レベル 5)	単 位	単 価 構 成 内 容	明示すべき積算条件
	掘削		m3	掘削費(ブルドーザー、バックホ)	
	土砂等運搬		m3	運搬費(作業土工、残土、土材料)	
	整地	土質	m3	残土受け入れ地での処理費、敷均(ルース)	

#### 4 工事工種体系構成表の活用にあたって

- (1) それぞれの工事区分は、標準的な工種及び施工順序で構成しているが、必要な工種がない場合、他の工事区分の工種から選択する。
- (2) 一つの細別（レベル4）に対して、複数の規格（レベル5）がある場合（下の例のようにU型側溝において、300Bと450の2種類の規格を用いる場合など）は、それぞれの規格（レベル5）ごとに細別（レベル4）を作成する。

設計書の例

工 種 種 別 (レベ ル 2,3)	細 別 (レベ ル 4)	規 格 (レベ ル 5)	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	ブ レキャスト U型側溝	U-300B	100	m			
	ブ レキャスト U型側溝	U-450	30	m			

- (3) 施工場所が違う等の理由により複数の工事目的物として積算する必要があるため、同じ工種等が複数となる場合（下の例のように離岸堤が2基ある場合など）は、工種等に括弧書きによる補助表現を付けて分かりやすくする。

設計書の例

工 種 種 別 (レベ ル 2,3)	細 別 (レベ ル 4)	規 格 (レベ ル 5)	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
離岸堤本体工 [N01]							
捨石工							
海岸ブロック工							
	消波ブロック製作	C-5S、混合セメント(B種)、公称質量8t	80	個			
離岸堤本体工 [N02]							
捨石工							
海岸ブロック工							
	消波ブロック製作	C-5S、混合セメント(B種)、公称質量8t	120	個			

補助表現の例

レベル2	補 助 表 現	レベル3	補 助 表 現	レベル4	補 助 表 現
護岸工	[右 岸] [左 岸]	管渠工	[第 1 号] [第 2 号]	土砂掘削	[流用土] [残 土]
床固め工	[ 1 号] [ 2 号]	掘削工	[高水敷] [低水路]	連節ブロック	[新材使用] [有材使用]
擁壁工	[WR 1] [WL 2]	区画線工	[排水性舗装区間] [一般舗装区間]	ケーブル配管	[地中部] [露出部]
護岸工	[拡大変更]				

## 5 土工の解説

(1) 土の「利用形態」により下のとおり分類する。

種別名称	作業区分	積算上の分類	補助現	積算上の分類ごとの内容	レベル4(施工パッケージ)										各々の積算上の分類に含まれる作業内容を事項「土の流れの概念図」における作業項目の番号の組合せで表わしたもの。  ( )は行う場合がある作業を意味する。	
					は、各積算上の分類に計上する作業。は、必要に応じて積算に計上する作業。											
					掘削	土砂等運搬	整地費	路体(築堤)	盛土・路床盛土	押土(ルーズ)	積込(ルーズ)	人力積込	土材料	床掘		埋戻
掘削工	掘削(土砂) (岩塊玉石)	流用土		掘削してその土を自工区に流用するが、流用箇所への運搬を伴わないもの												
				掘削してその土を自工区流用箇所へ運搬するもので、仮置場を径由しないもの												+
		発生土		掘削してその土を自工区流用箇所へ運搬するもので、仮置場を径由するもの												+ ( )
				掘削してその土を他工区流用箇所へ運搬するもので、仮置場へ運搬しない場合												+
		残土		掘削してその土を他工区流用箇所へ運搬するもので、仮置場へ運搬する場合												+ ( )
				掘削してその土を残土受入地へ運搬するもので、仮置場を径由しないもの												+ ( )+ ( )
盛土工	路体(築堤) 路床盛土(流用土)	流用土		自工区で盛土するもので、仮置場を径由しないもの												
				自工区で盛土するもので、仮置場を径由するもの											+ +	
		発生土		他工区から運搬した土で盛土するもの											( )+	
				土取場から運搬した土で盛土するもの											+ +	
				購入した土で盛土するもの(裏込、埋戻を含む)											+ ( )+	
作業土工	床掘	掘削		土の運搬を伴わない掘削、もしくは他工区または残土受入地に直接運搬するための掘削												
				仮置場への土の運搬を伴う掘削											+ ( )	
	埋戻	埋戻		土の積込、運搬を伴わない埋戻												
				仮置場から自工区で発生した仮置土を運搬して行う埋戻											+ +	
作業残土処理工	作業残土処理	発生土		作業土工の残土を他工区に直接搬出するもの												
				作業土工の残土を仮置場から他工区に搬出するもの											+	
		残土		作業土工の残土を残土受入地に直接搬出するもの											+ ( )+ ( )	
				作業土工の残土を仮置場から残土受入地に直接搬出するもの											+ ( )+ ( )	

(2) 定義

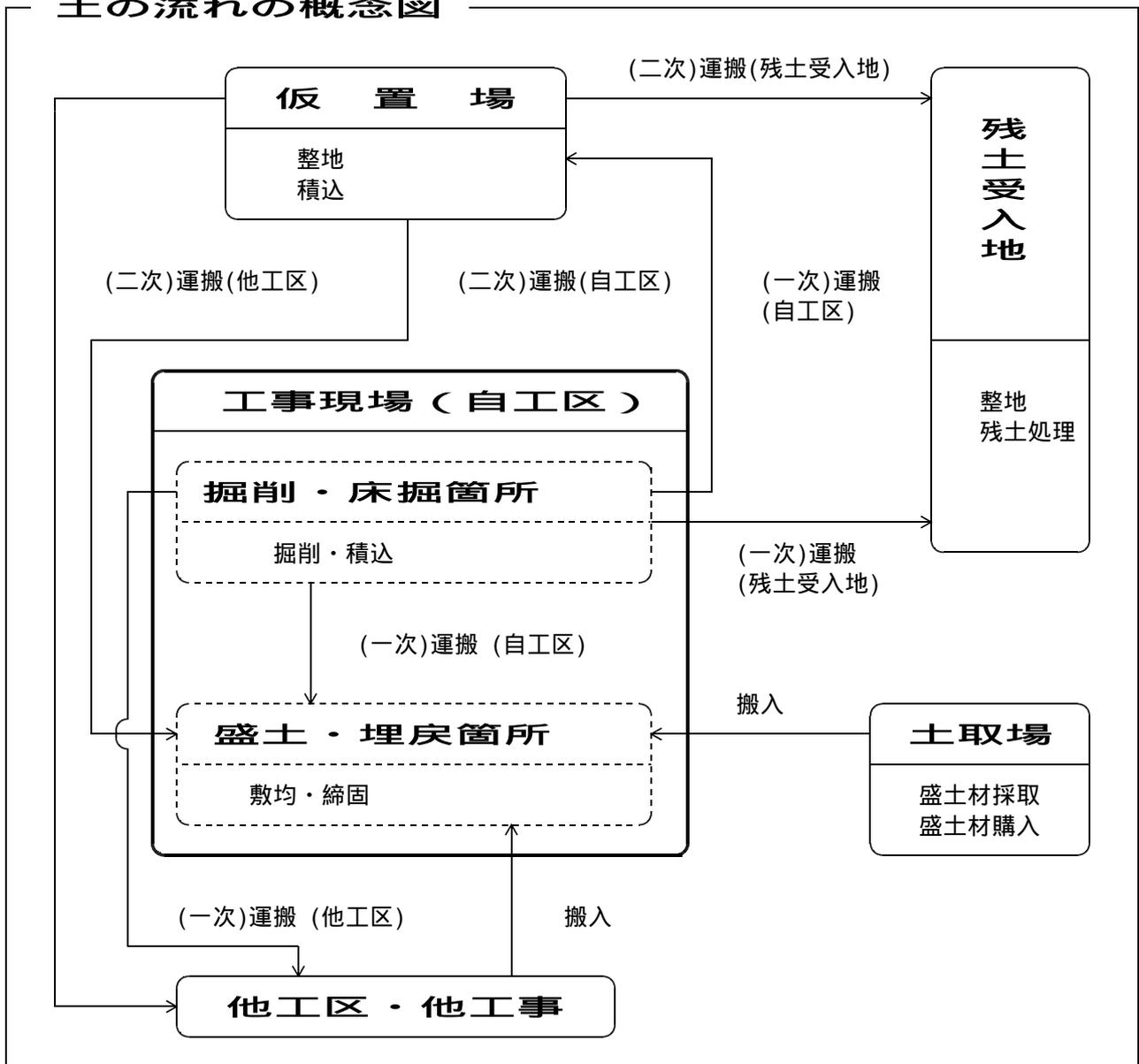
掘削：現地盤から施工基面までの土砂等を掘り下げる作業で、「埋戻」を伴わない箇所での作業である。（掘削から処分までの一連作業である）

盛土：現地盤または計画埋戻線より上に土砂を盛り立てる作業である。（採取、購入の場合は、採取費、購入費を含む）

床掘：構造物の築造または撤去を目的に、現地盤または施工基面から土砂等を掘り下げる作業で、「埋戻」を伴う箇所での作業である。

埋戻：構造物の築造または撤去後の、「床掘」部を現地盤または計画埋戻線まで埋戻す作業である。

土の流れの概念図



6 作業土工の解説

(1) 目的物の施工に伴う床掘、埋戻及び基面整正をいう。

(2) これらの施工数量は受注者の任意なものであり、「契約対象とならない土工」であるため、従来の土工と区別した。

(3) 作業土工については、工事全体を一括して計上するのではなく、それぞれの目的物ごと（レベル2ごと）に計上する。

## 7 仮設物の解説

- (1) 目的物ごとにまとめるという概念から、一つの構造物（工種・種別）に付随する仮設物は、該当する構造物ごとに計上する。（例 足場、支保）
- (2) 工事全体、または複数の構造物にかかわる仮設物は、全工種共通の仮設工に計上する。（例 工事用道路、橋梁上部足場）
- (3) 工事によって、上記（1）、（2）のどちらのケースにもなる仮設物については、次のとおりとする。（例 土留・締切、雪寒施設）
- 1) 一つの構造物に付随する場合は、該当する構造物ごとに計上する。
  - 2) 複数の構造物にかかわる場合、または構造物ごとに分割することが煩雑になる場合は、全工種共通の仮設工に計上する。

## 8 工事工種体系構成表からの設計書の作成例

- (1) 工事工種体系構成表から、施工に必要な工種、種別、細別を選択する。

堤防・護岸

工事工種体系構成表

工種種別 (レベル2,3)	細別(レベル4)	規格(レベル5)	単位	単価構成内容	明示すべき積算条件
<b>海岸土工</b>					
掘削工					
	掘削	土質	m3	掘削費(ブルドーザ、バックホ)	
盛土工					
	路体(築堤)盛土	土質	m3	敷均+締固費、敷均締固費	
残土処理工					
	整地	土質	m3	残土受け入れ地での処理・敷均(ルーズ)	
<b>基礎工</b>					
作業土工					
	(床掘)		(m3)	掘削費	
	(埋戻)		(m3)	埋戻費	
	(基面修正)		(m2)	基面修正費	
捨石工					
	捨石	石材種類	m3	石材投入費、陸上投入費	
	捨石本均し		m2	捨石均し費	均し精度
	捨石荒均し		m2	捨石均し費	均し精度
水中コンクリート工					
	(型枠)		(m2)	鋼製型枠組立組外費	
	漏洩防止材	シート種類、強度	m2	漏えい防止シート設置費	
	水中コンクリート	コンクリート配合記号 セメント種別	m3	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設・養生費	

(2)(1)で選択した構成表による設計書作成例

## 工 事 費 内 訳 書

本工事 01 1頁

費 目	本工事 01	堤防・護岸工事 (レベル1)
-----	--------	----------------

工種・種別・細別 (レベル2)(レベル3)(レベル4)	規 格 (レベル5)	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費					21,777,000	
海岸土工					526,000	
掘削工					132,000	
掘削「流用土」		33	m3	328	10,824	工内第 1号
掘削「残土」		180	m3	678	122,040	工内第 2号
盛土工					8,000	
路体(築堤)盛土		30	m3	299	8,970	工内第 3号
作業残土処理工					386,000	
残土処理工		650	m3	594	386,100	工内第 4号
基礎工					7,820,000	
作業土工					825,000	
(床掘)		1,010	(m3)	421	425,210	工内第 5号
(埋戻)		360	(m3)	789	284,040	工内第 6号
(基面整正)		390	(m3)	298	116,220	工内第 7号
捨石工					1,797,000	
捨石	中割石	290	m3	4,523	1,311,670	工内第 11号
捨石本均し		17	m2	6,989	118,813	工内第 9号
捨石荒均し		180	m2	2,039	367,020	工内第 12号
水中コンクリート工					5,198,000	
(型枠)		27	(m2)	13,930	376,110	工内第 13号
漏洩防止材	織布 引張強度密度 1,260N/3cm以上	26	m2	1,926	50,076	工内第 16号
水中コンクリート	C-9S	186	m3	25,134	4,674,924	工内第14号



## 第2章 工事工種体系構成表 (漁港・漁港海岸)

### 1 . 漁港整備

航路・泊地  
防波堤・防砂堤・導流堤  
護岸・岸壁・物揚場  
棧橋・係船杭  
船揚場  
用地  
道路  
突堤

### 2 . 漁港海岸整備

堤防・護岸・胸壁  
突堤  
消波堤  
離岸堤  
人工リーフ  
養浜

### 3 . 全工事共通

仮設工  
共通仮設費



# 1. 漁港整備

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次
<b>航路・泊地</b>		
浚渫工	ボツ浚渫工	航路・泊地 - 1
	クラブ浚渫工	
	硬土盤浚渫工	
	岩盤浚渫工	
	ハツあり浚渫工	
	陸上機械浚渫工	
土捨工	排砂管設備工	航路・泊地 - 2
	土運船運搬工	
	揚土土捨工	
埋立工	埋立工	航路・泊地 - 2
	排砂管設備工 (土捨工:排砂管設備工を適用)	
	土運船運搬工	
	揚土埋立工	
仮設工	固化工	仮設工参照
	(全工種共通:仮設工を適用)	

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次
<b>防波堤・防砂堤・導流堤</b>		
海上地盤改良工	床掘工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 1
	排砂管設備工	
	土運船運搬工	
	揚土土捨工	
	置換工	
	圧密・排水工	
	締固工	
基礎工	固化工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 2
	基礎盛砂工	
	洗掘防止工	
	基礎捨石工	
	袋詰コンクリート工	
	基礎ブロック工	
本体工(ケーソン式)	水中コンクリート工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 3
	水中不分離性コンクリート工	
	ケーソン製作工	
	ケーソン進水据付工	
	中詰工	
	蓋コンクリート工	
本体工(ブロック式)	蓋ブロック工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 4
	本体ブロック製作工	
	本体ブロック据付工	
	鋼製函工	
	中詰工	
	鋼製函工	
本体工(場所打式)	場所打コンクリート工 (上部工・上部コンクリート工を適用)	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 5
	水中コンクリート工 (基礎工・水中不分離性コンクリート工を適用)	
	水中不分離性コンクリート工 (基礎工・水中不分離性コンクリート工を適用)	
本体工(捨石式、捨ブロック式)	洗掘防止工 (基礎工・洗掘防止工を適用)	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 5
	本体捨石工	
	捨ブロック工	
	場所打コンクリート工	
本体工(鋼矢板式)	鋼矢板工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 6
	控工	
本体工(鋼杭式)	鋼杭工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 6
	被覆・根固工	
被覆・根固工	被覆石工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 6
	袋詰コンクリート工 (基礎工・袋詰コンクリートを適用)	
	被覆ブロック工	
	根固ブロック工	
	水中コンクリート工 (本体工(場所打式)-水中コンクリート工を適用)	
	水中不分離性コンクリート工 (本体工(場所打式)- 水中不分離性コンクリート工を適用)	

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次
上部工	上部コンクリート工	- 6
	上部ブロック工	
	胸壁コンクリート工 (上部工・上部コンクリート工を適用)	
付属工	係船柱工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 7
	標識工	
	点検梯子工	
	防敵材工	
	車止・縁金物工	
	階段工	
消波工	防食工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 8
	付属設備工	
	洗掘防止工 (基礎工・洗掘防止工を適用)	
維持補修工	消波ブロック工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 8
	防食工	
構造物撤去工	維持塗装工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 9
	取壊工	
雑工	撤去工	防波堤・防砂堤 ・導流堤 - 9
	運搬処理工	
	現場鋼材溶接工	
	現場鋼材切断工 その他雑工	
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次
<b>護岸・岸壁・物揚場</b>		
海上地盤改良工	基礎工	護岸・岸壁 ・物揚場 - 1
	本体工(ケーソン式)	
	本体工(ブロック式)	
	本体工(場所打式)	
	本体工(捨石式、捨ブロック式) (防波堤・防砂堤・導流堤: 同一工種名を適用)	
	本体工(鋼矢板式)	
	本体工(鋼杭式)	
	被覆・根固工	
	上部工	
	付属工	
	消波工	
	裏込・裏埋工	
	裏込工	
	裏埋工	
裏埋土工		
陸上地盤改良工	圧密・排水工	護岸・岸壁 ・物揚場 - 2
	締固工	
	固化工	
土工	土工	護岸・岸壁 ・物揚場 - 2
	作業土工(床掘工)	
	作業土工(埋戻工)	
舗装工	路床工	護岸・岸壁 ・物揚場 - 3
	コンクリート舗装工	
	アスファルト舗装工	
水叩工	水叩工	護岸・岸壁 ・物揚場 - 4
	止壁工	
排水構造物工	作業土工	護岸・岸壁 ・物揚場 - 4
	側溝工	
	管渠工	
	集水樹工	
	地下排水工	
	現場打水路工	
	柵渠工	
排水工		
打止工	床掘工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工・床掘工を適用)	護岸・岸壁 ・物揚場 - 5
	排砂管設備工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工・排砂管設備工を適用)	
	土運船運搬工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工・土運船運搬工を適用)	
	揚土土捨工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工・揚土土捨工を適用)	
	作業土工(土工を適用)	

1. 漁港整備

工事区分(レベル1) 工種(レベル2)	種別 (レベル3)	目次
	基礎捨石工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 基礎工-基礎捨石工を適用)	護岸・岸壁 ・物揚場 - 5
	場所打コンクリート工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 上部工-上部コンクリート工を適用)	
	水中コンクリート工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 本体工(場所打式)-水中コンクリート工を適用)	
	鋼矢板工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 本体工(鋼矢板式)-鋼矢板工を適用)	
打止工	控工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 本体工(鋼矢板式)-控工を適用)	
	鋼杭工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 本体工(鋼杭式)-鋼杭工を適用)	
	上部コンクリート工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 上部工-上部コンクリート工を適用)	
維持補修工	(防波堤・防砂堤・導流堤: 同一工種名を適用)	
構造物撤去工		
雑工		
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照

工事区分(レベル1) 工種(レベル2)	種別 (レベル3)	目次	
棧橋・係船杭			
海上地盤改良工	床掘工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工-床掘工を適用)	棧橋・係船杭 - 1	
	排砂管設備工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工-排砂管設備工を適用)		
	土運船運搬工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工-土運船運搬工を適用)		
	揚土土捨工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工-揚土土捨工を適用)		
	置換工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工-置換工を適用)		
	圧密・排水工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工-圧密・排水工を適用)		
	締固工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工-締固工を適用)		
	固化工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 海上地盤改良工-固化工を適用)		
	本体工(鋼杭式)		(防波堤・防砂堤・導流堤: 同一工種名を適用)
	上部工		
付属工			
舗装工	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)		
維持補修工	(防波堤・防砂堤・導流堤: 同一工種名を適用)		
構造物撤去工			
雑工			
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照	

工事区分(レベル1) 工種(レベル2)	種別 (レベル3)	目次
海上地盤改良工	(防波堤・防砂堤・導流堤: 同一工種名を適用)	船揚場 - 1
基礎工		
先端止壁工	水中コンクリート工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 本体工(場所打式)-水中コンクリート工を適用)	
	場所打コンクリート工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 上部工-上部コンクリート工を適用)	
	本体ブロック工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 本体工(ブロック式)を適用)	
	鋼矢板工 (防波堤・防砂堤・導流堤: 本体工(鋼矢板式)の鋼矢板工を適用)	
被覆・根固工	(防波堤・防砂堤・導流堤: 同一工種名を適用)	
裏込・裏埋工	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)	
斜路工	基礎工 張ブロック工 張コンクリート工 止壁工 (護岸・岸壁・物揚場: 舗装工-止壁工を適用)	
船置工	基礎工 張コンクリート工 (斜路工-張コンクリート工を適用) 止壁工 (護岸・岸壁・物揚場: 舗装工-止壁工を適用)	
排水構造物工	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)	
付属工	滑り材工 付属設備工	
土工	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)	
打止工		
構造物撤去工	(防波堤・防砂堤・導流堤: 同一工種名を適用)	
雑工		
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照

工事区分(レベル1) 工種(レベル2)	種別 (レベル3)	目次
用地		
用地土工	(護岸・岸壁・物揚場:土工を適用)	用地 - 1
陸上地盤改良工	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)	
法面工	植生工	
	法覆基材工	
	法面吹付工	
	法枠工	
	法面施肥工	
	アンカー工	
擁壁工	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	
	鉄筋挿入工	
	かご工	
	法面資材小運搬工	
作業土工	用地 - 3	
既製杭工		
場所打杭工		
場所打擁壁工(構造物単位)	場所打擁壁工	用地 - 4
	プレキャスト擁壁工	
	帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁工	
	ジオテキスタイル補強土壁工	
山留式擁壁工	山留式擁壁工	用地 - 5
	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)	
排水構造物工	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)	
表面処理工	アスファルト舗装工 覆土工	
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照

工事区分(レベル1) 工種(レベル2)	種別 (レベル3)	目次
道路	(土木工事工種体系化による)	道路 - 1
突堤	(防波堤:対応工種を参照)	突堤 - 1

航路・泊地

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>浚渫工</b>								
<b>ホップ浚渫工</b>								
ホップ浚渫[純土量]	土質: N値:	粘土質土砂 30未満	m3	1	ホップ浚渫費	排送距離:	1.4km	
(ホップ浚渫[余掘土量])	土質: N値:	粘土質土砂 30未満	(m3)	1	ホップ浚渫費	排送距離:	1.4km	
(ホップ浚渫船拘束)			(式)	1式	ホップ浚渫船拘束費	拘束日数:	0.5日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
<b>グラブ浚渫工</b>								
グラブ浚渫[純土量]	土質: N値:	砂質土砂 10未満	m3	1	グラブ浚渫費(普通地盤用)	土厚区分:	1m以上2m未満	
(グラブ浚渫[余掘土量])	土質: N値:	砂質土砂 10未満	(m3)	1	グラブ浚渫費(普通地盤用)	土厚区分:	1m以上2m未満	
(グラブ浚渫船拘束)			(式)	1式	グラブ浚渫船(普通地盤用)拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
<b>硬土盤浚渫工</b>								
硬土盤浚渫[純土量]	土質: N値:	れき混じ土砂 30～50未満	m3	1	硬土盤浚渫費			
(硬土盤浚渫[余掘土量])	土質: N値:	れき混じ土砂 30～50未満	(m3)	1	硬土盤浚渫費			
(グラブ浚渫船拘束)			(式)	1式	グラブ浚渫船(硬土盤用)拘束費	拘束日数:	2日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
<b>岩盤浚渫工</b>								
(砕岩)	土質:	岩盤	(m3)	1	砕岩費			余砕量を含む
砕岩浚渫[純土量]	土質:	岩盤	m3	1	砕岩後浚渫費			
(砕岩浚渫[余掘土量])	土質:	岩盤	(m3)	1	砕岩後浚渫費			
(グラブ浚渫船拘束)			(式)	1式	グラブ浚渫船(岩盤用)拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
<b>バックホリ浚渫工</b>								
バックホリ浚渫[純土量]	土質: N値:	砂質土砂 10未満	m3	1	バックホリ浚渫費			岩盤(軟岩・中質・硬質)は砕岩後の浚渫に適用する
(バックホリ浚渫[余掘土量])	土質: N値:	砂質土砂 10未満	(m3)	1	バックホリ浚渫費			
(バックホリ浚渫船拘束)			(式)	1式	バックホリ浚渫船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
<b>陸上機械浚渫工</b>								
陸上機械浚渫	土質:	土砂	m3	1	バックホリ床掘費 クラムシェル床掘費			
<b>土捨工</b>								
<b>排砂管設備工</b>								
(排砂管設備)	排砂管径: 受け枠設置高:		(m)	1 (少数1位 切り上げ)	零号設置・撤去費(浮上/立上がり) 受枠設置・撤去費(海上/陸上) 排砂管設置・撤去費(海底管/海上 受枠上/陸上受枠上/フロー管) 排砂管設備費 排砂補助費 排砂管保守費			
<b>土運船運搬工</b>								
土運船運搬[純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	土運船運搬費	搬出先(運搬距離):	陸揚場(0.5km)	
(土運船運搬[余掘土量])	土質:	砂質土砂	(m3)	1	土運船運搬費	搬出先(運搬距離):	陸揚場(0.5km)	
(土運船拘束)			(式)	1式	土運船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する

航路・泊地

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>揚土土捨工</b>								
ハージアンローダ揚土 [純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	ハージアンローダ揚土費	排送距離:	500m	
(ハージアンローダ揚土 [余掘土量])	土質:	砂質土砂	(m3)	1	ハージアンローダ揚土費	排送距離:	500m	
(ハージアンローダ船拘束)			(式)	1式	ハージアンローダ船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
空気圧送揚土 [純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	空気圧送揚土費	排送距離:	500m	
(空気圧送揚土 [余掘土量])	土質:	砂質土砂	(m3)	1	空気圧送揚土費	排送距離:	500m	
(空気圧送船拘束)			(式)	1式	空気圧送船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
リクレマ揚土[純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	リクレマ揚土費			
(リクレマ揚土[余掘土量])	土質:	砂質土砂	(m3)	1	リクレマ揚土費			
(リクレマ船拘束)			(式)	1式	リクレマ船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
バックホり揚土[純土量]	土質:	砂質土砂	m3	1	バックホり揚土費			
(バックホり揚土[余掘土量])	土質:	砂質土砂	(m3)	1	バックホり揚土費			
揚土土捨[純土量]	土質: 運搬距離:	砂質土砂 0.3km	m3	1	運搬費 整地費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の有無):	仮置場 (0.3km/無)	
(揚土土捨[余掘土量])	土質: 運搬距離:	砂質土砂 0.3km	(m3)	1	運搬費 整地費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の有無):	仮置場 (0.3km/無)	
土砂運搬[純土量]	土質: 運搬距離:	砂質土砂 4.7km	m3	1	積込費 運搬費 整地費 残土処分費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の有無): 残土処分費の有無:	処分場 (4.7km/有) 無	
(土砂運搬[余掘土量])	土質: 運搬距離:	砂質土砂 4.7km	(m3)	1	積込費 運搬費 整地費 残土処分費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の有無): 残土処分費の有無:	処分場 (4.7km/有) 無	
<b>埋立工</b>								
<b>埋立工</b>								
ホソク土取	土質:	砂質土砂	m3	1	ホソク土取費 ホソク浚渫船拘束費	排送距離: 拘束日数:	1.4km 1日	
グラフ土取	土質:	砂質土砂	m3	1	グラフ土取費 グラフ浚渫船(普通地盤用)拘束費	土厚区分: 拘束日数:	1m以上2m未満 1日	
ガット土取	土質:	砂質土砂	m3	1	ガット土取費			許容範囲が定められている場合はグラフ床掘を適用する
排砂管設備工	(土捨工:排砂管設備工を適用)							
<b>土運船運搬工</b>								
土運船運搬	土質:	砂質土砂	m3	1	土運船運搬費	搬出先(運搬距離):	陸揚場(0.5km)	
(土運船拘束)			(式)	1式	土運船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
<b>揚土埋立工</b>								
ハージアンローダ揚土	土質:	砂質土砂	m3	1	ハージアンローダ揚土費	排送距離:	500m	
(ハージアンローダ船拘束)			(式)	1式	ハージアンローダ船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
空気圧送揚土	土質:	砂質土砂	m3	1	空気圧送揚土費	排送距離:	500m	
(空気圧送船拘束)			(式)	1式	空気圧送船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
リクレマ揚土	土質:	砂質土砂	m3	1	リクレマ揚土費			
(リクレマ船拘束)			(式)	1式	リクレマ船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積上げ計上する
バックホり揚土	土質:	砂質土砂	m3	1	バックホり揚土費			
<b>固化工</b>								
事前混合処理			m3	1	試運転調整費 事前混合処理			
<b>仮設工</b>								
(全工種共通:仮設工を適用)								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     工事内容により、他の工種種別(レベル2, 3)が必要となる場合は適宜追加すること。                 </div>								

## 防波堤・防砂堤・導流堤

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
海上地盤改良工								
床掘工								
(ホップ床掘)	土質: N値:	粘土質土砂 30未満	(m3)	1	ホップ床掘費	排送距離:	1.4km	
(ホップ浚渫船拘束)	—		(式)	1式	ホップ浚渫船拘束費	拘束日数:	0.5日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
(グラブ床掘)	土質: N値:	砂質土砂 10未満	(m3)	1	グラブ床掘費(普通地盤用)	土厚区分:	1m以上2m未満	
(グラブ浚渫船拘束)	—		(式)	1式	グラブ浚渫船(普通地盤用)拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
(硬土盤床掘)	土質: N値:	粘土混じり土砂 30~50未満	(m3)	1	硬土盤床掘費			
(グラブ浚渫船拘束)	—		(式)	1式	グラブ浚渫船(硬土盤用)拘束費	拘束日数:	2日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
(砕岩床掘)	土質:	岩盤	(m3)	1	砕岩費 砕岩後床掘費			
(グラブ浚渫船拘束)	—		(式)	1式	グラブ浚渫船(岩盤用)拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
(バックホリ床掘)	土質: N値:	砂質土砂 10未満	m3	1	バックホリ床掘費			
(バックホリ浚渫船拘束)	—		(式)	1式	バックホリ浚渫船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
(陸上機械床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	バックホリ床掘 クラムシェル床掘			
(人力床掘)	土質: N値:	砂質土砂 10未満	(m3)	1	人力岩盤床掘費 人力砂礫床掘費 人力砂床掘費			
排砂管設備工								
(排砂管設備)	排砂管径: 受け枠設置高:		(m)	1 (少数1位 切り上げ)	番号設置・撤去費(浮上/立上がリ) 受枠設置・撤去費(海上/陸上) 排砂管設置・撤去費(海底管/海上受枠上/陸上受枠上/フローダ管) 排砂管設備費 排砂補助費 排砂管保守費			
土運船運搬工								
(土運船運搬)	土質:	砂質土砂	(m3)	1	土運船運搬費	搬出先(運搬距離):	△△陸揚場(0.5km)	
(土運船拘束)	—		(式)	1式	土運船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
揚土土捨工								
(バーシアンローダ揚土)	土質:	砂質土砂	(m3)	1	バーシアンローダ揚土費	排送距離:	500m	
(バーシアンローダ船拘束)	—		(式)	1式	バーシアンローダ船拘束費	拘束日数:		拘束費対象船を一括積み上げ計上する
(空気圧送揚土)	土質:	砂質土砂	(m3)	1	空気圧送揚土費	排送距離:	500m	
(空気圧送船拘束)	—		(式)	1式	空気圧送船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
(リクレーマ揚土)	土質:	砂質土砂	(m3)	1	リクレーマ揚土費			
(リクレーマ船拘束)	—		(式)	1式	リクレーマ船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
(バックホリ揚土)	土質:	砂質土砂	(m3)	1	バックホリ揚土費			
(揚土土捨)	土質: 運搬距離:	砂質土砂 0.3km	(m3)	1	運搬費 整地費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の有無):	〇〇仮置場 (0.3km/無)	
(土砂運搬)	土質: 運搬距離:	砂質土砂 4.7km	(m3)	1	積込費 運搬費 整地費 残土処分費	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の有無): 残土処分費の有無:	〇〇処分場 (4.7km/有) 無	
置換工								
置換材	置換材料:	砂	m3	1	置換材投入費			
置換材均し	均し精度:	±30cm	m2	1	置換材均し費			
圧密・排水工								
サントレーン	径: 打設長:	φ400 20m	本	1	サントレーン費			
(サントレーン船拘束)	—		(式)	1式	サントレーン船拘束費	拘束日数:	1日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			
敷砂均し	均し精度:		m2	1	敷砂均し費(水中)			
載荷土砂	種類:	砂	m3	1	載荷土砂 (投入費/均し費(水中)/撤去費)			載荷土砂撤去は、「床掘工」、「浚渫・土捨工」を適用する

## 防波堤・防砂堤・導流堤

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>締固工</b>								
サンドコンパクションパイル	径: 打設長:	φ400 20m	本	1	サンドコンパクションパイル費			
(サンドコンパクション船拘束)	—		(式)	1式	サンドコンパクション船拘束費	拘束日数:	2日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
盛土土砂撤去	種類:	砂	m3	1	ポンプ床掘 グラブ床掘 硬土盤床掘 砕岩 砕岩後床掘 各種作業船拘束費 零号/浮上零号/立上がり零号 海上受枠/陸上受枠 排砂管(海底管・受枠上) フローダ管設置撤去 排砂管設備 排砂補助 排砂管保守 土運船運搬 バーンアローダ揚土 空気圧送揚土 リクレーマ揚土 バックホウ揚土 積込(ルース) 土砂等運搬 整地			
敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			
敷砂均し	均し精度:		m2	1	敷砂均し費(水中)			
<b>固化工</b>								
深層混合処理杭	改良材料: 杭径: 杭長:	セメントミルク φ800 8m	本	1	深層混合処理杭打設費	セメント使用量: 深層混合処理船規格:	0.38t/日 2.2m2	
(深層混合処理船拘束)	—		(式)	1式	深層混合処理船拘束費	拘束日数:	2日	拘束費対象船を一括積み上げ計上する
盛土土砂撤去	種類:	砂	m3	1	ポンプ床掘 グラブ床掘 硬土盤床掘 砕岩 砕岩後床掘 各種作業船拘束費 零号/浮上零号/立上がり零号 海上受枠/陸上受枠 排砂管(海底管・受枠上) フローダ管設置撤去 排砂管設備 排砂補助 排砂管保守 土運船運搬 バーンアローダ揚土 空気圧送揚土 リクレーマ揚土 バックホウ揚土 積込(ルース) 土砂等運搬 整地			
敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			
敷砂均し	均し精度:		m2	1	敷砂均し費(水中)			
<b>基礎工</b>								
<b>基礎盛砂工</b>								
盛砂	種類:	砂	m3	1	盛砂投入費			
盛砂均し	均し精度:		m2	1	盛砂均し費(水中)			
<b>洗掘防止工</b>								
洗掘防止	材質: 寸法:	アスファルトマット 8m×2m	m2	1	アスファルトマット設置費 帆布設置費 合成樹脂マット設置費			
グラベルマット	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(現場投入渡し)			流用材を海上投入及び陸上投入する場合は、別途積上げする
グラベルマット均し	均し精度:	±50cm	m2	1	捨石均し費 (水中/陸上)			
大型網かご製作	網かご種別: 寸法: 詰石種類:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m 中割石	個	1	大型網かご製作費			
大型網かご据付	網かご種別: 寸法:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m	個	1	大型網かご転置費 大型網かご横持ち費 大型網かご据付費(1スイング) 大型網かご運搬据付費(陸上連携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
<b>基礎捨石工</b>								
基礎捨石	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(現場投入渡し)			流用材を海上投入及び陸上投入する場合は、別途積上げする
捨石本均し	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石本均し・荒均し費 (水中/陸上) 機械均し費 バックホウ均し費			
捨石荒均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石本均し・荒均し費 (水中/陸上) 機械均し費 バックホウ均し費			

## 防波堤・防砂堤・導流堤

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
袋詰コンクリート工								
袋詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	袋詰コンクリート費	麻袋計上有無:	有	
基礎ブロック工								
基礎ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 質量:	C-O 混合セメント(B種) 2.0×2.5×1.5m 17.25t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架組費 内足場架組費 鉄筋 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費			
基礎ブロック据付	寸法: 質量:	2.0×2.5×1.5m 17.25t	個	1	ブロック転置費 ブロック持ち上り費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運搬/海上運搬/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
水中コンクリート工 (場所打式本体工-水中コンクリート工を適用)								
水中不分離性コンクリート工								
(型枠)	—		(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 (陸上施工/海上施工)	施工機種:	起重機船鋼D50t吊	
水中不分離性コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設(ポンプ車)	日打設置区分:	100m3/日以上	コンクリート運搬費は上部工を適用する
本体工(ケーソン式)								
ケーソン製作工								
(ケーソン製作用台船)	種類: 規格:	FD2,000t積	(式)	1式	ケーソン製作用台船(係留費/運転費) 補助ヤード施設費			
(底面)	種類:	アスファルトルーフィング	(m2)	1	ルーフィング設置費			
(マット)	種類: 厚さ:	ゴム系マット 30mm	(枚 or m2)	1	アスファルトマット設置費 (工場製作/現場製作) ゴム系マット(再生)設置費			
(支保)	—		(m)	1	支保組立組外費			
(足場)	—		(m2)	1	鋼製枠組足場架組費 内足場架組費			
鉄筋	規格: 呼び径:	SD345 D16	kg	1	鉄筋加工組立費 吊鉄筋・吊ハ-組立費			
(型枠)	—		(m2)	1	鋼製型枠組立組外費			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	RC-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費			
ケーソン進水据付工								
バラスト	種類:	砂	m3	1	中詰材投入 陸上採取積込運搬 ストック場積込運搬 岸壁積込運搬投入 中詰均し費			
止水板	種類: 幅: 厚さ:	鋼製	箇所	1	止水板取付・取外費			
上蓋	寸法:	4.25×3.6×0.2m	函	1	上蓋使用料 ケーソン設置用上蓋取付取外費 回航用上蓋取付・取外費			
進水	—		回 or 函	1	ケーソン進水準備費(吊降し方式) ケーソン進水費(函台車/吊降し/ケーソン製作用台船方式/斜路滑台式) (進水/函台整正/斜路水中滑台取付取外費)			
(仮置)	—		(函)	1	ケーソン仮置費 ケーソン係留費			
(回航・えい航)	—		(函)	1	ケーソン回航費 ケーソンえい航費 ケーソン回航準備費	基地港(距離):	△△港(3km)	
据付	—		函	1	ケーソン設置準備費(吊降し方式) ケーソン据付費(クインチ/吊降し方式)	えい航距離:	3.5km	
中詰工								
砂・石材中詰	砂・石材規格:	0~80mm級切込砕石	m3	1	中詰投入(現場投入渡し/海中採取/陸上採取・積込・運搬/ストック場・積込・運搬/岸壁積込・運搬投入)費 中詰均し			
コンクリート中詰	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費 ケーソン賃料等 配管設置撤去 配管賃料等			陸上部の場合は上部工、上部コンクリート工のコンクリートを適用する 水中部の場合は、場所打式本体工、水中コンクリート工の水中コンクリートを適用する
蓋コンクリート工								
蓋コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート コンクリート運搬費 コンクリートミキサー船拘束費 材料接岸積込費	海上運搬距離: 打設置区分:	1.5km 60~120m3/日	

## 防波堤・防砂堤・導流堤

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
蓋ブロック工								
蓋ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 質量:	C-O 混合セメント(B種) 3.65×3.00×0.50m 12.59t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 内足場架払費 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設・養生費			
蓋ブロック据付	寸法: 質量:	3.65×3.00×0.50m 12.59t	個	1	ブロック転置費 ブロック持ち上り費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運携/海上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
間詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設 コンクリート運搬費	海上運搬距離: 打設量区分:	1.5km 60~120m3/日	
本体工(ブロック式)								
本体ブロック製作工								
本体ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 質量:	C-O 混合セメント(B種) 4.5×3.5×2.5m 39.37t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架払費 内足場架払費 吊鉄筋加工組立費 吊鉄筋・吊ハー 吊鉄筋吊ハー組立 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費			
本体ブロック据付工								
本体ブロック据付	寸法: 質量:	4.5×3.5×2.5m 39.37t	個	1	ブロック転置費 ブロック持ち上り費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運携/海上一連/陸海一貫方式) 大型ブロック運搬設置費 (海上一連方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
鋼製函工								
鋼製函製作	規格: 寸法: 質量:	SS400 10.0×8.5×8.5m 50.03t	函	1	鋼製函製作費 (工場製作/現場製作)			
鋼製函据付	寸法: 質量:	10.0×8.5×8.5 50.03t	函	1	鋼製函転置費 鋼製函持ち上り費 鋼製函据付費(1スイング) 鋼製函運搬据付費(陸上運携/海上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	本体工(ブロック式) 本体ブロック製作工を適用する
中詰工								
砂・石材中詰	砂・石材規格:	0~80mm級切込砕石	m3	1	中詰投入(現場投入渡し/海中採取/陸上採取・積込・運搬/ストック場・積込・運搬/岸壁積込・運搬投入)費 中詰均し			
蓋コンクリート工	(本体工(ケーソン式)-蓋コンクリート工を適用)							
蓋ブロック工	(本体工(ケーソン式)-蓋ブロック工を適用)							
本体工(場所打式)								
場所打コンクリート工 (上部工-上部コンクリート工を適用)								
水中コンクリート工								
(岩盤基面整正)	岩質:	軟岩	(m2)	1	岩盤基面整正費			
(岩盤等掻均し)	—		(m2)	1	かき落とし費			
継鉄筋	規格: 呼び径:	SD345 D16 1.0m	本	1	コンクリート削孔費(水中) 薬液定着アンカー取付費 ワッパアンカー取付費 鉄筋加工組立費(陸上/海上)			
(足場)	—		(m2)	1	鋼製枠組足場架払費			本体工(ブロック式) 本体ブロック製作工の足場を適用する
(型枠)	—		(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 (陸上施工/海上施工)	施工機種:	起重機船鋼D50t吊	
漏洩防止材	シート種類: 引張強度:	織布 1,260N/3cm以上	m2	1	漏洩防止シート設置費			
水中コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設・養生費 (ケーシング/ポンプ車)	日打設量区分:	100m3/日以上	コンクリート運搬費は上部工を適用する
H形鋼	材質: 寸法: 長さ:	SS400 H100×100×6×8 1.0m	本	1	H形鋼費			
(ケーシング損料)	—		(式)	1式	ケーシング賃料等	ケーシング長: 供用日数:	5.1m 28日	
(配管設置撤去)	—		(m)	1	配管設置撤去費(水中/陸上)	施工機種:	起重機船鋼D50t吊	
(配管損料)	—		(式)	1式	配管賃料等	配管超過延長区分: 運転日数区分: 日打設量区分: 曲管本数区分:	65m 38日 100m3/日以上 2本	
水抜きパイプ	規格: 長さ: フィルター材の有無:	VU φ50 1.5m 有	本	1	水抜きパイプ材料費 フィルター材料費			
水中不分離性コンクリート工	(基礎工-水中不分離性コンクリート工を適用)							

## 防波堤・防砂堤・導流堤

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
本土工(捨石式、捨ブロック式)								
洗掘防止工 (基礎工-洗掘防止工を適用)								
本体重捨石工								
本体重捨石	石材種類:	中割石	m3	1	捨石投入費 被覆石投入費			
本体重捨石均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石本均し・荒均し費(水中/陸上) 被覆均し費(水中/陸上) 機械均し費 捨石均し船拘束費 バックホ均し費 水中バックホリ拘束費			
捨ブロック工								
捨ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-〇 混合セメント(B種) 公称質量30t	個	1	異形ブロック製作費(製作転置含む)			
捨ブロック据付	公称質量:	30t	個	1	ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運搬/海上運搬/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
場所打コンクリート工								
基礎砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	基礎砕石敷均費 捨コンクリート費			
(型枠)	—		(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 木製型枠組立組外費 (重力/鋼矢板/組杭/棧橋式) (陸上/海上)	施工機種:	起重機船鋼D50t吊	
伸縮目地	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー車) コンクリート運搬費 コンクリート打設費 (自積バックホ/台船バックホ) コンクリート混合費 コンクリートミキサー船拘束 材料接岸積込 ンクリート打設費(コンクリートミキサー船) 基礎砕石敷均 捨てコンクリート コンクリートはつり	海上運搬距離: 打設量区分:	1.5km 60~120m3/日	
本土工(鋼矢板式)								
鋼矢板工								
(先行掘削)			(本)	1	先行掘削費			
鋼矢板	鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IV型 10m	枚	1	鋼矢板・鋼管矢板 (材料費/荷卸費/運搬費) 鋼管矢板打設費 杭打船拘束費 杭打船ハンマ付替 導材賃料等・設置撤去費 鋼矢板・鋼管矢板切断費	運搬距離: 打込長区分:	0.3km 9~12m	
控工								
(先行掘削)			(本)	1	先行掘削費			
控鋼矢板	規格: 形式: 長さ:	SYW295 IV型 10m	枚	1	鋼矢板・鋼管矢板 (材料費/荷卸費/運搬費) 鋼管矢板打設費 杭打船拘束費 杭打船ハンマ付替 導材賃料等・設置撤去費 鋼矢板・鋼管矢板切断費	運搬距離: 打込長区分:	0.3km 9~12m	
控鋼杭	規格: 形式: 長さ:	SS400 H250×250×9×14mm 10m	本	1	鋼杭 (材料費/荷卸し費/運搬費/打設費) 杭打船ハンマ付替 杭打船拘束費 H形鋼杭打設 導材賃料等 導材設置撤去 鋼杭切断	運搬距離: 打込長区分:	0.3km 9~12m	
腹起	規格: 寸法:	SS400 [125×65×6×8mm	m	1	腹起材取付費(陸上/海上)			
タイ材	タイロッド材質: 径:	高強度690 φ25mm	組	1	受杭打設費 胴木取付費 タイロッド取付費 タイワイヤ取付費(陸上/海上) 受杭打設(木杭)			

## 防波堤・防砂堤・導流堤

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>本体工(鋼杭式)</b>								
鋼杭工								
(先行掘削)			(本)	1	先行掘削費			
鋼杭	規格: 形式: 長さ:	SS400 H250×250×9×14mm 10m	本	1	鋼杭 (材料費/荷卸し費/運搬費/打設費) 杭打船ハム付替 杭打船拘束費 H形鋼杭打設 導材賃料等 導材設置撤去 鋼杭切断	運搬距離: 打込長区分:	0.3km 9~12m	
<b>被覆・根固工</b>								
被覆石工								
被覆石	石材種類:	大割石	m3	1	被覆石投入費(現場投入渡し)			流用材を海上投入及び陸上投入する場合は、別途積上げする
被覆均し	均し精度:	±50cm	m2	1	被覆均し費(水中/陸上)			
袋詰コンクリート工 (基礎工-袋詰コンクリートを適用)								
被覆ブロック工								
被覆ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-O 普通ポルトランドセメント 公称質量2t	個	1	異形ブロック製作費(製作転置含む)			
被覆ブロック据付	公称質量:	2t	個	1	ブロック転置費 ブロック持ち上り費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運搬/海上運搬/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
根固ブロック工								
根固ブロック製作 (施工ハッケージ)	コンクリート配合: セメント種別: 規格: 質量:	C-O 普通ポルトランドセメント 5.0×2.5×1.6m 42.32t	個	1	根固ブロック製作費 鋼製枠組足場架設費 鉄筋加工組立費 吊鉄筋加工組立費			
根固ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 規格: 質量:	C-O 普通ポルトランドセメント 5.0×2.5×1.6m 42.32t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架設費 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設・養生費			
根固ブロック据付	規格: 質量:	5.0×2.5×1.6m 42.32t	個	1	ブロック転置費 ブロック持ち上り費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運搬/海上運搬/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
水中コンクリート工 (本体工(場所打式)-水中コンクリート工を適用)								
水中不分離性コンクリート工 (本体工(場所打式)-水中不分離性コンクリート工を適用)								
<b>上部工</b>								
上部コンクリート工								
(支保)	—		(m)	1	支保組立組外費 (重力/鋼矢板/組杭/棧橋式) (陸上/海上)			
(支保【潮待ち】)	—		(m)	1	支保組立組外費 (重力/鋼矢板/組杭/棧橋式) (陸上/海上)			
(足場)	—		(m2)	1	鋼製枠組足場架設費 (重力/鋼矢板/組杭/棧橋式) (陸上/海上)			
(足場)	—		(m)	1	キャットウォーク			
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	kg	1	鉄筋加工組立費(陸上/海上) 鋼板製作 溶接費(陸上/海上)			
鉄筋【潮待ち】	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	kg	1	鉄筋加工組立費(陸上/海上) 鋼板製作 溶接費(陸上/海上)			
継鉄筋	鉄筋材料規格: 径: 長さ:	SD345 D25 L=1.0m	本	1	コンクリート削孔費 薬液定着アホ-取付費 リフトアホ-取付費 鉄筋加工組立費(陸上/海上)			
(型枠)	—		(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 木製型枠組立組外費 (重力/鋼矢板/組杭/棧橋式) (陸上/海上)			
(型枠【潮待ち】)	—		(m2)	1	鋼製型枠組立組外費 木製型枠組立組外費 (重力/鋼矢板/組杭/棧橋式) (陸上/海上)			

## 防波堤・防砂堤・導流堤

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
伸縮目地	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm <sup>3</sup> 以上級	m <sup>2</sup>	1	目地材設置費			
伸縮目地【潮待ち】	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm <sup>3</sup> 以上級	m <sup>2</sup>	1	目地材設置費			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 普通ポルトランドセメント+促進剤	m <sup>3</sup>	1	コンクリート打設費 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー車) 配管設置撤去費 コンクリート運搬費 コンクリート打設費 (自積ハケット/台船ハケット) コンクリート混合費 コンクリートミキサー船拘束 材料接岸積込 コンクリート打設費(コンクリートミキサー船) 基礎砕石敷均 捨てコンクリート コンクリートはつり	海上運搬距離: 打設量区分:	1.5km 60~120m <sup>3</sup> /日	
コンクリート【潮待ち】	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 普通ポルトランドセメント+促進剤	m <sup>3</sup>	1	コンクリート打設費 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー車) 配管設置撤去費 コンクリート運搬費 コンクリート打設費 (自積ハケット/台船ハケット) コンクリート混合費 コンクリートミキサー船拘束 材料接岸積込 コンクリート打設費(コンクリートミキサー船) 基礎砕石敷均 捨てコンクリート コンクリートはつり	海上運搬距離: 打設量区分:	1.5km 60~120m <sup>3</sup> /日	
(補助ヤード施設)	—		(式)	1式	補助ヤード施設費			
上部ブロック工								
上部ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 質量:	C-〇 混合セメント(B種) 2.0×2.5×1.5m 17.25t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架設費 内足場架設費 吊鉄加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設・養生費			
上部ブロック据付	寸法: 質量:	3.5×2.5×1.0m 17.25t	個	1	ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(スイング) ブロック運搬据付費(陸上運搬/海上運搬/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
胸壁コンクリート工 (上部工-上部コンクリート工を適用)								
付属工								
係船柱工								
係船柱	規格:	曲柱3t 反射鉄付	基	1	係船柱取付 架台取付 係船柱塗装費			
標識工								
灯標	規格:	2m 耐波浪型	個	1	灯浮標設置・撤去費 標識灯設置・撤去費			
点検梯子工								
梯子	規格:	ハイバックル巻 t=3mm φ22-SR235	箇所	1	梯子設置費 手摺設置費			
防舷材工								
埋込栓	規格:	130mmH 新型	組	1	埋込栓取付費(陸上/海上)			
埋込栓【潮待ち】	規格:	130mmH 新型	組	1	埋込栓取付費(陸上/海上)			
防舷材	規格: 長さ: テーパー有無:	150H 新型 2.0m 有	基	1	防舷材取付費(陸上/海上) 埋込栓費			
防舷材【潮待ち】	規格: 長さ: テーパー有無:	150H 新型 2.0m 有	基	1	防舷材取付費(陸上/海上) 埋込栓費			
防舷材タラップ	規格:	合成ゴム製 150H	基	1	防舷材タラップ取付費(陸上/海上) 埋込栓 手摺設置費			
防舷材タラップ【潮待ち】	規格:	合成ゴム製 150H	基	1	防舷材タラップ取付費(陸上/海上) 埋込栓 手摺設置費			
車止・縁金物工								
車止	規格: 長さ: 反射鉄有無:	SS400 H=150(180)mm 1.6m 有	本	1	車止取付費 車止塗装(被覆鋼板)費			
縁金物	規格: 色:	SS400 ゴム被覆 茶色	m	1	縁金物取付費 縁金物塗装(被覆鋼板)費			
階段工								
階段			箇所	1	型枠 コンクリート 転落防止柵取付費			

## 防波堤・防砂堤・導流堤

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>防食工</b>								
電気防食	陽極規格:		個	1	取付金具製作費 取付費 陽極取付費			
FRPモルタル被覆	径: 長さ: 厚さ:		本	1	足場設置撤去費 下地処理費 防食カバー取付費 モルタル注入費			
<b>付属設備工</b>								
係船環	規格:	SUS304 φ25mm	基	1	係船環			
<b>消波工</b>								
洗掘防止工 (基礎工-洗掘防止工を適用)								
<b>消波ブロック工</b>								
消波ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-〇 普通ポルトランドセメント 30t	個	1	異形ブロック製作費(製作転置含む)			
消波ブロック据付	公称質量:	30t	個	1	ブロック転置費(陸上/海上) ブロック持ち上り費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運搬/海上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
<b>維持補修工</b>								
<b>防食工</b>								
電気防食	陽極規格:		個	1	取付金具製作費 取付費 陽極取付費			
FRPモルタル被覆	径: 長さ: 厚さ:		本	1	足場設置撤去費 下地処理費 防食カバー取付費 モルタル注入費			
ヘアロラム被覆	—		m2	1	ヘアロラム被覆【足場設置撤去費(各種)/下地処理費(各種)/被覆防食費(各種)/端部処理費(各種)】 【各種:鋼管杭/鋼矢板/鋼管矢板】			
<b>維持塗装工</b>								
係船柱塗装	—		m2	1	係船柱塗替費	塗装塗替区分:	錆止+下塗+上塗	
車止塗装	—		m2	1	車止塗替費	塗替区分:	既設亜鉛メッキ面の補修	
緑金物塗装	—		m2	1	緑金物塗替費	塗替区分:	既設亜鉛メッキ面の補修	
<b>構造物撤去工</b>								
<b>取壊工</b>								
コンクリート構造物取壊	構造物区分:	鉄筋構造物	m3	1	コンクリート取壊費 鉄筋切断費 破砕片除去・積込費 運搬費 処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
コンクリート取壊(海上)	構造物区分:	無筋構造物	m3	1	水中部コンクリート取壊費 破砕片除去・積込費 運搬費 処分費	台船の有無: 処分場所(運搬距離):	有 〇〇建設管理部管内(4.7km)	
舗装版切断	舗装版種別: 舗装版厚:	コンクリート 20cm	m	1	舗装版切断費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
舗装版破砕	舗装版種別: 舗装版厚:	コンクリート 20cm	m2	1	舗装版取壊費 積込費 運搬費 処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
<b>撤去工</b>								
石材撤去	種類:	中割石	m3	1	石材撤去費(カッター船) グラブ床掘 硬土盤床掘 土運搬運搬 揚土 土砂運搬			施工断面に許容範囲が定められている場合は、海上地盤改良工のグラブ床掘工あるいは硬土盤・岩盤床掘工を適用する
ブロック撤去	種類: 質量:	被覆ブロック 3t	個	1	ブロック撤去費(1スイング内) (陸上/海上) ブロック撤去・設置・仮置費 (海上一連/陸上連携方式)	施工: 運搬距離: 据付:	海上一連方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 撤去	
鋼矢板・H型鋼杭引抜撤去	規格:		枚 or 本	1	鋼矢板・H形鋼杭引抜費 (ハイロラム)			仮設工 仮設鋼矢板工を適用する



## 護岸・岸壁・物揚場

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
海上地盤改良工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
基礎工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
本体工(ケソン式)	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
本体工(ブロック式)	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
本体工(場所打式)	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
本体工(捨石式・捨ブロック式)	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
本体工(鋼矢板式)	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
本体工(鋼杭式)	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
被覆・根固工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
上部工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
付属工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
消波工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
裏込・裏埋工								
裏込工								
防砂目地板	規格:	引張強度4.410N/3cm以上 t=2mm	m	1	防砂目地板取付費(陸上/水中)			
裏込材	種類:	栗石	m3	1	裏込材投入費(現場投入渡し)			流用材を海上投入及び陸上投入する場合は、別途積上げる
裏込均し	均し精度:	±20cm	m2	1	裏込均し費			
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m2	1	防砂シート設置費			
瀧取り	種類:	栗石	m3	1	瀧取り投入費 (自積/台船/二次投入方式)			
裏埋工								
裏埋材	石材種類:	雑割石	m3	1	裏埋材投入費			
裏埋土工								
土砂掘削	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	掘削(ブルド-サ/バックホリ) 土砂等運搬 (作業土工/残土/土材料) 整地 路体(築堤)盛土 路床盛土 敷均締固 押土(ル-ス) 積込(ル-ス) 人力積込 土材料 残土処分	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の有無): 残土処分費の有無:	処分場 (4.7km/有) 無	
土砂盛土	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	掘削(ブルド-サ/バックホリ) 土砂等運搬 (作業土工/残土/土材料) 整地 路体(築堤)盛土 路床盛土 敷均締固 押土(ル-ス) 積込(ル-ス) 人力積込 土材料 残土処分	搬出(流用)先: (運搬距離/整地の有無): 残土処分費の有無:	処分場 (4.7km/有) 無	
陸上地盤改良工								
圧密・排水工								
サンドレ-ン	径: 打設長:	400 5m	本	1	サンドレ-ン費			
敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			
敷砂均し	均し精度:		m3	1	敷砂均し費(水中)			
載荷土砂	土質:	土砂	m3	1	載荷土砂 投入費/均し費(水中)/撤去費)			
ハ-バ-ドレ-ン	材料規格: 打込長:	20m以下	本	1	ハ-バ-ドレ-ン打込費			
ハ-バ-ドレ-ン(液状化対策)	材料規格: 打込長:	20m以下	本	1	ハ-バ-ドレ-ン(液状化対策)費			
グラベルドレ-ン	径: 打設長:		本	1	グラベルドレ-ン費			
グラベルマット	種類:		m3	1	砕石敷均費			

## 護岸・岸壁・物揚場

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
締固工								
サンドコンパクション	径: 打設長:	400 5m	本	1	サンドコンパクション費			
敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			
敷砂均し	均し精度:		m3	1	敷砂均し費(水中)			
盛土土砂撤去	土質:	土砂	m3	1	掘削 土砂等運搬 整地 路体(築堤)盛土 路床盛土 押土(Ⅱ-Ⅲ) 積込(Ⅱ-Ⅲ) 人力積込 土材料 残土等処分 床掘 基面整正 舗装版破砕積込(小規模土工) 埋戻 クハ締固			
ロッドコンパクション	径: 改良長:		本	1	ロッドコンパクション打込費			
固化工								
深層混合処理杭	改良材料: 杭径: 杭長:	セメント 800 8m	本	1	深層混合処理杭打設費	セメント使用量: 深層混合処理船規格:	0.38t/日 2.2m <sup>2</sup>	
(深層混合処理船拘束)			(式)	1	深層混合処理船拘束費	拘束日数:	2日	拘束費対象船を一括 積み上げ計上する
敷砂	種類:	砂	m3	1	敷砂投入費			
敷砂均し	均し精度:		m3	1	敷砂均し費(水中)			
盛土土砂撤去	種類:	砂	m3	1	掘削 土砂等運搬 整地 路体(築堤)盛土 路床盛土 押土(Ⅱ-Ⅲ) 積込(Ⅱ-Ⅲ) 人力積込 土材料 残土等処分 床掘 基面整正 舗装版破砕積込(小規模土工) 埋戻 クハ締固			
事前混合処理			m3	1	事前混合処理費 試運転調整費 特許使用料 事前混合処理設備 (運搬費/分解・組立費)			
土工								
土工								
掘削	土質:	土砂	m3	1	掘削費(ブルドーザ/バックホ)			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費(作業土工/残土/土材料)	搬出(流用)先: 運搬距離:	処分場 4.7km	仮置場についても搬 出先と同様に積算条 件を明示する
整地	土質:	土砂	m3	1	残土受け入れ地での処理費 敷均(Ⅱ-Ⅲ)			
路体(築堤)盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均+締固費 敷均締固費			
路床盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均・締固費			
押土(Ⅱ-Ⅲ)	土質:	土砂	m3	1	押土(Ⅱ-Ⅲ)費			
積込(Ⅱ-Ⅲ)	土質:	土砂	m3	1	積込(Ⅱ-Ⅲ)費			
人力積込	土質:	土砂	m3	1	人力積込費			
土材料	土質:	土砂	m3	1	土材料費	搬入元:	土取場	
残土等処分	土質:	土砂	m3	1	処分費			
作業土工(床掘工)								
(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費			
(基面整正)			(m2)	1	基面整正費			
(舗装版破砕積込 小規模土工)	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 10cm	(m2)	1	舗装版掘削積込費			
作業土工(埋戻工)								
(埋戻)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			
(クハ締固)	土質:	土砂	(m3)	1	クハ締固費			

## 護岸・岸壁・物揚場

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>舗装工</b>								
<b>路床工</b>								
不陸整正			m2	1	路床整地転圧費(機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
<b>コンクリート舗装工</b>								
凍上抑制層	種類: 仕上り厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
下層路盤	種類: 仕上り厚:	0~40mm級切込砕石 20cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
上層路盤	種類: 仕上り厚:	0~40mm級切込砕石 20cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
(型枠)			(m2)	1	型枠組立・組外			
鉄網	規格:	SD295A D6×150× 150mm	m2	1	鉄網			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 舗装厚:	C- 混合セメント(B種) 20cm	m3	1	コンクリート打設 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー車)	打設量区分:	60~120m3/日	N3交通以下
コンクリート舗装	コンクリート配合: セメント種別: 舗装厚:	C- 普通ポルトランドセメント 20cm	m2	1	鋼製型枠設置撤去 軌条設置撤去 大型機械舗設費 機械移設費 簡易機械舗設費 人力舗設費 鉄網	施工幅:	3.5m以上	N4交通以上
伸縮目地	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
目地	目地型式:	収縮目地	m	1	膨張目地費 挿入工法収縮目地費 カット工法収縮目地費 縦施工目地費 施工目地費	工法: スリップバ-本数:	カット工法 235本	
止壁	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C- 混合セメント(B種) 幅20cm・高さ60cm	m	1	基礎材 型枠 目地材設置 コンクリート			
<b>アスファルト舗装工</b>								
凍上抑制層	種類: 仕上り厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
下層路盤	種類: 仕上り厚:	0~40mm級切込砕石 20cm	m2	1	路盤材敷均転圧費 (機械/人力)	施工規模:	300m2以上	
上層路盤	種類: 規格: 舗装厚:	再生アスファルト安定処理 (車道用) 再生合材混入率50% 5cm	m2	1	機械舗設費 機械舗設(小規模)費 人力舗設費 プライムコート散布費			
基層	種類: 規格: 舗装厚:	再生粗粒度アスファルト混 合物(車道用) 再生合材混入率50% 4cm	m2	1	機械舗設費 機械舗設(小規模)費 人力舗設費 タックコート散布費			
表層	種類: 規格: 舗装厚:	再生細粒度アスファルト混 合物(車道用) 再生材混入率50% 3cm	m2	1	機械舗設費 機械舗設(小規模)費 人力舗設費 タックコート散布費			
<b>水叩工</b>								
<b>水叩工</b>								
基礎材	種類: 数厚:	0~80mm級切込砕石 20cm	m3	1	基礎砕石敷均費			
(型枠)			(m2)	1	型枠組立・組外			
伸縮目地	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C- 混合セメント(B種)	m3	1	路盤紙 コンクリート打設費 (ポンプ車/クレーン車/ミキサー車)	打設量区分:	60~120m3/日	
<b>止壁工</b>								
止壁	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C- 混合セメント(B種) 幅20cm・高さ60cm	m	1	基礎材 型枠 目地材設置 コンクリート			

## 護岸・岸壁・物揚場

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
排水構造物工								
作業土工								
(床掘(掘削))	土質:	土砂	(m3)	1	床掘(掘削)費			
(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費			
(埋戻)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			
(基面整正)	土質:	土砂	(m2)	1	基面整正費			
(掘削補助機械搬入搬出)			(回)	1	掘削補助機械搬入搬出費			
(転石破砕)	土質:	土砂	(m3)	1	転石破砕費			
(積込(ルース))	土質:	土砂	(m3)	1	積込(ルース)費			
(人力積込)	土質:	土砂	(m3)	1	人力積込費			
(人力運搬)	土質:	土砂	(m3)	1	人力運搬費			
(押土(ルース))	土質:	土砂	(m3)	1	押土(ルース)費			
(整地)	土質:	土砂	(m3)	1	整地費			
(土砂等運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	(m3)	1	土砂等運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
(土材料)	土質:	土砂	(m3)	1	土材料費	搬入元:	土取場	
側溝工								
プラスチックU型側溝	側溝種類:	U300B	m	1	側溝設置費			
コルゲートチューブ	形式: 寸法:	A形 700 x 700mm	m	1	コルゲートチューブ設置費			
側溝基礎	材料規格:	0~80mm級切込砕石	m	1	基礎砕石・栗石費 基礎コンクリート費 基礎型枠費			
自由勾配側溝	種類: 内幅: 内高:	縦断用 330mm 600mm	m	1	側溝設置費 底部コンクリート費			
側溝蓋	設計荷重: 使用区分: 溝幅:	T-25 溝蓋(騒音防止用) 300用	枚	1	蓋板設置費			
管渠工								
PC管	管径: 管長:	600 4000mm	m	1	PC管設置費			
チューブ管(B形管)	管径: 基礎形式: 管種別:	600 90°固定基礎 外圧管2種	m	1	チューブ管設置費			
暗渠配水管	管種別: 管径:	合成樹脂波状管 200	m	1	暗渠排水管設置費			
鉄筋コンクリート台付管	管径: 管長: 管種別: 基礎形式:	60 2500mm 1種管 砂利基礎(H=250mm)	m	1	鉄筋コンクリート台付管設置費			
巻きコンクリート	巻きコンクリート配合: セメント種別:	C- 混合セメント(B種)	m3	1	巻きコンクリート 鉄筋 型枠			
均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C- 混合セメント(B種) 5cm	m2	1	コンクリート打設費・養生費 型枠費	構造物種別: 日打設置区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物	ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎栗石費			
コルゲートパイプ	規格: 管径:	型円形 600	m	1	コルゲートパイプ設置・撤去費			
鉄筋コンクリート管	管径: 管種:	600 1種管	m	1	鉄筋コンクリート管設置費			

護岸・岸壁・物揚場

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>集水樹工・マンホール</b>								
現場打ち集水樹	集水樹種類: コンクリート配合: セメント種別:	呑吐口樹鉄筋コンクリート 管 600用(1:1.5) C- 混合セメント(B種)	箇所	1	現場打ち集水樹・街渠樹(本体)費 (基礎材20cmまで含む) 鉄筋費			
プレキャスト集水樹	プレキャスト材種類: 作業区分: 製品質量:	650×650×650 据付 250kg	箇所	1	プレキャスト集水樹材料費・設置費 (基礎材含む)			
集水樹・マンホール基礎	コンクリート配合: セメント種別:	C- 混合セメント(B種)	箇所	1	基礎コンクリート費 基礎型枠費			
マンホール	マンホール規格: コンクリート配合: 蓋種類:		箇所	1	基礎材 コンクリート 型枠 鉄筋			
プレキャストマンホール	マンホール規格: 蓋種類:		箇所	1	マンホール設置費			
蓋	蓋種類:	鋼製 T-25 -A樹 下部樹用 細目	枚	1	蓋材料費			
<b>地下排水工</b>								
地下排水	管種別: 管径:	直管 100	m	1	暗渠排水管 フィルター材			
<b>現場打水路工</b>								
現場打水路	コンクリート配合: セメント種別: 内幅: 内高:	RC- 混合セメント(B種) 1,000mm 1,000mm	m	1	基礎材 均しコンクリート コンクリート 型枠 鉄筋 目地材・止水板			
側溝蓋	設計荷重: 使用区分: 溝幅:		枚	1	側溝蓋設置費			
<b>柵渠工</b>								
柵渠	材質: 内幅: 内高:	波形鉄板 1,000mm 1,000mm	m	1	基礎材(根固石含む) 柵設置費 親柱設置費(杭材/梁を含む)			
<b>排水工</b>								
小段排水	側溝種類:	鉄筋コンクリートU形	m	1	側溝設置費 撤去費 基礎材			
縦排水	側溝種類:	鉄筋コンクリートU形	m	1	均しコンクリート 型枠 目地材			
<b>打止工</b>								
床掘工	(防波堤・防砂堤・導流堤:海上地盤改良工・床掘工を適用)							
排砂管設備工	(防波堤・防砂堤・導流堤:海上地盤改良工・排砂管設備工を適用)							
土運船運搬工	(防波堤・防砂堤・導流堤:海上地盤改良工・土運船運搬工を適用)							
揚土土捨工	(防波堤・防砂堤・導流堤:海上地盤改良工・揚土土捨工を適用)							
作業土工	(土工を適用)							
基礎捨石工	(防波堤・防砂堤・導流堤:基礎工・基礎捨石工を適用)							
場所打コンクリート工	(防波堤・防砂堤・導流堤:上部工・上部コンクリート工を適用)							
水中コンクリート工	(防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(場所打式)-水中コンクリート工を適用)							
鋼矢板工	(防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(鋼矢板式)-鋼矢板工を適用)							
控工	(防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(鋼矢板式)-控工を適用)							
鋼杭工	(防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(鋼杭式)-鋼杭工を適用)							
上部コンクリート工	(防波堤・防砂堤・導流堤:上部工・上部コンクリート工を適用)							
維持補修工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
構造物撤去工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
雑工	(防波堤・防砂堤・導流堤:同一工種名を適用)							
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     工事内容により、他の工種種別(レベル2, 3)が必要となる場合は適宜追加すること。                 </div>								





用地

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>用地土工</b>								
(護岸・岸壁・物揚場:土工を適用)								
<b>陸上地盤改良工</b>								
(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)								
<b>法面工</b>								
<b>植生工</b>								
腐植酸種子散布			m2	1	法面清掃費			
有機材種子散布			m2	1	種子散布費			
種子散布	種子規格:		m2	1	法面清掃費 ラス張・アンカーピン設置費 種子吹付費			
養生(散水養生)			m2	1	散水養生費			
客土吹付			m2	1	法面清掃費 ラス張・アンカーピン設置費 客土吹付費			
植生基材吹付	工法区分: 吹付厚:	土砂系 5cm	m2	1	法面清掃費 ラス張・アンカーピン設置費 植生基材吹付費			
植生シート	肥料袋の有無:	無	m2	1	植生シート設置費			
植生マット	肥料袋の有無:	有	m2	1	植生マット設置費			
植生筋	芝区分:	人工筋芝(種子帯)	m2	1	芝張費			
張芝	芝区分:	生芝(土工用栽培芝)	m2	1	芝張費			
筋芝	芝区分:	生芝(土工用栽培芝)	m2	1	芝張費			
人工張芝	芝区分:	ワラ付 幅100cm	m2	1	芝張費			
植生穴	削孔数:		m2	1	植生穴施工費			
植生土のう積			m2	1	植生土のう製作 積立費			
<b>法覆基材工</b>								
すき取り土法覆基材	厚さ: 運搬距離:	15cm 2.0km	m2	1	すき取り土法覆費 積込費 運搬費	運搬距離:	2.0km	
<b>法面吹付工</b>								
モルタル吹付	セメント種類: 吹付厚:	普通セメント 10cm	m2	1	モルタル吹付費			
コンクリート吹付	セメント種類: 吹付厚:	普通セメント 15cm	m2	1	コンクリート吹付費			
<b>法枠工</b>								
現場打法枠	コンクリート配合: セメント種別: 中詰材種類:	RC-1 混合セメント(B種) 植生土のう	m2	1	現場打法枠費 コンクリート 型枠 鉄筋 敷砂利設置費 吸出し防止材設置費 アンカー設置費 中詰設置費 人力施工による植生費 足場 モルタル吹付費/コンクリート吹付費			
プレキャスト法枠	寸法: 中詰材種類: シート種類:	1000×1000×150mm 中詰ブロック 遮水シート	m2	1	プレキャストブロック設置費 敷砂利設置費 モルタル吹付費/コンクリート吹付費 機械播種施工による植生費 中詰費 人力施工による植生費 コンクリート 足場			
吹付枠	材質: 梁断面サイズ: 中詰材種類(厚):	コンクリート製 梁断面200×200 コンクリート吹付 (吹付厚15cm)	m2	1	ラス張費 吹付枠費 水切モルタル・コンクリート費 表面コーティング費 モルタル吹付費/コンクリート吹付費 機械播種施工による植生費 植生土のう製作費 枠内中詰費 中詰費 人力施工による植生費 コンクリート			
<b>法面施肥工</b>								
法面施肥	肥料の種類: 使用量:	高度化成肥料 300kg/10,000m2	m2	1	芝施肥費			
<b>アンカー工</b>								
アンカー材料費(アンカー)			式	1式	アンカー材料費			
削孔(アンカー)	削孔長:	8m	m	1	削孔費			
アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー)	防食方式: 鋼材種別: 設計荷重:	二重防食 PC鋼線より線 400kN	本	1	アンカー鋼材加工・組立・挿入費			
グラウト注入			m3	1	グラウト注入費			
(ホーリングマシン移送)			(回)	1	ホーリングマシン移送費			
足場(アンカー)			空m3	1	足場設置・撤去費			

用地

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
アンカー工(プレキャストコンクリート板)								
プレキャストコンクリート板据付			枚	1	プレキャストコンクリート板据付費			
アンカー工材料費(アンカー)			式	1式	アンカー材料費			
削孔(アンカー)	削孔径:	φ90	m	1	削孔費			
アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー)	防食方式: 鋼材種別: 設計荷重:	二重防食 PC鋼線より線 400kN	本	1	アンカー鋼材加工・組立・挿入費			
グラウト注入			m <sup>3</sup>	1	グラウト注入費			
(ホーリングマシン移設)			(回)	1	ホーリングマシン移設費			
足場(アンカー)			空m <sup>3</sup>	1	足場設置・撤去費			
鉄筋挿入工								
鉄筋挿入	鉄筋規格: 削孔長:	φ22 4m	m	1	鉄筋挿入費 削孔機械の上下移動費			
足場(鉄筋挿入)			空m <sup>3</sup>	1	足場設置・撤去費			
かご工								
じゃかご	じゃかご径: 線径: 止杭径: 長さ: 詰石種類:	45cm φ4.0 15cm 2m 玉石	m	1	じゃかご設置費 (法面整形費/床拵え/埋戻を含む) 止杭設置費			
ふとんかご	高さ: 幅: 線径: 詰石種類:	50cm 120cm φ4.0 玉石	m	1	ふとんかご設置費 (床拵え/埋戻を含む)			
特殊かご	高さ: 幅: 長さ: 線径: シート種類: 詰石種類: アンカー規格: 径: 長さ:	25cm 100cm 2.0m 3.2mm 不織布 0~80mm級切込砕石 アンカーピンSS400 φ16 500mm	本	1	特殊かご設置費(床拵え/埋戻) 吸出し防止材設置費 アンカーピン設置費			
二重ふとんかご	高さ: 幅: 長さ: 線径: シート種類: 詰石種類:	50cm 120cm 2.0m φ4.0 不織布 0~80mm級切込砕石	本	1	二重ふとんかご設置費 吸出し防止材設置費			床均し/埋戻は別途計上する
法面資材小運搬工								
法面資材小運搬	小運搬区分:	砂利	m <sup>3</sup>	1	法面資材小運搬費			
擁壁工								
作業土工								
(床掘(掘削))	土質:	土砂	(m <sup>3</sup> )	1	掘削費			
(床掘)	土質:	土砂	(m <sup>3</sup> )	1	床掘費			
(埋戻)	土質:	土砂	(m <sup>3</sup> )	1	埋戻費			
(基面整正)			(m <sup>2</sup> )	1	基面整正費			
(掘削補助機械搬入搬出)			(回)	1	機械搬入搬出費			
(転石破砕)			(m <sup>3</sup> )	1	転石破砕費			
(積込(ルース))	土質:	土砂	(m <sup>3</sup> )	1	積込(ルース)費			
(人力積込)	土質:	土砂	(m <sup>3</sup> )	1	人力積込費			
(人力運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 20m以下	(m <sup>3</sup> )	1	人肩運搬費 小車運搬費			
(押土(ルース))	土質:	土砂	(m <sup>3</sup> )	1	押土(ルース)費			
(整地)	土質:	土砂	(m <sup>3</sup> )	1	整地費			
(土砂等運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	(m <sup>3</sup> )	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	○○処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
(土材料)	土質:	土砂	(m <sup>3</sup> )	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	

用地

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>既製杭工</b>								
既製コンクリート杭	規格: 径: 長さ:	PHC杭 (A種7m/B種7m) φ400mm 14m	本	1	鋼管・既製コンクリート杭打費 カットオフ工費 積込(コンクリート設)費 鉄筋 コンクリート			
積込(ルース)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルース)費			
人力積込	土質:	レキ質土	m3	1	人力積込費			
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
残土等処分			m3	1	処分場及び受入地での処分費			
殻運搬	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	m3	1	殻運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
殻処分	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	m3	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
鋼管杭	規格: 径: 長さ:	SKK490(t=9mm) φ400 10m	本	1	鋼管・既製コンクリート杭打費 鋼管ソイルセメント杭打費 杭頭処理溶接費 ガス切断(鋼管杭)費 鉄筋 コンクリート 導管資材等 H形鋼杭資材等 ハイロハンマ及びウォータージェット併用施工による打込・引抜費			
(現場取卸(鋼管杭))			(t)	0.1	現場取卸費			1t未満は少数2位止
<b>場所打杭工</b>								
場所打杭	コンクリート配合: セメント種別: 径: 長さ:	RC-〇 普通ポルトランドセメント φ1,000mm 10m	本	1	ベント掘削費 ベント杭体費 杭頭処理費 場所打杭打込費 やぐら設置・撤去費 リハース杭体費 鉄筋 リハース杭コンクリート費 スラッシュタンク費 場所打杭打込費 鉄筋かご モルタル H型鋼材料費			
積込(ルース)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルース)費			
人力積込	土質:	レキ質土	m3	1	人力積込費			
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
残土等処分			m3	1	処分場及び受入地での処分費			
殻運搬	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	m3	1	殻運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
殻処分	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	m3	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
泥水処理	処分費の有無:	有	m3	1	濁水処理設備設置・撤去 保守点検費 運転費 汚泥吸排車運転費 汚泥処分費			
<b>場所打擁壁工(構造物単位)</b>								
小型擁壁	形式: 本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	重力式擁壁 C-〇 普通ポルトランドセメント 0.5m	m3	1		基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: クレーン規格(小型擁壁(B)):	有 有	小型擁壁(B)の場合のみクレーン規格を明示する
重力式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m 石積模様	m3	1	場所打擁壁工(1) コンクリート費(基礎材一均し型枠設置・撤去一均しコンクリート打設・養生一足場設置・撤去一型枠設置・撤去一目地材一水抜きパイプ一コンクリート打設・養生一吸出防止材を含む) 化粧型枠加算費 鉄筋ガス圧接費	基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜パイプの有無: 吸出防止材の有無: 足場種類: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
もたれ式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1				
逆T型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) H=4~5m	m3	1				
L型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1				
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
(化粧型枠)	模様:	石積模様	(m2)	1	化粧型枠費 化粧型枠製作・設置・撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
ペーラインコンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート材料費			
排水材	種類: 寸法:	線状排水材 厚さ50mm 幅250mm	m	1	排水材設置費			

用地

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考	
<b>場所打擁壁工</b>									
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材設置費 採取小割費				
均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C-△ 混合セメント(B種) 5cm	m2	1	コンクリート 型枠	構造物種別: 日打設置区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物 100m3未満 12m	ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする	
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	RC-2-1 普通ポルトランドセメント	m3	1	コンクリート打設・養生費 (場所打ち擁壁工(2)) ペーライコンクリート材料費	構造物種別: 日打設置区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物 100m3未満 12m		
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋材料・加工・組立費 ガス圧接費				
(型枠)	模様(化粧型枠):	石積模様	(m2)	1	型枠設置・撤去費 化粧型枠加算費				
処分費			m3	1	処分費				
(足場)	種類: 安全ネット:	手摺先行型枠組足場 有	(掛m2)	1	足場設置・撤去費				
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.10g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費				
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費				
水抜パイプ	管種類: 径: フィルター材:	VU管 φ50 ハットフィルター	m	1	水抜きパイプ材料費 フィルター材				
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m2	1	吸出し防止材設置費				
排水材	種類: 寸法:	線状排水材 厚さ50mm 幅250mm	m	1	排水材設置費				
<b>プレキャスト擁壁工</b>									
プレキャスト擁壁	ブロック規格: 高さ:	L型 2.5m	m	1	プレキャスト擁壁設置費(基礎材/均し型 枠設置・撤去/均しコンクリート打設・養 生/敷モルタル費を含む) 排水材設置費				
排水材	種類: 寸法:	線状排水材 厚さ50mm 幅250mm	m	1	排水材設置費				
<b>帯鋼補強土壁・アカー補強土壁工</b>									
補強土壁基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-△ 混合セメント(B種) 50cm 30cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 採取小割費				
補強土壁壁面材 組立・設置	壁面材種類:	鋼製ユニット	m2	1	壁面材(設置費/材料費)				
補強材取付	敷設材種類:		m	1	補強材(敷設/材料費)				
まき出し・敷均・締固			m3	1	まき出し・敷均・締固費 土材料費				
採取土盛土材	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	押土(ルース)費 積込(ルース)費 運搬費				
壁面上端処理	コンクリート配合: セメント種別: 幅:	RC-△ 混合セメント(B種) 30cm	m	1	コンクリート 型枠 鉄筋 足場				
排水管敷設	管種別: 管径: フィルター材:	合成樹脂全面透水管 φ150 0~80mm級切込砕石	m	1	暗渠排水管設置費				
<b>ジオテキスタイル補強土壁工(二重壁タイプ)</b>									
補強土壁基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-△ 混合セメント(B種) 50cm 30cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 採取小割費				
補強土壁壁面材 組立・設置	壁面材種類:	鋼製ユニット	m2	1	壁面材(設置費/材料費)				
補強材取付	敷設材種類:		m	1	補強材(敷設/材料費)				
砕石投入	敷設材種類:		m3	1	まき出し・敷均し・締固め費、土材料 費				
まき出し・敷均・締固			m3	1	まき出し・敷均・締固費 土材料費				
採取土盛土材	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	押土(ルース)費 積込(ルース)費 運搬費				
壁面上端処理	コンクリート配合: セメント種別: 幅:	RC-△ 混合セメント(B種) 30cm	m	1	コンクリート 型枠 鉄筋 足場				
排水管敷設	管種別: 管径: フィルター材:	合成樹脂全面透水管 φ150 0~80mm級切込砕石	m	1	暗渠排水管設置費				

用地

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
ジオテキスタイル補強土壁工(鋼製枠タイプ)								
補強土壁基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-△ 混合セメント(B種) 50cm 30cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 採取小割費			
ジオテキスタイル壁面材 組立・設置	壁面材種類:	鋼製ユニット	m <sup>2</sup>	1	壁面材(設置費/材料費)			
ジオテキスタイル敷設	敷設材種類:		m <sup>2</sup>	1	ジオテキスタイル(敷設/材料費)			
まき出し・敷均・締固			m <sup>3</sup>	1	まき出し・敷均・締固費 土材料費			
採取土盛土材	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m <sup>3</sup>	1	掘土(ルース)費 積込(ルース)費 運搬費			
壁面上端処理	コンクリート配合: セメント種別: 幅:	RC-△ 混合セメント(B種) 30cm	m	1	コンクリート 型枠 鉄筋 足場			
排水管敷設	管種別: 管径: フィルター材:	合成樹脂全面透水管 φ150 0~80mm級切込砕石	m	1	暗渠排水管設置費			
山留式擁壁工								
H形鋼	規格: 寸法: 長さ:	SS400 250×250×9×14mm 6m	本	1	削孔費 H形鋼建込費(H形鋼材料費を含む) 孔内洗浄費 コンクリート・モルタル打設費			
コンクリート板	規格・呼び名: 設計曲げモーメント:	SP-1 設計曲げモーメント3.4kN・ m/m	m <sup>2</sup>	1	コンクリート板設置費			
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m <sup>3</sup>	1	裏込材設置費			
壁面上端処理	コンクリート配合: セメント種別: 幅:	RC-△ 混合セメント(B種) 30cm	m	1	コンクリート 型枠 鉄筋 足場			
排水管敷設	管種別: 管径: フィルター材:	合成樹脂全面透水管 φ150 0~80mm級切込砕石	m	1	暗渠排水管設置費			
排水構造物工	(護岸・岸壁・物揚場:同一工種名を適用)							
表面処理工								
アスファルト舗装工								
凍上抑制層	種類: 仕上り厚:	0~80mm級切込砕石 12cm	m <sup>2</sup>	1	路盤材敷均転圧費(機械/人力)	施工規模:	300m <sup>2</sup> 以上	
下層路盤	種類: 仕上り厚:	0~40mm級切込砕石 15cm	m <sup>2</sup>	1	路盤材敷均転圧費(機械/人力)	施工規模:	300m <sup>2</sup> 以上	
表層	種類: 規格: 舗装厚:	再生細粒度アスファルト混 合物(車道用) 再生材混入率50% 3cm	m <sup>2</sup>	1	機械舗設費 機械舗設(小規模)費 人力舗設費 勾配コート散布費			
覆土工								
敷砂利	種類: 厚さ:	0~80mm級切込砕石 15cm	m <sup>2</sup>	1	敷均(ルース)費			
覆土	—		m <sup>3</sup>	1	覆土材購入費または採取費 (搬入費を含む) 敷均(ルース)費			
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     工事内容により、他の工種種別(レベル2, 3)が必要となる場合は適宜追加すること。                 </div>								



2. 漁港海岸整備

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次	
<b>堤防・護岸・胸壁</b>			
海岸土工	掘削工	堤防・護岸 ・胸壁 - 1	
	盛土工		
	法面整形工		
	残土処理工		
軽量盛土工	軽量盛土工	堤防・護岸 ・胸壁 - 2	
地盤改良工	表層安定処理工		
	パイルネット工		
	バ-チカルドレーン工		
	締固改良工		
護岸基礎工	作業土工	堤防・護岸 ・胸壁 - 3	
	洗掘防止工		
	基礎捨石工		
	被覆石工		
	袋詰コンクリート工		
	基礎ブロック工		
	場所打コンクリート工		
	海岸コンクリートブロック工		
	笠コンクリート工		堤防・護岸 ・胸壁 - 4
	基礎工		
	矢板工		
水中コンクリート工			
表法被覆工	基礎砕石工	堤防・護岸 ・胸壁 - 5	
	基礎礫石工		
	石積(張)工(構造物単位)		
	石積(張)工		
	海岸コンクリートブロック工		
本体工(場所打式)	水中コンクリート工	堤防・護岸 ・胸壁 - 6	
	(護岸基礎工-水中コンクリート工を適用)		
	場所打擁壁工(構造物単位)		
天端被覆工	コンクリート被覆工	堤防・護岸 ・胸壁 - 7	
	止壁工		
波返工	波返工(構造物単位)	堤防・護岸 ・胸壁 - 8	
裏法被覆工	波返工		
	石積(張)工(構造物単位)		
	(表法被覆工-石積(張)工(構造物単位)を適用)		
	石積(張)工		
	(表法被覆工-石積(張)工を適用)		
	コンクリートブロック工(間知ブロック張)	堤防・護岸 ・胸壁 - 9	
コンクリートブロック工(平ブロック張)			
根固工	コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)	堤防・護岸 ・胸壁 - 10	
	コンクリートブロック工(連節ブロック張)		
	コンクリート被覆工		
	(天端被覆工-コンクリート被覆工を適用)		
	法枠工		
消波工	根留工	堤防・護岸 ・胸壁 - 11	
	捨石工		
	根固ブロック工		
	基礎捨石工		
	(根固工-捨石工を適用)		
カルバート工	洗掘防止工	堤防・護岸 ・胸壁 - 12	
	被覆石工(海岸)		
	消波ブロック工(海岸)		
	被覆ブロック工(海岸)		
	排水構造物工		
排水構造物工	作業土工	堤防・護岸 ・胸壁 - 12	
	(護岸基礎工-作業土工を適用)		
	側溝工		
	管渠工		
斜路工	集水桝	堤防・護岸 ・胸壁 - 13	
	場所打水路工		
	作業土工		
	(護岸基礎工-作業土工を適用)		
	捨石工		
(護岸基礎工-基礎捨石工を適用)			
斜路工	(表法被覆工-コンクリート被覆工を適用)		
側壁工			
先端止壁工			

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次	
陸間工	打止工	堤防・護岸 ・胸壁 - 13	
	場所打擁壁工(構造物単位)		
	打止工		
付属物設置工	大型網かご工	堤防・護岸 ・胸壁 - 14	
	防止柵工		
	作業土工		
	(護岸基礎工-作業土工を適用)		
構造物撤去工	銘板工	堤防・護岸 ・胸壁 - 15	
	階段工		
	防護柵撤去工		
	標識撤去工		
	道路付属物撤去工		
	作業土工		
	(護岸基礎工-作業土工を適用)		
	構造物取壊工		堤防・護岸 ・胸壁 - 16
	プレキャスト擁壁撤去工		
	排水構造物撤去工		
	かご撤去工		
落石雪害防止撤去工			
道路付属施設撤去工			
ブロック舗装撤去工			
緑石撤去工			
冬期安全施設撤去工			
骨材再生工			
運搬処理工			
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照	

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次	
<b>突堤</b>			
海岸土工	(堤防・護岸・胸壁:海岸土工を適用)	突堤 - 1	
軽量盛土工	(堤防・護岸・胸壁:軽量盛土工を適用)		
基礎工	作業土工		
	(堤防・護岸・胸壁: 護岸基礎工-作業土工を適用)		
本体工	洗掘防止工		
	(堤防・護岸・胸壁: 護岸基礎工-洗掘防止工を適用)		
本体工	捨石工		
	(突堤:基礎工-捨石工を適用)		
	被覆石工		
	(堤防・護岸・胸壁: 護岸基礎工-被覆石工を適用)		
	被覆ブロック工		
	(堤防・護岸・胸壁: 護岸基礎工-海岸コンクリートブロック工を適用)		
	海岸コンクリートブロック工		
	(堤防・護岸・胸壁: 護岸基礎工-海岸コンクリートブロック工を適用)		
	既製杭工		
	詰杭工		
突堤 - 2	矢板工		
	石枠工		
	場所打コンクリート工		
	水中コンクリート工		
	(堤防・護岸・胸壁: 護岸基礎工-水中コンクリート工を適用)		
ケ-ソン工	防波堤・防砂堤・導流堤:		
	本体工(ケ-ソン式)を適用)		
セルラ-工	防波堤・防砂堤・導流堤:		
	本体工(ケ-ソン式)を適用)		
根固工	(堤防・護岸・胸壁:根固工を適用)		
消波工	(堤防・護岸・胸壁:消波工を適用)		
構造物撤去工	(堤防・護岸・胸壁: 構造物撤去工-構造物取壊工を適用)		
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照	

## 2. 漁港海岸整備

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次
<b>消波堤</b>		
海岸土工	(堤防・護岸・胸壁・海岸土工を適用)	消波堤 - 1
基礎工	(突堤:基礎工を適用)	
本体工	(堤防・護岸・胸壁・消波工を適用)	
構造物撤去工	(堤防・護岸・胸壁: 構造物撤去工-構造物取壊工を適用)	
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次
<b>離岸堤</b>		
基礎工	(突堤:基礎工を適用)	離岸堤 - 1
本体工	捨石工 (突堤:本体工-捨石工を適用)	
	被覆石工 (突堤:本体工-被覆石工を適用)	
	海岸コンクリートブロック工 (突堤:本体工-海岸コンクリートブロック工を適用)	
	場所打コンクリート工 (突堤:本体工-場所打コンクリート工を適用)	
	水中コンクリート工 (突堤:本体工-水中コンクリート工を適用)	
	ケソ工 (突堤:本体工-ケソ工を適用)	
	セルラ工 (突堤:本体工-セルラ工を適用)	
消波工	(突堤:消波工を適用)	
構造物撤去工	(堤防・護岸・胸壁: 構造物撤去工-構造物取壊工を適用)	
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次
<b>人工リーフ</b>		
本体工	捨石工 (突堤:本体工-捨石工を適用)	人工リーフ - 1
	被覆石工 (突堤:本体工-被覆石工を適用)	
	海岸コンクリートブロック工	
構造物撤去工	(堤防・護岸・胸壁: 構造物撤去工-構造物取壊工を適用)	
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照

工事区分(レベル1) 工 種(レベル2)	種 別 (レベル3)	目 次
<b>養浜</b>		
海岸土工	(堤防・護岸・胸壁・海岸土工を適用)	養浜 - 1
軽量盛土工	(堤防・護岸・胸壁・軽量盛土工を適用)	
砂止工	根固ブロック工	
仮設工	(全工種共通:仮設工を適用)	仮設工参照

堤防・護岸・胸壁

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>海岸土工</b>								
<b>掘削工</b>								
掘削	土質:	土砂	m3	1	掘削・積込費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
軟弱土等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
転石破碎			m3	1	転石破碎費			
押土(ルース)	土質:	土砂	m3	1	押土(ルース)費			
積込(ルース)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルース)費			
人力積込	土質:	土砂	m3	1	人力積込費			
<b>盛土工</b>								
路体(築堤)盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均/締固費			
路床盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均/締固費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
押土(ルース)	土質:	土砂	m3	1	押土(ルース)費			
積込(ルース)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルース)費			
人力積込	土質:	土砂	m3	1	人力積込費			
土材料	土質:	土砂	m3	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	
<b>法面整形工</b>								
法面整形(切土部)	土質:	砂質土	m2	1	法面整形費			
法面整形(盛土部)	—		m2	1	法面整形費 土材料費			
<b>残土処理工</b>								
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
残土等処分	土質:	土砂	m3	1	処分場及び受入地での処分費			
<b>軽量盛土工</b>								
<b>軽量盛土工</b>								
軽量盛土	発泡スチロールブロック規格:	難燃性	m3	1	発泡スチロール設置工(排水材・基礎砕石・敷砂含む)			
コンクリート床版	コンクリート配合: セメント種別: 厚さ:	C-△ 混合セメント(B種) 10cm	m3	1	コンクリート打設・養生費(型枠・目地材を含む)			
基礎コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m	1	基礎材設置費 コンクリート打設費 型枠 鉄筋材料・加工・組立費			
支柱	支柱規格:	SS400・H300×300mm ・長さ5.0m	本	1	支柱設置費			
壁面材	壁面材規格:	2.0m×0.5m	m2	1	壁面材設置費			
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
<b>地盤改良工</b>								
<b>表層安定処理工</b>								
サンドマット	砂材料費:	有	m3	1	サンドマット設置費			
安定処理	固化材種類: 100m2当り使用量: 混合深さ:		m2	1	固化材散布 混合 敷均/締固費			
置換	置換材料:	0~80mm級切込砕石	m3	1	押土(ルース)積込(ルース)費 掘削 運搬 置換材料費 敷均/締固費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>海岸土工</b>								
<b>掘削工</b>								
掘削	土質:	土砂	m3	1	掘削・積込費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
軟弱土等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
転石破碎			m3	1	転石破碎費			
押土(ルース)	土質:	土砂	m3	1	押土(ルース)費			
積込(ルース)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルース)費			
人力積込	土質:	土砂	m3	1	人力積込費			
<b>盛土工</b>								
路体(築堤)盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均/締固費			
路床盛土	土質:	土砂	m3	1	敷均/締固費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
押土(ルース)	土質:	土砂	m3	1	押土(ルース)費			
積込(ルース)	土質:	土砂	m3	1	積込(ルース)費			
人力積込	土質:	土砂	m3	1	人力積込費			
土材料	土質:	土砂	m3	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	
<b>法面整形工</b>								
法面整形(切土部)	土質:	砂質土	m2	1	法面整形費			
法面整形(盛土部)	—		m2	1	法面整形費 土材料費			
護岸法面小段整形			m2	1	護岸法面小段整形費			
<b>残土処理工</b>								
整地	土質:	土砂	m3	1	整地費			
土砂等運搬	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	m3	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
残土等処分	土質:	土砂	m3	1	処分場及び受入地での処分費			
<b>軽量盛土工</b>								
<b>軽量盛土工</b>								
軽量盛土	発泡スチロールブロック規格:	難燃性	m3	1	発泡スチロール設置工(排水材・基礎碎石・敷砂含む)			
コンクリート床版	コンクリート配合: セメント種別: 厚さ:	C-△ 混合セメント(B種) 10cm	m3	1	コンクリート打設・養生費(型枠・目地材を含む)			
基礎コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m	1	基礎材設置費 コンクリート打設費 型枠 鉄筋材料・加工・組立費			
支柱	支柱規格:	SS400・H300×300mm ・長さ5.0m	本	1	支柱設置費			
壁面材	壁面材規格:	2.0m×0.5m	m2	1	壁面材設置費			
裏込碎石	種類:	0~80mm級切込碎石	m3	1	裏込材設置費			
<b>地盤改良工</b>								
<b>表層安定処理工</b>								
サンドマット	砂材料費:	有	m3	1	サンドマット設置費			
安定処理	固化材種類: 100m2当り使用量: 混合深さ:		m2	1	固化材散布 混合 敷均/締固費			
置換	置換材料:	0~80mm級切込碎石	m3	1	押土(ルース)積込(ルース)費 掘削 運搬 置換材料費 敷均/締固費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する

堤防・護岸・胸壁

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
パイルネット工								
既製コンクリート杭	規格: 径: 長さ:	PHC杭 (A種7m・B種7m) φ400mm 14m	本	1	既製コンクリート杭打込費 カットオフ費 杭頭処理費 中詰コンクリート打設費	工法区分: 打込(掘削)長区分: ヤッコ使用の有無: 杭吊込用機種計上区分:	中掘(グラウト式) 16m~32m	中掘の場合はヤッコ 使用の有無と杭吊込 用機種計上区分につ いては明示しない。
殻運搬	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	m3	1	殻運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
殻処分	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	m3	1	殻処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
木杭	末口径: 長さ:	15cm 3m	本	1	木杭打込費			
連結鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16~25	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費			
サンドマット	砂材料費:	有	m3	1	サンドマット設置費			
パーチカルドレーン工								
サンドドレーン	径: 打設長:	φ400 20m	本	1	サンドドレーン費			
ペーパードレーン	種別: 幅: 打設長:	カートンドレーン 100mm 10m	本	1	ペーパードレーン費			
締固改良工								
サンドコンパクションパイル	径: 打設長:	φ400 20m	本	1	サンドコンパクションパイル費			
固結工								
粉体噴射攪拌	改良材料: 径: 打設長: 杭長:	普通ポルトランドセメント φ1,000 15m 13m	本	1	粉体噴射攪拌費 特許料	特許料の有無: 施工区分:	有 単軸施工	標準機種が設定され ていないため施工区 分を明示する。
粉体噴射攪拌(洗掘)			式	1式	掘削費			
(粉体噴射攪拌(移設))			(式)	1式	粉体噴射攪拌機移設費			
(粉体噴射攪拌(軸間変更))			(式)	1式	粉体攪拌機軸間変更費			
スラリー攪拌	改良材料: 径: 打設長: 杭長:	セメントミルク φ800 15m 13m	本	1	スラリー攪拌 プラント現場内移設 積込(ルース) 処分費及び受入地での処分費			
高圧噴射攪拌	注入材料: 注入長: 土被長:	モルタル 15m 5m	本	1	高圧噴射攪拌費 特許料 注入設備据付・解体・移設費 足場 汚泥処分費	特許料の有無:	有	
中層混合処理	改良材料: 改良深度:	普通ポルトランドセメント 3m	m3	1	中層混合処理機運搬費 スラリープラント運搬費 特許料	特許料の有無:	有	
薬液注入	改良材種類: 改良長:	水ガラス系 15m	本	1	二重管スレーナ施工費 二重管ダブルバック施工費 注入設備据付・解体費 注入設備移設費 足場 汚泥土処分費	特許料の有無:	有	
護岸基礎工								
作業土工								
(床掘(掘削))	土質:	土砂	(m3)	1	掘削・積込費			
(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費			
(埋戻)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			
(基面整正)			(m2)	1	基面整正費			
(掘削補助機械搬入搬出)			(回)	1	機械搬入搬出費			
(転石破碎)			(m3)	1	転石破碎費			
(積込(ルース))	土質:	土砂	(m3)	1	積込(ルース)費			
(人力積込)	土質:	土砂	(m3)	1	人力積込費			
(人力運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 20m以下	(m3)	1	人肩運搬費 小車運搬費			
(押土(ルース))	土質:	土砂	(m3)	1	押土(ルース)費			
(整地)	土質:	土砂	(m3)	1	整地費			
(土砂等運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	(m3)	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬 出先と同様に積算条 件を明示する
(土材料)	土質:	土砂	(m3)	1	土材料費	搬入元:	□□土取場	

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
洗掘防止工								
洗掘防止	材質: 寸法:	アスファルトマット 8m×2m	m2	1	アスファルトマット設置費 帆布設置費 合成樹脂マット設置費			
グラベルマット	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフレレン クレーン/クラムシェル投入)			流用材を海上投入及 び陸上投入する場 合は、別途積上げる
グラベルマット均し	均し精度:	±50cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
大型網かご製作	網かご種別: 寸法: 詰石種類:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m 中割石	個	1	大型網かご製作費			
大型網かご据付	網かご種別: 寸法:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m	個	1	大型網かご転置費 大型網かご横持ち費 大型網かご据付費(1スイング) 大型網かご運搬据付費(陸上運携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
基礎捨石工								
基礎捨石	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフレレン クレーン/クラムシェル投入)			流用材を海上投入及 び陸上投入する場 合は、別途積上げる
捨石本均し	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石荒均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石本均し(海岸)	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
捨石荒均し(海岸)	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
表面均し			m2	1	表面均し費			
被覆石工								
被覆石	石材種類:	大割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフレレン クレーン/クラムシェル投入)			流用材を海上投入及 び陸上投入する場 合は、別途積上げる
被覆均し(海岸)	均し精度:	±50cm	m2	1	被覆均し費(水中/陸上)			
袋詰コンクリート工								
袋詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	袋詰コンクリート費	麻袋計上有無:	有	
基礎ブロック工								
基礎ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 質量:	C-〇 混合セメント(B種) 2.0×2.5×1.5m 17.25t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架組費 内足場架組費 鉄筋 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費			
基礎ブロック据付	寸法: 質量:	2.0×2.5×1.5m 17.25t	個	1	ブロック転置費 ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運携/海上 一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
場所打コンクリート工								
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場合 のみ圧送管超過延 長を明示し、圧送管 平均延長のうち30m を超える部分の延長 とする
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
(型枠)	—		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
処分費			m3	1	処分費			
海岸コンクリートブロック工								
海岸コンクリートブロック製作	コンクリート配合: コンクリート種別: 公称質量:	C-〇 混合セメント(B種) 2t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熟養生費 特許料			
海岸コンクリートブロック据付	公称質量:	2t	個	1	消波ブロック設置(海岸) ブロック設置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上運携/海上 一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
笠コンクリート工								
笠コンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 鉄筋 目地材	構造物種別: 日打設置区分: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
プレキャスト笠コンクリート	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	笠コンクリート材料費 設置費			
基礎工								
現場打基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	現場打基礎コンクリート 鉄筋材料・加工・組立			
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
基礎礫石	種類: 敷厚:	礫石50~150mm 20cm	m <sup>2</sup>	1	基礎礫石費			
中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	中詰コンクリート費			
中詰コンクリート殻			m <sup>3</sup>	1	材料費 中詰材投入費			
矢板工								
鋼矢板	鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IV型 10m	枚	1	導材賃料等・設置撤去費 鋼矢板・鋼管矢板 (材料費/荷卸費/運搬費) 鋼管矢板打設費 (アイセルハンマ/油圧ハンマ) (陸上/海上)	工法区分: 打込長区分:	ウォータージェット併用 油圧式パイプロハンマ 9~12m	バックホウ装着式パイプロハンマの場合、打込長区分については明示しない。
広幅鋼矢板	広幅鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IVw型 10m	枚	1	杭打船ハンマ付替 鋼矢板打設費(パイプロハンマ) (陸上/海上) 杭打船拘束費 鋼矢板・鋼管矢板切断費 鋼矢板打設(U型矢板/組合せ矢板) (油圧ハンマ/アイセルハンマ)			
鋼矢板防食	陽極規格:		個 or m <sup>2</sup>	1	①電気防食【取付金具製作費/取付費/陽極取付費】 ②ペトロラム被覆【足場設置撤去費(各種)/下地処理費(各種)/被覆防食費(各種)/端部処理費(各種)】 【各種:鋼管杭/鋼矢板/鋼管矢板】			
腹起	溝形鋼規格:	SS400 [125×65×6×8mm]	m	1	腹起材料費 腹起材設置費(陸上/海上)			
タイ材	タイロッド材質: 径:	高張力690 φ25	組	1	受枠打設費 胴木設置費 タイロッド設置費 タイワイヤー設置費(陸上/海上)			
控え版	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 50cm 150cm	m	1	基礎材費 コンクリート 型枠 鉄筋 目地材			
水中コンクリート工								
(岩盤基面整正)	岩質:	中質	(m <sup>2</sup> )	1	岩盤基面整正費			
(岩盤等掻均し)	—		(m <sup>2</sup> )	1	かき落とし費 (陸上施工/海上施工)			
(足場)	—		(m <sup>2</sup> )	1	鋼製枠組足場架設費			
(型枠)	—		(m <sup>2</sup> )	1	鋼製型枠組立組外費 (陸上施工/海上施工)	施工機種:	起重機船鋼D25t吊	
漏洩防止材	シート種類: 引張強度:	織布 1,260N/3cm以上	m <sup>2</sup>	1	漏洩防止シート設置費			
水中コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設・養生費 (ケーシング/ポンプ車)	日打設置区分:	100m <sup>3</sup> /日以上	
H形鋼	材質: 寸法: 長さ:	SS400 H100×100×6×8mm 1.0m	本	1	H形鋼費			
(ケーシング損料)	—		(式)	1式	ケーシング賃料等	ケーシング長: 供用日数:	5.1m 28日	
(配管設置撤去)	—		(m)	1	配管設置撤去費(水中/陸上)	施工機種:	起重機船鋼D25t吊	
(配管損料)	—		(式)	1式	配管賃料等	配管超過延長区分 運転日数区分 日打設置区分 曲管本数区分	65m 39日 100m <sup>3</sup> /日以上 2本	
水中不分離性コンクリート工								
(型枠)	—		(m <sup>2</sup> )	1	鋼製型枠組立組外費 (陸上施工/海上施工)	施工機種:	起重機船鋼D25t吊	
水中不分離性コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	コンクリート運搬費 水中コンクリート打設(ポンプ車)	日打設置区分:	100m <sup>3</sup> /日以上	コンクリート運搬費は上部工を適用する

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>表法被覆工</b>								
<b>基礎砕石工</b>								
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m <sup>2</sup>	1	吸出し防止材設置費			
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m <sup>2</sup>	1	基礎砕石費 基礎栗石費			
<b>基礎栗石工</b>								
基礎栗石	種類: 敷厚:	栗石50~150mm 20cm	m <sup>2</sup>	1	基礎栗石費			
基礎栗石均し	均し精度:	±5cm	m <sup>2</sup>	1	基礎栗石均し費(水中/陸上)			
<b>石積(張)工(構造物単位)</b>								
石積(張)基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-〇 混合セメント(B種) 30cm 50cm	m	1	現場打ち基礎コンクリート費			
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m <sup>2</sup>	1	基礎砕石費 基礎栗石費			
中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	中詰コンクリート打設費			
石積	構造区分: シート種類:	空積み 河川護岸用 吸出し防止シート	m <sup>2</sup>	1	石材設置費 裏込材費 胸込・裏込コンクリート打設費 目地材 水抜きパイプ設置費 吸出し防止材			
天端コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	天端コンクリート打設費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm <sup>3</sup> 以上級	m <sup>2</sup>	1	目地材設置費			
<b>石積(張)工</b>								
石積(張)基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-〇 混合セメント(B種) 30cm 50cm	m	1	現場打ち基礎コンクリート費			
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m <sup>2</sup>	1	基礎砕石費 基礎栗石費			
中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	中詰コンクリート打設費			
石積	構造区分: シート種類:	空積み 河川護岸用 吸出し防止シート	m <sup>2</sup>	1	石材設置費 裏込材費 胸込・裏込コンクリート打設費 目地材 水抜きパイプ設置費 吸出し防止材			
胸込・裏込コンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-10 普通ホトランドセメント 40cm	m <sup>3</sup>	1	胸込・裏込コンクリート打設費			
裏込材	種類:	0~80mm級切込砕石	m <sup>3</sup>	1	裏込材設置費			
天端コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	天端コンクリート打設費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm <sup>3</sup> 以上級	m <sup>2</sup>	1	目地材設置費			
<b>海岸コンクリートブロック工</b>								
海岸コンクリートブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-〇 混合セメント(B種) 14t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料			
海岸コンクリートブロック据付	公称質量:	14t	個	1	ブロック設置(海岸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上 一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m <sup>3</sup>	1	裏込材設置費			
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m <sup>2</sup>	1	吸出し防止材設置費			

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
コンクリート被覆工								
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	コンクリート打設・養生費	構造物種別: 目地材設置区分: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m <sup>3</sup>	1	裏込材設置費			
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m <sup>2</sup>	1	吸出防止材設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm <sup>3</sup> 以上級	m <sup>2</sup>	1	目地材設置費			
(型枠)	—		(m <sup>2</sup> )	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
スリップパ-	規格: 径: 長さ:	SR235 φ19 600mmキップ付き	本	1	スリップパ-設置費			
処分費			m <sup>3</sup>	1	処分費			
本体工(場所打式)								
水中コンクリート工	(護岸基礎工-水中コンクリート工を適用)							
場所打擁壁工(構造物単位)								
小型擁壁	形式: 本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	重力式擁壁 C-4 普通ポルトランドセメント 0.5m	m <sup>3</sup>	1	場所打擁壁工(1) コンクリート費(基礎材-均し型枠設置・撤去-均しコンクリート打設・養生-足場設置・撤去-型枠設置・撤去-目地材-水抜きパイプ-コンクリート打設・養生-吸出防止材を含む) 化粧型枠加算費 鉄筋ガス圧接費	基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜きパイプの有無: 吸出防止材の有無: クレーン規格(小型擁壁(B)):		小型擁壁(B)の場合のみクレーン規格を明示する
重力式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m 石積模様	m <sup>3</sup>	1		基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜きパイプの有無: 吸出防止材の有無: 足場種類: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
もたれ式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m	m <sup>3</sup>	1				
逆T型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) H=4~5m	m <sup>3</sup>	1				
L型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) 3.0m	m <sup>3</sup>	1				
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m <sup>3</sup>	1	裏込材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
(化粧型枠)	模様:	石積模様	(m <sup>2</sup> )	1	型枠設置・撤去費 化粧型枠加算費	構造物種別:	無筋構造物	
ペーラインコンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	コンクリート材料費			

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
場所打擁壁工								
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎砕石費 基礎栗石費			
均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C-△ 混合セメント(B種) 5cm	m2	1	コンクリート打設費・養生費 型枠費	構造物種別: 日打設置区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物 100m3未満 12m	ポンプ車打設の場合 のみ圧送管超過延 長を明示し、圧送管 平均延長のうち30m を超える部分の延長 とする
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費・養生費 (場所打ち擁壁工(2))			
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
(足場)	種類: 安全ネット:	手摺先行型枠組足場 有	(掛m2)	1	足場設置・撤去費			
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m2	1	吸出し防止材設置費			
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
水抜きパイプ	管種類: 径: フィルター材:	VU管 φ50mm ハットフィルター	m	1	水抜きパイプ材料費 フィルター材			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
(型枠)	模様(化粧型枠):	石積模様	(m2)	1	型枠設置・撤去費 化粧型枠加算費	構造物種別:	無筋構造物	
ペーラインコンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート材料費			
処分費			m3	1	処分費			
天端被覆工								
コンクリート被覆工								
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費	構造物種別: 日打設置区分: 圧送管超過延長:		
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎栗石費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
(型枠)	—		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
路盤紙	種類:	クラフト紙系	m2	1	路盤紙材料費			
処分費			m3	1	処分費			
止壁工								
止壁	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-O 普通ポルトランドセメント 幅20cm・高さ60cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 目地材			

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考	
<b>波返工</b>									
波返工(構造物単位)									
小型擁壁	形式: 本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	重力式擁壁 C-4 普通ポルトランドセメント 0.5m	m3	1	場所打擁壁工(1) コンクリート費(基礎材-均し型枠設置・ 撤去-均しコンクリート打設・養生-足 場設置・撤去-型枠設置・撤去- 目地材-水抜きパイプ-コンクリート打 設・養生-吸出防止材を含む) 化粧型枠加算費 鉄筋ガス圧接費	基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜きパイプの有無: 吸出防止材の有無: クレーン規格(小型擁壁(B)):		小型擁壁(B)の場合 のみクレーン規格を明 示する	
重力式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m 石積模様	m3	1					
もたれ式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1			基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜きパイプの有無: 吸出防止材の有無: 足場種類: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場合 のみ圧送管超過延 長を明示し、圧送管 平均延長のうち30m を超える部分の延長 とする
逆T型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) H=4~5m	m3	1					
L型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1					
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費				
裏込碎石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費				
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費				
(化粧型枠)	模様:	石積模様	(m2)	1	型枠設置・撤去費 化粧型枠加算費	構造物種別:	無筋構造物		
ペーラインコンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート材料費				
<b>波返工</b>									
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎薬石費				
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設・養生費 (場所打ち擁壁工(2))				
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費				
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費				
スリップバー	規格: 径: 長さ:	SR235 φ19 600mmキャップ付き	本	1	スリップバー設置費				
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費				
(型枠)	—		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物		
処分費			m3	1	処分費				
<b>裏法被覆工</b>									
石積(張)工(構造物単位)	(表法被覆工-石積(張)工(構造物単位)を適用)								
石積(張)工	(表法被覆工-石積(張)工を適用)								
コンクリートブロック工(間知ブロック張)									
コンクリートブロック基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	現場打基礎コンクリート				
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費				
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎砕石費 基礎薬石費				
中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	中詰コンクリート打設費				
間知ブロック張	m2当り質量 控長	350kg/m2 35cm	m2	1	ブロック設置費・水抜きパイプ設置費				
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費				
天端コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m3	1	天端コンクリート打設費				
小口止コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-4 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費 型枠 目地材				

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
コンクリートブロック工(平ブロック張)								
コンクリートブロック基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-〇 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	現場打基礎コンクリート			
平ブロック張	m2当り質量: シート種類:	360kg/m2 遮水シート	m2	1	遮水シート・吸出防止材 ブロック設置費 裏込材 目地モルタル打設費			
裏込栗石投入	石材種類:	栗石50~150mm	m3	1	裏込栗石設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
天端コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m3	1	天端コンクリート打設費			
小口止コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-4 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費 型枠 目地材			
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)								
コンクリートブロック基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-〇 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	現場打基礎コンクリート			
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎栗石費			
中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	中詰コンクリート打設費			
コンクリートブロック積	m2当り質量 控長	350kg/m2 35cm	m2	1	ブロック設置費 裏込材 胸込・裏込コンクリート打設費 目地材・水抜パイプ設置費			
胸込・裏込コンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-10 普通ホルランドセメント 40cm	m3	1	胸込・裏込コンクリート打設費			
胸込・裏込材(砕石)	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	胸込・裏込材設置費			
吸出し防止材(全面)設置	シート種類:	河川護岸用吸出防止 シート	m2	1	吸出し防止材設置費			
遮水シート張	シート種類:		m2	1	遮水シート材設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
(養生費)	構造物種別:	鉄筋構造物	(m3)	1	防寒養生費			
天端コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m3	1	天端コンクリート打設費			
小口止コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-4 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費 型枠 目地材			

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
コンクリートブロック工(連節ブロック張)								
コンクリートブロック基礎	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-O 混合セメント(B種) 50cm 50cm	m	1	現場打基礎コンクリート			
プレキャスト基礎	底幅: 高さ:	50cm 50cm	m	1	プレキャスト基礎材料費 設置費			
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m <sup>2</sup>	1	基礎材砕石費 基礎礎石費			
中詰コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	中詰コンクリート打設費			
連節ブロック張	m <sup>2</sup> 当り質量: シート種類:	340kg/m <sup>2</sup> 河川護岸用 吸出し防止シート	m <sup>2</sup>	1	ブロック設置費 遮水シート・吸出防止材			
裏込栗石投入	石材種類:	栗石50~150mm	m <sup>3</sup>	1	裏込栗石設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm <sup>3</sup> 以上級	m <sup>2</sup>	1	目地材設置費			
天端コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-10 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	天端コンクリート打設費			
小口止コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-4 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	コンクリート打設費 型枠 目地材			
コンクリート被覆工	(天端被覆工-コンクリート被覆工を適用)							
法枠工								
現場打法枠	コンクリート配合: セメント種別: 中詰材種類:	RC-1 混合セメント(B種) 植生土のう	m <sup>2</sup>	1	現場打法枠費 コンクリート 型枠 鉄筋 敷砂利設置費 吸出防止材 アンカー 中詰設置費 植生費 足場 コンクリート吹付費 マルチ吹付費			
プレキャスト法枠	寸法: 中詰材種類: シート種類:	1,000×1,000×300mm 植生土のう 遮水シート	m <sup>2</sup>	1	プレキャストブロック設置費 敷砂利 マルチ吹付費 コンクリート吹付費 中詰設置費 植生費 足場			
吹付枠	材質: 梁断面サイズ: 中詰材種類(厚):	コンクリート製 梁断面200×200mm コンクリート吹付(吹付厚 15cm)	m <sup>2</sup>	1	法面清掃費 法枠設置費(鉄筋含む) アンカー設置費 法枠吹付費 枠内吹付費 枠内中詰費 土のう留金網設置費			
根留工								
止壁	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-O 混合セメント(B種) 幅20cm高さ60cm	m	1	基礎材 コンクリート 型枠 目地材			
根固工								
捨石工								
中詰石	石材種類:	中割石	m <sup>3</sup>	1	陸上投入費(直接/バックホウ/ラフテレーン クレーン/クラム投入)			流用材を海上投入及 び陸上投入する場 合は、別途積上げる
捨石	石材種類:	中割石	m <sup>3</sup>	1	陸上投入費(直接/バックホウ/ラフテレーン クレーン/クラム投入)			
捨石本均し	均し精度:	±5cm	m <sup>2</sup>	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石荒均し	均し精度:	±30cm	m <sup>2</sup>	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石本均し(海岸)	均し精度:	±5cm	m <sup>2</sup>	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
捨石荒均し(海岸)	均し精度:	±30cm	m <sup>2</sup>	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
表面均し			m <sup>2</sup>	1	表面均し費			
根固ブロック工								
根固ブロック製作 (施工パッケージ)	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 公称質量:	C-O 普通ポルトランドセメント 5.0×2.5×1.6m 42.32t	個	1	根固ブロック製作費 鋼製枠組足場架組費 鉄筋加工組立費 吊鉄筋加工組立費			
根固ブロック製作	コンクリート配合: セメント種別: 寸法: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 5.0×2.5×1.6m 42.32t	個	1	ルーフィング設置費 鋼製枠組足場架組費 内足場架組費 鉄筋 吊鉄筋加工組立費 鋼製型枠組立組外費 コンクリート打設費			
根固ブロック据付	寸法: 公称質量:	5.0×2.5×1.6m 42.32t	個	1	ブロック転置費 ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上 一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>消波工</b>								
基礎捨石工		(根固工-捨石工を適用)						
<b>洗掘防止工</b>								
洗掘防止	材質: 寸法:	アスファルトマット 8m×2m	m2	1	アスファルトマット設置費 帆布設置費 合成樹脂マット設置費			
グラベルマット	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(現場投入渡し)			流用材を海上投入及び陸上投入する場合は、別途積上げる
グラベルマット均し	均し精度:	±50cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
大型網かご製作	網かご種別: 寸法: 詰石種類:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m 中割石	個	1	大型網かご製作費			
大型網かご据付	網かご種別: 寸法:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m	個	1	大型網かご転置費 大型網かご横持ち費 大型網かご据付費(1スイング) 大型網かご運搬据付費(陸上連携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
<b>被覆石工(海岸)</b>								
被覆均し(海岸)	—		m2	1				
<b>消波ブロック工(海岸)</b>								
消波ブロック製作(海岸)	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 30t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料			
消波ブロック据付(海岸)	公称質量:	30t	個	1	消波ブロック設置(海岸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上 一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
<b>被覆ブロック工(海岸)</b>								
被覆ブロック製作(海岸)	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-O 混合セメント(B種) 4t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料			
被覆ブロック据付(海岸)	公称質量:	4t	個	1	消波ブロック設置(海岸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック横持ち費 ブロック据付費(1スイング) ブロック運搬据付費(陸上連携/海上 一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
<b>カルバート工</b>								
<b>プレキャストカルバート工</b>								
プレキャストボックス	内幅: 内高:		m	1	ボックスカルバート設置費 PC鋼材費 定着金具費			
<b>排水構造物工</b>								
作業土工		(護岸基礎工-作業土工を適用)						
<b>側溝工</b>								
プレキャストU型側溝	側溝種類:	U300B	m	1	側溝設置費			
自由勾配側溝	種類: 内幅: 内高:	縦断用 330mm 600mm	m	1	側溝設置費 底部コンクリート費			
コルゲートアリュウム	形式: 寸法:	A形 700×700mm	m	1	コルゲートアリュウム設置費			
側溝基礎	材料規格:	0~80mm級切込砕石	m	1	基礎砕石・栗石費 基礎コンクリート費 基礎型枠費			
側溝蓋	設計荷重: 使用区分: 溝幅:	T-25 溝蓋(騒音防止用) 300用	枚	1	側溝蓋設置費			

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
管渠工								
PC管	管径: 管長:	φ600 4000mm	m	1	PC管設置費			
ヒューム管(B形管)	管径: 基礎形式: 管種別:	φ600 90° 固定基礎 外圧管2種	m	1	ヒューム管設置費			
暗渠排水管	管種別: 管径:	合成樹脂波状管 φ200	m	1	暗渠排水管設置費			
鉄筋コンクリート台付管	管径: 管長: 管種別: 基礎形式:	φ60 2500mm 1種管 砂利基礎(H=250mm)	m	1	鉄筋コンクリート台付管設置費			
巻きコンクリート	巻きコンクリート配合: セメント種別:	C-○ 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	巻きコンクリート 鉄筋 型枠			
均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C-△ 混合セメント(B種) 5cm	m <sup>2</sup>	1	コンクリート打設費・養生費 型枠費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物	ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m <sup>2</sup>	1	基礎材砕石費 基礎梁石費			
コルゲートハイツ	規格: 管径:	I型円形 φ600	m	1	コルゲートハイツ設置・撤去費			
鉄筋コンクリート管	管径: 管種:	φ600 1種管	m	1	鉄筋コンクリート管設置費			
集水樹								
現場打集水樹	集水樹種類: コンクリート配合: セメント種別:	吞吐口樹鉄筋コンクリート 管φ600用(1:1.5) C-○ 混合セメント(B種)	箇所	1	現場打集水樹・街渠樹(本体)費 (基礎材20cmまで含む) 鉄筋費			
プレキャスト集水樹	プレキャスト材種類: 作業区分: 製品質量:	650×650×650 据付 250kg	箇所	1	プレキャスト集水樹材料費・設置費 (基礎材含む)			
プレキャスト集水樹基礎	コンクリート配合: セメント種別:	C-○ 混合セメント(B種)	箇所	1	基礎コンクリート費 基礎型枠費			
蓋	蓋種類:	鋼製 T-25 I-A樹 下部樹用 細目	枚	1	蓋材料費			
場所打水路工								
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m <sup>2</sup>	1	基礎材砕石費 基礎梁石費			
均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C-△ 混合セメント(B種) 5cm	m <sup>2</sup>	1	コンクリート打設費・養生費 型枠費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物	ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-○ 混合セメント(B種)	m <sup>3</sup>	1	コンクリート打設費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設) クレーン規格(クレーン打設):		
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm <sup>3</sup> 以上級	m <sup>2</sup>	1	目地材設置費			
(型枠)	模様(化粧型枠):	石積模様	(m <sup>2</sup> )	1	型枠設置・撤去費 化粧型枠加算費	構造物種別:	無筋構造物	
処分費			m <sup>3</sup>	1	処分費			
(足場)	種類: 安全ネット:	手摺先行型枠組足場 有	(掛m <sup>2</sup> )	1	足場設置・撤去費			

堤防・護岸・胸壁

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>斜路工</b>								
作業土工	(護岸基礎工-作業土工を適用)							
捨石工	(護岸基礎工-基礎捨石工を適用)							
斜路工	(表法被覆工-コンクリート被覆工を適用)							
<b>側壁工</b>								必要に応じ水中コンクリートを追加する
(型枠)	—		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
(足場)	種類: 安全ネット:	手摺先行型枠組足場有	(掛m2)	1	足場設置・撤去費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設・養生費 (場所打ち擁壁工(2))			
<b>先端止壁工</b>								必要に応じ水中コンクリートを追加する
(型枠)	—		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設・養生費 (場所打ち擁壁工(2))			
<b>陸開工</b>								
<b>陸開工</b>								
陸開掘付工機械経費	—		式	1式	設置工機械経費			
陸開直接労務費	—		式	1式	設置工直接労務費			
現場塗装	種類: 色:	塩化ゴム系 朱	m2	1	塗装費			
角落し	材質: 寸法:		枚	1	角落し設置費			
戸当り	鋼材種別:		kg	1	戸当り設置費			
<b>打止工</b>								
<b>場所打ち擁壁工(構造物単位)</b>								
小型擁壁	形式: 本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	重力式擁壁 C-4 普通ポルトランドセメント 0.5m	m3	1	場所打ち擁壁工(1) コンクリート費(基礎材-均し型枠設置・ 撤去-均しコンクリート打設・養生-足 場設置・撤去-型枠設置・撤去- 目地材-水抜きパイプ-コンクリート打 設・養生-吸出防止材を含む) 化粧型枠加算費 鉄筋ガス圧接費	基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜きパイプの有無: 吸出防止材の有無: クレーン規格(小型擁壁(B)):		小型擁壁(B)の場合のみクレーン規格を明示する
重力式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m 石積模様	m3	1		基礎材の有無: 均しコンクリートの有無: 目地材の有無: 水抜きパイプの有無: 吸出防止材の有無: 足場種類: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
もたれ式擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	C-4P 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1				
逆T型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) H=4~5m	m3	1				
L型擁壁	本体コンクリート配合: セメント種別: 高さ: 模様(化粧型枠):	RC-2-1 混合セメント(B種) 3.0m	m3	1				
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
(化粧型枠)	模様:	石積模様	(m2)	1	型枠設置・撤去費 化粧型枠加算費	構造物種別:	無筋構造物	
ペーラインコンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート材料費			

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>打止工</b>								
基礎材	種類: 敷厚:	0~80mm級切込砕石 30cm	m2	1	基礎材砕石費 基礎梁石費			
均しコンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 敷厚:	C-△ 混合セメント(B種) 5cm	m2	1	コンクリート打設費・養生費 型枠費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長: (ポンプ車打設):	無筋構造物	ポンプ車打設の場合のみ圧送管超過延長を明示し、圧送管平均延長のうち30mを超える部分の延長とする
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-O 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費・養生費 (場所打ち擁壁工(2)) ペーラインコンクリート材料費			
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
(足場)	種類: 安全ネット:	手摺先行型枠組足場有	(掛m2)	1	足場設置・撤去費			
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m2	1	吸出し防止材設置費			
裏込砕石	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
水抜パイプ	管種類: 径: フィルター材:	VU管 φ50mm ハットフィルター	m	1	水抜きパイプ設置費 フィルター材設置費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
止水板	種類: 寸法:	C-F 230×9mm	m	1	止水板設置費			
(型枠)	—		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別:	無筋構造物	
処分費			m3	1	処分費			
スリップバー	規格: 径: 長さ:	SR235 φ19 600mmキャップ付き	本	1	スリップバー設置費			
<b>大型網かご工</b>								
大型網かご製作	網かご種別: 寸法: 詰石種類:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m 中割石	個	1	大型網かご製作費			
大型網かご据付	網かご種別: 寸法:	10t型 吊ワイヤ付 3×2×1m	個	1	大型網かご転置費 大型網かご横持ち費 大型網かご据付費(1スイング) 大型網かご運搬据付費(陸上連携/ 海上一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
吸出し防止材	規格:	880N/5cm以上 t=4.2mm以上 不織布	m2	1	吸出し防止材設置費			
<b>付属物設置工</b>								
<b>防止柵工</b>								
転落(横断)防止柵	種類: 形式: 欄高: 設置区分: 積雪ランク: 支柱間隔: 塗装区分:	横断防止柵 横ヒーム型 0.8m 土中建込 積雪ランク2 2.0m ツキ	m	1	転落防止柵設置・撤去費 部材設置・撤去費(ヒームパネル)			
基礎ブロック(立入防止柵)	寸法:		個	1	基礎ブロック設置費			
作業土工	(護岸基礎工-作業土工を適用)							
<b>銘板工</b>								
銘板	材質: 寸法:	ブロンズ製 1,500×600×20mm	枚	1	銘板材料費			
表示板	材質: 寸法:	ブロンズ製 300×120×20mm	枚	1	表示板材料費			
<b>階段工</b>								
現場打階段	コンクリート配合: セメント種別: シート種類:	C-O 混合セメント(B種) 不織布	m2	1	基礎材費 均しコンクリート コンクリート 型枠 吸出し防止材 遮水・止水シート 目地材			
プレキャスト階段	ブロック規格: シート種類:	幅1.0m 不織布	m2	1	ブロック設置費 裏込材 裏込・胴込コンクリート 目地材			
裏込材	種類:	0~80mm級切込砕石	m3	1	裏込材設置費			
胴込・裏込コンクリート	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-10 普通ポルトランドセメント 40cm	m3	1	胴込・裏込コンクリート打設費			
吸出し防止材(全面)設置	シート種類:		m2	1	吸出し防止材設置費			
遮水シート張	シート種類:		m2	1	遮水シート材設置費			

## 堤防・護岸・胸壁

## 工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>構造物撤去工</b>								
<b>防護柵撤去工</b>								
防護柵撤去(ガードレール)	種類: 規格:	Gp-4E(種、積雪ランク1、土中建設)	m	1	撤去費(防護柵・部材撤去費)			
防護柵撤去(ガードパイプ)	種類: 規格:	Gp-Bp-2E(B種、積雪ランク1、土中建設)	m	1	撤去費(防護柵・部材撤去費)			
防護柵撤去(横断・転落防止柵)撤去	種類: 形式: 柵高: 設置区分: 積雪ランク: 支柱間隔:	横断防止柵 横ヒーム型 0.8m 土中建設 積雪ランク2 2.0m	m	1	撤去費(防護柵・部材撤去費)			
ガードケール撤去	種類: 規格:	Gc-A-6E(A種、積雪ランク1、土中建設)	m	1	撤去費 (中間支柱/端末支柱/ケール張)			
<b>標識撤去工</b>								
標識撤去	形式: 規格: 基礎寸法:	単柱式 φ60.5 500×500×900mm	基	1	標識基礎撤去費 標識柱撤去費			
<b>道路付属物撤去工</b>								
視線誘導標撤去	形式: 寸法(地上高):	伸縮型 地上高270cm	本	1	視線誘導標撤去費			
境界杭撤去	境界杭規格:	120×120mm	本	1	境界杭撤去費			
遮光ファンズ撤去			m	1	遮光ファンズ (人力建設・パネルのみ)撤去費 遮光ファンズガードレール併用型撤去費			
<b>作業土工</b> (護岸基礎工・作業土工を適用)								
<b>構造物取壊工</b>								
コンクリート構造物取壊	構造物区分:	鉄筋構造物	m3	1	コンクリート取壊費 鉄筋切断費 破砕片除去・積込費	施工区分:	コンクリートブレイカ	
水中部コンクリート取壊	構造物区分:	無筋構造物	m3	1	水中部コンクリート取壊費	台船の有無:	有	
舗装版切断	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 舗装版厚15cm	m	1	舗装版切断費	平均切断深:	15cm	
舗装版破砕	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 舗装版厚10cm	m2	1	舗装版取壊費 積込費	平均舗装厚:	10cm	廃材の運搬・処理については、「般運搬」に含む
コンクリートはつり	平均はつり厚:	3cm以下	m2	1	はつり費 般積込費			
コンクリート表面処理			m2	1	コンクリート表面処理(ウォータージェット)			
吹付法面取壊	取壊厚:	10cm	m2	1	取壊・積込費(吹付法面取壊)			
コンクリート管類切断	管類規格:		m	1	コンクリート管類切断費			
鋼材切断	種類: 規格:	鋼矢板 Ⅲ型	m	1	ガス切断費(陸上/海上) 水中酸素アーク切断	板厚:	12mm未満	
鋼矢板引抜	鋼矢板形式: 引抜長:	Ⅱ型 5m	枚	1	鋼矢板・H形鋼杭引抜費 (パイフロハマ)	引抜長:	5m	
広幅鋼矢板引抜	広幅鋼矢板形式: 引抜長:	Ⅱw型 5m	枚	1	鋼矢板・H形鋼杭引抜費 (パイフロハマ)			
H鋼杭引抜	H鋼杭形式: 引抜長:	SS400 150×150×7×10mm 5m	本	1	鋼矢板・H形鋼杭引抜費 (パイフロハマ)			
コンクリートブロック撤去	ブロック規格:	300×300×50mm	m2	1	コンクリートブロック撤去費			
ブロック撤去	種類: 質量:	被覆ブロック 3t	個	1	ブロック撤去費(旋回内)(陸上/海上) ブロック撤去・仮置費 (海上一連/陸上連携方式)	施工: 運搬距離: 据付:	海上一連方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 撤去	
コンクリート取壊運搬処理	構造物区分: 運搬距離:	無筋構造物 3km	m3	1	構造物取壊費 運搬費 処分費			
石材撤去	種類:	中割石	m3	1	石材撤去費(カッター)			施工断面に許容範囲が定められている場合は、海上地盤改良工のグラブ床掘工あるいは硬土盤・岩盤床掘工を適用する
鋼矢板・H形鋼杭引抜撤去	規格:		枚 or 本	1				
係船柱撤去	規格:		基	1				
防舷材撤去	規格: 長さ:	150H 新型 L=2.0m	基	1	防舷材撤去費(陸上)			
車止撤去	規格: 長さ:	SS400 H=150(180)mm L=1.6m	本	1	車止撤去費(陸上)			
<b>プレキャスト擁壁撤去工</b>								
プレキャスト擁壁撤去		L型 壁高2.5m	m	1	撤去費			下位代価なし

堤防・護岸・胸壁

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>排水構造物撤去工</b>								
L型側溝撤去	L型側溝種類:		m	1	撤去費(L形側溝)			
ヒューム管撤去	規格: 管径:	B形管 φ600	m	1	撤去費(ヒューム管)			
ボックスカルバート撤去	函渠内幅: 内高: 長さ:	1,500mm 1,200mm 2,000mm	m	1	撤去費(ボックスカルバート)			
PC管撤去	管径:	φ600	m	1	撤去費(PC管)			
暗渠排水管撤去	管種別: 管径:	合成樹脂波状管 φ200	m	1	撤去費(暗渠排水管)			
管(函)渠型側溝撤去	形式: 寸法:	横断用 φ300	m	1	撤去費(管(函)渠型側溝)			
集水樹撤去	種類: 製品質量:	I-O下部樹 300kg	基	1	撤去費(プレキャスト集水樹)			
コルゲートパイプ撤去	規格: 管径:	I型円形 φ600	m	1	撤去費(コルゲートパイプ)			
コルゲートフリューム撤去	形式: 寸法:	A形 700×700mm	m	1	撤去費(コルゲートフリューム)			
マンホール撤去	マンホール規格:	1号マンホール	基	1	撤去費(プレキャストマンホール)			
鉄筋コンクリート台付管撤去	管径:	φ600	m	1	鉄筋コンクリート台付管設置費			
U型側溝撤去	種類:	U300B	m	1	撤去費(U型側溝)			
蓋版撤去	蓋種類:	人道用U240用	枚	1	撤去費(蓋版)			
鉄筋コンクリート管撤去	管径: 管種別:	φ600 1種管	m	1	鉄筋コンクリート管撤去費			
<b>かご撤去工</b>								
じゃかご撤去	じゃかご径:	φ45cm	m	1	撤去費(じゃかご)			
ふとんかご撤去	高さ: 幅:	50cm 120cm	m	1	撤去費(ふとんかご)			
<b>落石雪害防止撤去工</b>								
落石防護柵撤去	柵高:	柵高2.5m	m	1	落石・耐雪落石防護柵撤去費 (支柱、ロープ・金網)			
落石防止網(繊維網)撤去			m2	1	落石防止網撤去費(繊維網)			
<b>道路付属施設撤去工</b>								
道路鉄撤去	道路鉄規格:	大型鉄/両面反射 穿孔式/アルミ製 設置幅30cm	個	1	撤去費(道路鉄)			
車線分離標撤去	車線分離標規格:	穿孔式・1本脚	本	1	車線分離標撤去費			
境界鉄撤去	境界鉄規格:	40×100×2	枚	1	撤去費(境界鉄)			
横断歩道橋側板 (裾隠・目隠)撤去			m2	1	撤去費(裾隠・目隠)			
<b>ブロック舗装撤去工</b>								
インターロッキングブロック撤去	ブロック規格:	厚さ6cm	m2	1	撤去費(インターロッキングブロック)			
コンクリート平板ブロック撤去	ブロック規格:	30cm×30cm	m2	1	撤去費(特殊ブロック舗装)			
ノスリフ撤去			m	1	撤去費(ノスリフ)			
<b>緑石撤去工</b>								
歩車道境界ブロック撤去	ブロック規格:	車道用緑石 I型	m	1	撤去費(歩車道境界ブロック)			
地先境界ブロック撤去	ブロック規格:	舗装止緑石	m	1	撤去費(地先境界ブロック)			
<b>冬期安全施設撤去工</b>								
防雪柵撤去	防雪柵種類: 柵高:	固定式 柵高3.5m	m	1	吹溜式防雪柵撤去費 (仮設式/固定式)			
スノーボール撤去	スノーボール種類:	挿入単柱型	本	1	スノーボール撤去費(土中/挿入型)			
<b>骨材再生工</b>								
骨材再生			m3	1	骨材再生費 自走式破砕機設置・撤去費 積込費(ルース) 土砂等運搬費/押土費(ルース)			
<b>運搬処理工</b>								
殻運搬	殻種別: 運搬距離:	アスファルト殻 4.7km	m3	1	殻運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
殻処分	殻種別:	アスファルト殻	m3	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
現場発生品運搬	発生材種類: 運搬距離:	防護柵 2.0km	回	1	積込 取卸し 運搬費	搬出先: 運搬距離:	〇〇置場 4.7km	
<b>仮設工</b>								
(全工種共通:仮設工を適用)								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 工事内容により、他の工種種別(レベル2, 3)が必要となる場合は適宜追加すること。             </div>								

突堤

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
海岸土工	(堤防・護岸・胸壁・海岸土工を適用)							
軽量盛土工	(堤防・護岸・胸壁・軽量盛土工を適用)							
<b>基礎工</b>								
作業土工	(堤防・護岸・胸壁・護岸基礎工-作業土工を適用)							
洗掘防止工	(堤防・護岸・胸壁・護岸基礎工-洗掘防止工を適用)							
<b>捨石工</b>								
中詰石	石材種類:	中詰石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフレレン クレーン/クラムシェル投入)			流用材を海上投入及び陸上投入する場合は、別途積上げる
基礎捨石	石材種類:	中詰石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフレレン クレーン/クラムシェル投入)			
捨石本均し	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石荒均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
捨石本均し(海岸)	均し精度:	±5cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
捨石荒均し(海岸)	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)(海岸)			
表面均し			m2	1	表面均し費			
<b>本土工</b>								
捨石工	(突堤・基礎工-捨石工を適用)							
被覆石工	(堤防・護岸・胸壁・護岸基礎工-被覆石工を適用)							
被覆ブロック工	(堤防・護岸・胸壁・護岸基礎工-海岸コンクリートブロック工を適用)							
海岸コンクリートブロック工	(堤防・護岸・胸壁・護岸基礎工-海岸コンクリートブロック工を適用)							
<b>既製杭工</b>								
鋼管杭	規格: 径: 長さ:	SKK490(t=9mm) φ400mm 10m	本	1	鋼杭 (材料費/荷卸し費/運搬費) (陸上/海上) 鋼杭打設費(ディーゼルハンマ/油圧ハンマ/ /ハイブローハンマ) (陸上/海上) 杭打船ハンマ付替 杭打船拘束費 H形鋼打設(ハイブローハンマ)(陸上) 鋼杭打設費(ジェット併用ハイブローハンマ) (陸上/海上) 導材(設置撤去/賃料等) 鋼杭切断	運搬距離: 打込長:	陸上運搬2.0km 8m	
<b>詰杭工</b>								
既製コンクリート杭	規格: 径: 長さ:	PHC杭 (A種7m・B種7m) φ400mm 14m	本	1	既製コンクリート杭打込費 カットオフ費 杭頭処理費 中詰コンクリート打設費	工法区分: 打込(掘削)長区分: ヤッコ使用の有無: 杭吊込用機種計上区分:	中掘(クラフト式) 16m~32m	中掘の場合はヤッコ使用の有無と杭吊込用機種計上区分については明示しない。
般運搬	般種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 2.0km	m3	1	般運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
般処分	般種別:	コンクリート(鉄筋)	m3	1	処分費			
コンクリートパネル	質量: 寸法:	質量〇t 1.0×1.0m	枚	1	横取費 積込費 運搬費 荷卸し費 仮置費 設置費 特許料	施工区分(運搬距離):	積込~運搬(5.0km)~据付	
海岸コンクリートブロック製作	コンクリート配合: コンクリート種別: 公称質量:	C-〇 混合セメント(B種) 2t	個	1	ブロック製作費 鉄筋 ブロック給熱養生費 特許料			
海岸コンクリートブロック据付	公称質量:	2t	個	1	消波ブロック設置(海岸) ブロック転置費(陸上/海上) ブロック持ち上り費 ブロック据付費(スイング) ブロック運搬据付費(陸上運搬/海上 一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
中詰石	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフレレン クレーン/クラムシェル投入)			流用材を海上投入及び陸上投入する場合は、別途積上げる
表面均し			m2	1	表面均し費			

突堤

工事工種体系化構成表(漁港海岸)

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>矢板工</b>								
鋼矢板	鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IV型 10m	枚	1	導材賃料等・設置撤去費 鋼矢板・鋼管矢板 (材料費/荷卸費/運搬費) 鋼管矢板打設費 (アイセルハンマ/油圧ハンマ) (陸上/海上)	工法区分: 打込長区分:	ウォータージェット併用 油圧式パイプロハンマ 打込長9~12m	バックホウ装着式パイプ ロハンマの場合、打込 長区分については明 示しない。
広幅鋼矢板	広幅鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IVw型 10m	枚	1	杭打船ハンマ付替 鋼矢板打設費(パイプロハンマ) (陸上/海上) 杭打船拘束費 鋼矢板・鋼管矢板切断費 鋼矢板打設(U型矢板/組合せ矢板) (油圧ハンマ/アイセルハンマ)			
鋼矢板防食	陽極規格:		個 or m2	1	①電気防食【取付金具製作費/取 付費/陽極取付費】 ②ペトロラム被覆【足場設置撤去費 (各種)/下地処理費(各種)/被覆防 食費(各種)/端部処理費(各種)】 【各種:鋼管杭/鋼矢板/鋼管矢板】			
腹起	溝形鋼規格:	SS400 [125×65×6×8mm]	m	1	腹起材料費 腹起材設置費(陸上/海上)			
タイ材	タイロッド材質: 径:	高張力690 φ25mm	組	1	受枠打設費 胴木設置費 タイロッド設置費 タイワイヤ設置費(陸上/海上)			
控え版	コンクリート配合: セメント種別: 底幅: 高さ:	C-〇 混合セメント(B種) 50cm 150cm	m	1	基礎材費 コンクリート 型枠 鉄筋 目地材			
中詰砂	砂規格:		m3	1	土材料 土砂等運搬 埋戻 路体(築堤)盛土			
<b>石積工</b>								
コンクリート枠製作	コンクリート配合: セメント種別: 寸法:	C-〇 混合セメント(B種) 1.0m×1.0m	個	1	コンクリート 型枠 鉄筋			
コンクリート枠据付	寸法:	1.0m×1.0m	個	1	ブロック転置費(陸上/海上) ブロック構持ち費 ブロック据付費(スイング) ブロック運搬据付費(陸上運搬/海上 一連/陸海一貫方式)	施工: 運搬距離: 据付:	陸海一貫方式 陸上運搬2.0km 海上運搬3.5km 据付	
消波根固ブロック運搬	公称質量:	2t	個	1	消波根固ブロック運搬費	運搬距離:	陸上運搬2.0km	
中詰石	石材種類:	中割石	m3	1	石材投入費(海上現場投入渡し) 陸上投入費(直接/バックホウ/ラフレ ンクレーン/クレーン投入)			流用材を海上投入及 び陸上投入する場合 は、別途積上げる
捨石均し	均し精度:	±30cm	m2	1	捨石均し費(水中/陸上)			
<b>場所打コンクリート工</b>								
コンクリート	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	m3	1	コンクリート打設費	構造物種別: 日打設量区分: 圧送管超過延長:		ポンプ車打設の場合 のみ圧送管超過延 長を明示し、圧送管 平均延長のうち30m を超える部分の延長 とする
鉄筋	鉄筋材料規格: 径:	SD345 D16	t	0.01	鉄筋加工・組立費 ガス圧接費もしくは機械継手費			
目地材	種類: 規格:	樹脂発泡体 厚さ10mm 0.06g/cm3以上級	m2	1	目地材設置費			
(型枠)	—		(m2)	1	型枠設置撤去費	構造物種別	無筋構造物	
処分費			m3	1	処分費			
水中コンクリート工	(堤防・護岸・胸壁・護岸基礎工-水中コンクリート工を適用)							
ケーソン工	(防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(ケーソン式)を適用)							
セルラー工	(防波堤・防砂堤・導流堤:本体工(ケーソン式)を適用)							
<b>根固工</b>								
(堤防・護岸・胸壁:根固工を適用)								
<b>消波工</b>								
(堤防・護岸・胸壁:消波工を適用)								
<b>構造物撤去工</b>								
(堤防・護岸・胸壁:構造物撤去工-構造物取壊工を適用)								
<b>仮設工</b>								
(全工種共通:仮設工を適用)								
<b>工事内容により、他の工種種別(レベル2, 3)が必要となる場合は適宜追加すること。</b>								





### 3.全工事共通

工事区分(レバ1)	種 別 (レバ3)	目 次
(仮設工)		
仮設工	仮設鋼矢板工	仮設工 - 1
	仮設鋼管杭・鋼管矢板工	
	仮設道路工	
	工事用道路工	仮設工 - 2
	仮橋・仮棧橋工	
	路面覆工	仮設工 - 3
	重機用足場工	
	土留・仮締切工	
	水替工	仮設工 - 4
	地下水位低下工	
	仮水路工	仮設工 - 5
	残土受入れ施設工	
	作業ヤード整備工	
	電力設備工	
	コンクリート製造設備工	
	トナリ仮設備工	仮設工 - 6
	防塵対策工	
	波除工	
	防護施設工	
	除雪工	仮設工 - 7
	雪寒施設工	
	結氷対策工	
	法面吹付工	
	仮区画線工	
	仮設階段工	
	安全対策	

工事区分(レバ1)	種 別 (レバ3)	目 次
(共通仮設)		
共通仮設費 (積上分)	回航・えい航費	共通仮設 - 1
	運搬費	
準備費		
	事業損失防止施設費	共通仮設 - 2
	安全費	
	役務費	
	技術管理費	
	水雷・傷害等保険料	
	営繕費	
	現場環境改善費	



全工事共通(仮設工)

工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数量	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>仮設工</b>								
<b>仮設鋼矢板工</b>								
(仮設鋼矢板・H型鋼杭)	鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IV型 10m	(枚) 又は (本)	1	導材質料等・設置撤去費 鋼矢板・鋼管矢板 (材料費/荷卸費/運搬費) 鋼管矢板打設費/撤去費 (ディーゼルハンマ/油圧ハンマ) (陸上/海上) 杭打船ハンマ付替 鋼矢板打設費/撤去費(パイプロンマ) (陸上/海上) 杭打船拘束費 鋼矢板・鋼管矢板切断費 鋼矢板打設/撤去費 (U型矢板/組合せ矢板) (油圧ハンマ/ディーゼルハンマ)	工法区分: 打込長区分:	ウオータージェット併用 油圧式パイプロンマ 9~12m	バックホウ装着式パイ ロンの場合、打込 長区分については明 示しない
<b>仮設鋼管杭・鋼管矢板工</b>								
(先行掘削)			(本)	1	先行掘削費			
(仮設鋼管杭・鋼管矢板)	規格: 形式: 長さ:	SS400 H250×250×9×14mm 長さ8.6m	(枚) 又は (本)	1	鋼管・鋼管矢板(材料費/荷卸費/運 搬費(陸上/海上)/打設費) (ディーゼルハンマ/油圧ハンマ/パイロン マ) (陸上/海上) 杭打船ハンマ付替 杭打船拘束費 H形鋼打設(パイロンマ)(陸上) 鋼管打設費 (ジェット併用パイロンマ) (陸上/海上) 導材質料等 導材設置撤去	荷卸し機種: 運搬距離: 工法: 打込長区分:	トラッククレーン16t吊 0.3km ウオータージェット併用 油圧式パイロンマ 8~10m	
<b>仮設道路工</b>								
(仮設道路)	幅員:		(m2)	1	仮設道路設置費			
<b>工事用道路工</b>								
(工事用道路盛土)	運搬距離:	10.5km	(m3)	1	積込(ルース)費 土砂等運搬費 土材料費 敷均・締固費 埋戻費 法面整形費	搬入元: 運搬距離:	△△土取場 10.5km	
(工事用道路掘削)	土質: 運搬距離:	土砂 10.5km	(m3)	1	掘削 積込(ルース) 土砂等運搬 整地 残土等処分 法面整形	搬入先: 運搬距離:	△△土取場 10.5km	
(安定処理)	固化材種類: 100m2当り使用量: 混合深さ:		(m2)	1	固化材散布 混合 敷均・締固費			
(敷砂利)	路盤材種類: 厚さ: 運搬距離:	0~40mm級切込砕石 10cm 2.0km	(m2)	1	敷均費 敷砂利撤去費			
(敷鉄板)	敷鉄板規格:	厚さ22mm 幅1524mm 長さ6096mm	(m2)	1	敷鉄板設置・撤去費 敷鉄板資料等			
(仮設舗装)	路盤材料: 路盤厚: 舗装材料: 再生合材混入率: 舗装厚:	0~80mm級切込砂利 厚さ30cm 粗粒度アスファルト混合物 (車道用) 再生合材混入率20% 舗装厚5cm	(m2)	1	不陸整正 路盤工(車道・路肩部・歩道部) アスファルト合材敷均・締固			
(仮設アスカーブ)			(m)	1	アスカーブ施工費			
(舗装版切断)	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 15cm	(m)	1	舗装版切断費			
(舗装版破砕)	舗装版種別: 舗装版厚:	アスファルト 15cm	(m2)	1	舗装版破砕費			
(工事用道路補修)	補足材:	0~40mm級切込砕石	(式)	1式	不陸整正費 路面補修費			
(土のう)	作業区分: 運搬距離:	仕捨・積立・撤去 2.0km	(袋)	1	土のう・大型土のう設置/撤去費			
(土のう積)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土のう積立・撤去費			
(般運搬)	般種別: 運搬距離:	アスファルト般 4.7km	(m3)	1	般運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(般処分)	般種別:	アスファルト般	(m3)	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	

## 全工事共通(仮設工)

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
仮橋・仮栈橋工								
(床掘(掘削))	土質:	土砂	(m3)	1	掘削費			
(床掘)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費			
(埋戻)	土質:	土砂	(m3)	1	埋戻費			
(基面修正)			(m2)	1	基面修正費			
(掘削補助機械搬入搬出)			(回)	1	機械搬入搬出費			
(転石破砕)			(m3)	1	転石破砕費			
(積込(ルース))	土質:	土砂	(m3)	1	積込(ルース)費			
(人力積込)	土質:	土砂	(m3)	1	床掘費 ベルトコンベア併用人力掘削費			
(人力運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 60m以下	(m3)	1	人肩運搬費 小車運搬費			
(押土(ルース))	土質:	土砂	(m3)	1	押土(ルース)費			
(整地)	土質:	土砂	(m3)	1	整地費			
(土砂等運搬)	土質: 運搬距離:	土砂 4.7km	(m3)	1	運搬費	搬出(流用)先: 運搬距離:	〇〇処分場 4.7km	仮置場についても搬出先と同様に積算条件を明示する
(残土等処分)			(m3)	1	処分場及び受入地での処分費			
(土材料)	土質: 運搬距離:	土砂 32.9km	(m3)	1	土材料費	搬入元: 運搬距離:	□□土取場 32.9km	
(仮橋コンクリート基礎)	幅・長さ・高さ: コンクリート配合: セメント種別:	5.0m×1.0m×1.0m C-4 混合セメント(B種)	(箇所)	1	基礎材 採取小割費 コンクリート 型枠 鉄筋			
(橋脚)			(t)	0.1	杭橋脚打込/引抜費 導枠設置/撤去費 橋脚設置/撤去費 杭橋脚設置撤去費 H形鋼杭貫料等 鋼矢板・H形鋼(埋設/撤去予定全面埋設/一部埋設予定/撤去予定一部埋設)費 材料費			
(仮橋上部)			(t)	0.1	上部工架設/撤去費 H形鋼杭貫料等 材料費			
(覆工板設置・撤去 [電線共同溝])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費・貫料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板設置・撤去 [仮栈橋設置撤去工])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費・貫料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板設置・撤去 [仮橋・仮栈橋])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費・貫料等) 覆工板開閉作業費			
(仮設高欄)			(m)	1	高欄設置/撤去費			
(コンクリート構造物取壊)	構造物区分:	無筋構造物	(m3)	1	取壊費			
(積込(コンクリート殻))			(m3)	1	積込(コンクリート殻)費			
(殻運搬)	殻種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	(m3)	1	殻運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(殻処分)	殻種別:	コンクリート(鉄筋)	(m3)	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(鋼管杭)	規格: 径: 長さ:	SKK490(t=9mm) φ400mm 長さ10m	(本)	1	鋼管・既製コンクリート杭打費 鋼管ソイルセメント杭打費 杭頭処理溶接費 ガス切断(鋼管杭)費 鉄筋材料・加工・組立費 コンクリート打設費 導枠貫料等 H形鋼杭貫料等 パイプロハマ及びウォータージェット併用施工による打込・引抜費			
(現場取卸(鋼管杭))			(t)	0.1	現場取卸費			
(防眩材)	材料規格:	ゴム式	(基)	1	防眩材設置費			
路面覆工								
(覆工板受桁)	鋼材規格:	I型鋼	(t)	0.1	覆工板受桁設置/撤去費 覆工板貫料等			
(覆工板設置・撤去 [電線共同溝])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費・貫料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板設置・撤去 [仮栈橋設置撤去工])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費・貫料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板設置・撤去 [仮橋・仮栈橋])	覆工板規格:	鋼製・滑り止め加工	(m2)	1	覆工板(設置/撤去費・貫料等) 覆工板開閉作業費			
(覆工板・覆工板受桁)	覆工板規格: 受桁鋼材規格:	鋼製・滑り止め加工 I型鋼	(m2)	1	覆工板受桁設置/撤去費 覆工板貫料等			

## 全工事共通(仮設工)

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>重機用足場工</b>								
(重機用仮設運搬路製作)	形式: 詰石種類:	3段A型-1.0W 中割石	(m)	1	重機用仮設運搬路製作費			
(重機用仮設運搬路設置)	形式:	3段A型-1.0W	(m)	1	重機用仮設運搬路設置費			
(重機用仮設運搬路移設)	形式:	3段A型-1.0W	(m)	1	重機用仮設運搬路移設費			
(重機用仮設運搬路撤去)	形式:	3段A型-1.0W	(m)	1	重機用仮設運搬路撤去費			
(間詰石)	石材種類:	雑割石	(m3)	1	間詰費			
(吸出し防止シート)	種類:	織布 引張強度 1.260N/3cm以上	(m2)	1	吸出し防止材			
(不陸整正材)	材料種類:	0~80mm級切込砕石	(m2)	1	不陸整正材敷均/撤去費			
(敷鉄板)	敷鉄板規格:	厚さ22mm 幅1524mm 長さ6096mm	(m2)	1	敷鉄板設置・撤去費 敷鉄板賃料等			
(コンクリート)	コンクリート配合: セメント種別:	C-〇 混合セメント(B種)	(m3)	1	コンクリート打設・養生費			
(型枠)	—		(m2)	1	型枠設置・撤去費			
(コンクリート構造物取壊)	構造物区分:	無筋構造物	(m3)	1	コンクリート取壊費 破砕片除去/積込費			
(般運搬)	般種別: 運搬距離:	コンクリート(鉄筋) 4.7km	(m3)	1	般運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(般処分)	般種別:	コンクリート(鉄筋)	(m3)	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
<b>土留・仮締切工</b>								
(溝掘)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	床掘費 運搬費 人力積込費 構造物取壊費			
(鋼矢板)	鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IV型 10m	(枚)	1	鋼矢板(材料費・賃料等) パイロハンマ及びウーティレット併用施工による鋼矢板打込み/引抜費 鋼矢板圧入費 継鋼矢板圧入費 油圧式杭圧入引抜機据付/解体費 クレーンによる鋼矢板引抜費 鋼矢板(埋設・撤去予定全面埋設・一部埋設予定・撤去予定一部埋設)費			
(広幅鋼矢板)	広幅鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SYW295 IVw型 長さ10m	(枚)	1	鋼矢板材料費 パイロハンマ及びウーティレット併用施工による鋼矢板打込み費 鋼矢板圧入費 継鋼矢板圧入費 油圧式杭圧入引抜機据付/解体費 水中ポンプ運転費			
(軽量鋼矢板)	軽量鋼矢板規格: 型式: 長さ:	SS400 II型 長さ6m	(枚)	1	軽量鋼矢板材料費 軽量鋼矢板打込/引抜費 軽量鋼矢板(埋設・撤去予定全面埋設・一部埋設予定・撤去予定一部埋設)費 ガス切断費			
(軽量鋼矢板 (電線共同溝))	軽量鋼矢板規格: 型式:	SS400 II型	(式)	1式	形容鋼矢板設置・撤去費			
(H鋼杭)	H鋼型式: H鋼長さ(杭長):	SS400 150×150×7×10mm 5m	(本)	1	H形鋼賃料等 パイロハンマ及びウーティレット併用施工による鋼矢板打込み・引抜費 H形鋼打込(フレッキング)費 クレーンによるH形鋼引抜費 H形鋼(埋設・撤去予定全面埋設・一部埋設予定・撤去予定一部埋設)費 ガス切断費			
(削孔(アンカー))	削孔径:	削孔径φ90mm	(m)	1	削孔費			
(アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー))	防食方式: 鋼材種別: 設計荷重:	二重防食 PC鋼線より線 400kN	(本)	1	アンカー鋼材加工・組立 挿入・緊張・定着 頭部処理費			
(グラウト注入)			(m3)	1	グラウト注入費			
(ボリングマシン移設)			(回)	1	ボリングマシン移設費			
(アンカー工材料費(アンカー))			(式)	1式	アンカー材料費			
(足場(アンカー))			(空m3)	1	足場設置・撤去費			
(タイロッド・腹起)	タイロッド径:	φ25	(t)	0.1	タイロッド設置・撤去費 山留材賃料等 タイロッド材料費			
(切梁・腹起)			(t)	0.1	切梁/腹起設置・撤去費 山留材賃料等			
(横矢板)	横矢板材質: 横矢板厚:	木矢板 3cm	(m2)	1	横矢板設置・撤去費			
(盛替梁)	梁規格:	H-300×300×10×15	(箇所)	1	切梁/腹起設置・撤去費 山留材賃料等			

## 全工事共通(仮設工)

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
(じゃかご)	かご径: 運搬距離:	径45cm 2.0km	(m)	1	じゃかご設置費 (床捲え/埋戻を含む) 吸出し防止材料費/撤去費			
(ふとんかご)	高さ: 幅: 運搬距離:	50cm 120cm 2.0km	(m)	1	ふとんかご設置費 (床捲え/埋戻を含む) 吸出し防止材料費/撤去費			
(土のう)	作業区分: 運搬距離:	仕捨・積立・撤去 2.0km	(袋)	1	土のう・大型土のう設置/撤去費			
(土のう積)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土のう積立・撤去費			
(締切盛土)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	掘削費 積込(ルース)費 運搬費 土材料費 敷均・締固費 埋戻費 法面整形費			
(締切盛土撤去)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	押土(ルース)費 積込(ルース)費 運搬費 整地費			
(泥土処理)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	積込(ルース)費 運搬費	運搬距離:	4.7km	
(中詰盛土)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	積込(ルース)費 運搬費 土材料費 敷均・締固費・埋戻費			
(中詰盛土撤去)	運搬距離:	2.0km	(m3)	1	床掘費 掘削補助機械搬入搬出作業費 運搬費 整地費 残土等処分費			
(般運搬)	般種別: 運搬距離:	廃プラスチック類 4.7km	(m3)	1	般運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(般処分)	般種別:	廃プラスチック類	(m3)	1	処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
水替工								
(ポンプ排水)	排水量: 排水区分:	40~120m3/h 作業時排水	(日)	1	ポンプ運転費			
(ポンプ設置・撤去)			(箇所)	1	ポンプ運転費	ポンプ据付・撤去:		
(水替とい)	寸法:	幅45cm・高さ30cm	(m)	1	とい排水製作費 とい排水設置・撤去費			
地下水位低下工								
(ウエルポイント)	打込深度・本数: ポンプ台数:	深度2.5m25本 深度1.7m25本 1台	(日)	1	ウエルポイント設備設置・撤去費 運転管理費 ウエルポイント工賃料等 ジェット装置賃料等			
(ドレープウエル)	径: 本数: 深さ:	φ400 2本 10m	(日)	1	ドレープウエル設置・撤去費			
仮水路工								
(ヒューム管)	管種類: 管種別: 管径: 基礎形式:	B形管 外圧管2種 φ200mm 90°固定基礎	(m)	1	ヒューム管据付・撤去費			
(コルゲートパイプ)	規格: 管径:	I型円形 φ600mm	(m)	1	コルゲートパイプ据付・撤去費			
(暗渠排水管)	管種類: 管径:	直管 φ200	(m)	1	暗渠排水管設置費			
(フィルター材)	材料規格:	0~80mm級切込砂利	(m3)	1	フィルター材設置費			
(素掘側溝)	運搬距離:	2.0km	(m)	1	積込(ルース)費 運搬費 整地費 敷均・締固費			
(土のう)	作業区分: 運搬距離:	仕捨・積立・撤去 2.0km	(袋)	1	土のう・大型土のう設置/撤去費			
(土のう積)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土のう積立・撤去費			

## 全工事共通(仮設工)

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
残土受入れ施設工								
(土のう)	作業区分: 運搬距離:	仕拵・積立・撤去 2.0km	(袋)	1	土のう・大型土のう設置/撤去費			
(土のう積)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土のう積立・撤去費			
作業ヤード整備工								
(ヤード造成)	運搬距離:	2.0km	(m2)	1	土材料費 運搬費 押土(ルース)費 敷均・締固費			
(敷砂利)	路盤材種類: 厚さ: 運搬距離:	0~40mm級切込砕石 10cm 2.0km	(m2)	1	敷均費 敷砂利撤去費			
電力設備工								
(受電設備)			(箇所)	1	低圧受電設備設置/撤去費 高圧受電設備設置/撤去費			
(配電設備)			(m)	1	低圧受電設備設置/撤去費 高圧受電設備設置/撤去費			
(電動機設備)			(式)	1式	低圧電動機設備設置/撤去費 高圧電動機設備設置/撤去費			
(照明設備)			(式)	1式	照明設備設置/撤去費			
コンクリート製造設備工								
(コンクリートプラ設備(砂防))	プラ規格: 設備名:	パッチ型定置式25m3/h セメントサイロ	(基)	1	コンクリートプラ基礎・設置・撤去費 軌条設備設置・撤去費 機械設備設置・撤去費 材料費 コンクリートミキサ配合費 構造物取壊費 搬運搬費 処分費 コンクリートプラ補修費 セメントサイロ設置・撤去費 基礎砕石設置費 コンクリート打設費 型枠設置・撤去費 骨材貯蔵ビン木製 基礎・設置・撤去・補修費 給水設備(水槽)設置・撤去費 給水設備(導水管) 地上/架空設置・撤去費			
(コンクリートプラ設備(一般))	プラ規格: 設備名:	パッチ型定置式25m3/h コンクリートプラ	(基)	1	積込(ルース)費 基面整正費 埋戻費 整地費 構造物取壊費 搬運搬費 処分費 コンクリート打設費型枠設置/撤去費			
(ケーブルクレーン設備(砂防))	ケーブルクレーン規格: ウインチ規格:	2t未満 商用電源	(基)	1	ケーブルクレーン設備基礎 据付け/解体費 ワイヤロープ損耗費 コンクリート材料費 積込(ルース)費 埋戻費 整地費 構造物取壊費 搬運搬費 処分費 支柱設備設置・撤去費 ウインチ小屋設置・撤去費			
(ケーブルクレーン設備(一般))	ケーブルクレーン規格: ウインチ規格:	2t未満 商用電源	(基)	1	ケーブルクレーン設備基礎 据付け/解体費 ワイヤロープ損耗費 コンクリート材料費 積込(ルース)費 埋戻費 整地費 構造物取壊費 搬運搬費 処分費			

## 全工事共通(仮設工)

## 工事工種体系化構成表

工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
トンネル仮設備工								
(トンネル仮設備保守)			(月)	1	仮設備保守費			
(トンネル照明設備)			(式)	1式	照明設置・撤去費			
(トンネル用水設備)			(箇所)	1	給水設備設置・撤去費 運転費			
(トンネル排水設備)			(式)	1式	ポンプ振付・撤去費 ポンプ運転費/排水設備運転費			
(トンネル換気設備)			(式)	1式	送風機設備設置・撤去費 運転費			
(トンネル送気設備)			(式)	1式	空気圧縮機設備組立・解体費 運転費 坑外送気管敷設・撤去費 坑内送気管損料			
(トンネル工用連絡設備)			(式)	1式	トンネル工用連絡設備 設置・撤去費			
(トンネル軌条設備)			(式)	1式	軌条設備設置・撤去費 軌条設備損料(レール方式)			
(トンネル充電設備)			(日)	1	トンネル充電設備設置・撤去費			
(吹付プラント設備 組立解体)			(基)	1	吹付プラント設備組立・解体費			
(スライドセトル組立解体)			(基)	1	スライドセトル組立・解体費 非常駐車帯スライドセトル 組立・解体費			
(防水作業台車組立解体)			(基)	1	防水作業台車組立解体費			
(ターンテーブル設備)			(式)	1式	ターンテーブル設備設置・撤去費			
(トンネル用濁水処理設備)			(式)	1式	濁水処理設備設置・撤去費 運転費 保守点検費 泥土運搬費 整地費 泥土処分費			
(防音設備)			(式)	1式	防音扉設置・撤去費			
防塵対策工								
(仮設舗装)	路盤種類: 路盤仕上り厚: 舗装種類: 舗装規格: 舗装厚:	0~80mm級切込砂利 30cm 粗粒度アスファルト混合物 (車道用) 20% 5cm	(m <sup>2</sup> )	1	不陸整正 路盤工(車道・路肩部・歩道部) アスファルト合材数均・締固			
(タイヤ洗浄装置)	—		(式)	1式	タイヤ洗浄装置設置・撤去費			
(路面清掃)	—		(式)	1式	路面清掃(機械清掃/人力)費 歩道掃き出し費			
(散水)	—		(式)	1式	防塵処理(散水作業)費			
波除工								
(異形ブロック)	コンクリート配合: セメント種別: 公称質量:	C-〇 混合セメント(B種) 6t	(個)	1	コンクリートブロック仮置費・撤去費	作業区分:	仮置~撤去	
防護施設工								
(切土及び発破防護柵)			(m <sup>2</sup> )	1	切土及び発破防護柵 設置・撤去費 鋼矢板・H形鋼埋設費 鋼矢板・H形鋼貫料等 土留材・金網・シート材料費 土留用仮設防護柵設置費			
(仮囲い)			(m)	1	仮囲い設置・撤去費			
(仮設落石防護柵)	柵高:	4.0m	(m)	1	防護柵設置・撤去費 防護柵貫料等等			
(急傾斜防止工事用 防護柵)	防護柵形式:	A型 H=4mL=6m	(組)	1	急傾斜防止工事用防護柵 設置・撤去費			





工種・種別・細別(レベル2, 3, 4)	規格(レベル5)	規格記入例	単位	数値	単価構成内容	明示すべき積算条件	記載例	備考
<b>共通仮設費(積上分)</b>								
<b>回航・えい航費</b>								
(回航)	船種・規格:	クレーン付台船50t吊	(回)	1	作業船等艙装費/運転費/検査費 回航保険料 放費	基地港(距離):	△△港(30海里)	
(えい航)	船種・規格:	クレーン付台船50t吊	(回)	1	作業船等運転費	基地港(距離):	△△港(13海里)	
<b>運搬費</b>								
(建設機械運搬費)	機種・規格: 運搬距離:	バックホり平積1.0m3 2.0km	(台)	1	建設機械運搬費			
(建設機械器具等運搬)	機種・規格:	バックホり平積1.0m3	(回)	1	重建設機械分解・組立費			
(重建設機械分解組立 輸送費)	機種・規格:	バックホり平積1.0m3	(回)	1	重建設機械分解・組立費 残存本体及び分解部品の運搬費			
(仮設材等運搬)	運搬距離:	2.0km	(t)	0.1	仮設材運搬費 仮設材積込・取卸し費	輸送起点(運搬距離): 製品長:	〇〇市(25km) 12m以内	
(交通船)			(日)	1	交通船運転費			
<b>準備費</b>								
木根等処分費	種類:	立木	式	1式	木根等運搬費 処分費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(立木切倒し・枝払い 切揃え・立木集積)			(本)	1	立木切倒し・枝払い切揃え費 立木集積費			
(立木積込み)			(t)	0.1	立木積込み費			
(立木・伐開物・ 抜根物運搬費)	種類: 運搬距離:	立木 2.0km	(t)	0.1	立木・伐開物・抜根物等の運搬費	処分場所(運搬距離):	〇〇建設管理部管内(4.7km)	
(立木・伐開物・ 抜根物処分費)	種類:	立木	(m3)	1	立木・伐開物・抜根物等の処分費	処分場所:	〇〇建設管理部管内	
(立木・伐開物・ 抜根物処分費)	種類:	立木	(t)	0.1	立木・伐開物・抜根物等の処分費	処分場所:	〇〇建設管理部管内	
(着工時除雪費(機械))	—		(m2)	1	着工時除雪費 運搬費			
(着工時除雪費(人力))	—		(m3)	1	着工時除雪費 運搬費			
(着工時工事用 道路除雪費)	—		(km)	1	着工時除雪費 運搬費			
(着工時搬出除雪費)			(m3)	1	着工時搬出除雪費	搬出先: 運搬距離:	〇〇捨場 4.7km	
路面ヒーター	規格:	融雪用	時間	1	凍結融解費			
(繋船費(海岸))			(式)	1式	繋船費	船種: 休憩率:	クレーン付台船 0.12	
(退避)			(日)	1	退避費	退避先:	△△漁港(距離3.5km)	
試験掘り費			箇所	1	試験掘り費			
<b>事業損失防止施設費</b>								
家屋調査費	—		式	1式	家屋調査費			
騒音調査費	—		式	1式	騒音調査費			
振動調査費	—		式	1式	振動調査費			
沈下観測費	—		式	1式	沈下観測施設費 沈下観測費			
傾斜観測費	—		式	1式	傾斜観測費 傾斜観測施設費			
水質調査費	—		式	1式	水質調査費			
地下水観測費	—		式	1式	地下水観測費 地下水観測施設費			
水質汚濁防止膜			式	1式	汚濁防止膜設置 撤去賃料移設費 保守管理費 清掃費処分費			
水質汚濁防止膜(処分費)			式	1式	処分費			
水質汚濁防止柵			式	1式	汚濁防止柵設置 撤去賃料費等			



# 調查設計業務編



# 目次

## 第1章 調査設計業務体系化について

1. 調査設計業務体系化とは
2. 体系構成表について
3. 調査設計業務体系におけるレベル定義
4. 設計等における数値の扱い
5. 適用工種区分コード

## 第2章 業務工種体系構成表

1. 測量業務
2. 地質調査業務
3. 設計業務



# 第 1 章 調査設計業務体系化について

- 1 . 調査設計業務体系化とは
- 2 . 体系構成表について
- 3 . 調査設計業務体系におけるレベル定義
- 4 . 設計等における数値の扱い
- 5 . 適用工種区分コード



# 1. 調査設計業務体系化とは

## (1) 積算体系化の必要性

地方公共団体等の行う公共事業に求められるものは、「公正に」「より安く」「より良い」サービスを住民に提供することであり、公共工事においては、入札・契約の「公平・公正」性を確保し、「コスト」の縮減を図りつつ、「品質」の確保を目指すことである。

このための積算業務改善の方向性は、以下の通りとなる。

- ・積算の内容を発注者、受注者にとって分かりやすいものにする
- ・誰が積算しても標準化された同じような積算となるものにする。
- ・契約に関する図書類（数量総括表、仕様書等）を一貫した統一の取れた形態とする。
- ・工事目的物が明確に理解できるものにする。

これらを実現しつつ、過度に積算業務が煩雑になることを避け、効率性、合理性を確保するため、「工事工種の体系化」が行われている。

「工事工種の体系化」は、「工事内容について階層的に工種を細分類し、工事の標準的な構成内容を規定するとともに、用語や契約に関わる表示単位について標準的に規定したもの」と言える。設計図書の作成手法としては、母集団となる工事工種体系化構成表を作成し、ここから必要となる部分のみを抽出して使用することとした。これにより、標準的な工事であれば、誰が積算しても同一の構成となるようになった。

「工事工種の体系化」を根幹とし、「共通仕様書や積算基準類の改定」、「積算システムの整備」を行うことによって、発注者・受注者間で契約内容に対する共通認識が形成され「契約内容の明確化・透明性」の向上を始め、発注者様式の統一が図られ「受注者の見積等が容易になる」ことや、契約図書類の整備による「国際化への対応」などが図られる。

北海道では、平成12年度より「工事工種の体系化」を実施している。

## (2) 調査設計業務の体系化

調査設計業務においても、「契約内容の明確化、積算業務の合理化」を目的として、工事と同様に「体系化」を図る必要がある。その概要は以下の通り。

- a 階層を定義する。階層数と各階層の内容をレベル定義として次頁に示す。
- b 用語の統一・標準化をする。
- c 業務内容を細分化する。業務ごとに一連の単位作業が完結し契約数量単位となる作業（レベル4）に、業務を細分化した業務工種体系化構成表を第2章に示す。
- d 業務工種体系化構成表を母集団とし、そこから必要となる部分のみを抽出することにより、標準的な業務であれば、誰が積算しても設計図書が同一の構成となる。

# 2. 体系構成表について

業務工種体系化構成表の要点は以下の通り。

- (1) 設計図書の構成順番を規定する。
- (2) 契約対象となる業務細別、規格、単位を規定する。
- (3) 細別（レベル4）を「契約数量を示すレベル」として位置付ける。  
なお、漁港関係工事の業務工種体系化では業務数量総括表の細別（レベル4）数量が「1式」であるため、摘要欄に明示する数量を契約数量として扱う。
- (4) 一件の業務に複数の項目、工種、種別、細別がある場合は、括弧書き [ ] で補助表現をする。

### 3 . 調査設計業務における体系のレベル定義

工 種 別		内 容		
レベル	区 分	測量業務	地質調査業務	設計業務
レベル0	業種	業務別を示し、 測量・調査業務とする。	業務別を示し、 地質調査業務とする。	業務別を示し、 設計業務とする。
レベル1	項目	深浅業務、水質環境調査 業務、環境生物調査業務、 漁港施設機能保全計画書 作成の別を示す。	土質調査業務、一般調査 業務の別を示す。	設計業務、漁港・海岸設 計、漁港申請図書作成等 の別を示す。
レベル2	工種	「深浅測量」「水路測量」 「汀線測量」「流況調査」 等の別を示す。	「直接調査」「間接調査」 等の別とする。	「波浪推算」「漁港施設設 計」「海岸保全施設設計」 「公有水面埋立申請図書 作成」等の別を示す。
レベル3	種別	「深浅測量」「水路測量」 「汀線測量」「流況調査」 「水質調査」等の別を示 す。	「直接調査」「間接調査」 等の別とする。	「漂砂解析」「波浪変形計 算」「防波堤基本設計」等 の別を示す。 一件の種別が複数に細 分化している場合は補助 表現として[ ]にて示 す。
レベル4	細別	「基準点測量」「水深測量」 「水準測量」「流況観測」 等の別で、基準書の歩掛 名称に対応する。レベル 3を構成する基準書の名 称。	「ボーリング」「原位置試 験」「解析等調査業務」 等の別とする。	「設計計画」「設計計算」 「照査」等の別でレベル 3を構成する歩掛の作業 区分名称。
レベル5	規格	「1/200」「1/4,000」「レベ ル500」等を示す。	「粘性土」「単管式」「ス タッキング法」等を示す。	「図面種類」「基礎検討種 類」「構造形式種類」等を 示す。
	設計数量 総括表単位 ・ 数値	「式」を示し、設計数量 総括表及び設計内訳書の 数量単位を示す。(契約数 量は業務数量総括表の摘 要欄に表示)	「式」を示し、設計数量 総括表及び設計内訳書の 数量単位を示す。(契約数 量は業務数量総括表の摘 要欄に表示)	「式」を示し、設計数量 総括表及び設計内訳書の 数量単位を示す。(契約数 量は業務数量総括表の摘 要欄に表示)
	積算用単位	「式」を示し、 積算用の単位を示す。	「式」を示し、 積算用の単位を示す。	「式」を示し、 積算用の単位を示す。
	積算要素	「基礎部の検討」「基本断面算定」等の別で、基準書の歩掛（施工単価）名称等。		
	積算用条件	標準歩掛の区分の条件、種別による場合を示す。また見積による場合を「別途積算」とし、他の歩掛又は歩掛表の注記による場合を「別途計上」とする。積算要素の補足説明を示す。 また、レベル4に相当する適用区分コード「A1」「H7」「P3」等を示し、「4.適用工種区分コード」による。		

## 4 . 設計等における数値の扱い

### ( 1 ) 数量数位の取扱い

- 1 ) 設計計上数量 ( 細別 ( レベル 6 ) 数量 ) は、原則 1 位止めとするが、  
「第 2 章 業務工種体系化構成表」の「積算用単位【設計数位】」で【 】書き明記している細別は、その数位とする。
- 2 ) 設計計上数量 ( 細別 ( レベル 6 ) 数量 ) が数位に満たない場合は、有効数字 1 桁 ( 有効数字 2 桁目四捨五入 ) の数量とする。
- 3 ) 業務工種体系化構成表以外の工種を定める必要が生じた場合は、業務工種体系化構成表及び業務内容等を勘案して適正に「積算用単位【設計数位】」を定めるものとする。
- 4 ) 設計計上数量 ( 細別 ( レベル 6 ) 数量 ) は、算出された数量を各々の数位に、四捨五入して求めるものとする。

### ( 2 ) 設計等における数値の扱い

設計に使用する数値の端数処理等の方法は、基準書等に特別な定めがある場合を除き以下のとおりとする。

- 1) 数量 ( 歩掛値 )  
数量 ( 歩掛値 ) に補正を行う場合、補正係数を乗じた設計数量は、小数第 3 位 ( 小数第 4 位四捨五入 ) まで算出する。
- 2 ) 補正係数及び変化率  
補正係数及び変化率は、小数第 2 位 ( 小数第 3 位四捨五入 ) まで算出する。

## 5. 適用工種区分コード

### 【測量業務】

区分コード	項目	諸経費			安全費	電子成果品作成費	印刷製本費	事務用品費	施工管理費
B 1	深浅測量	測量	-	-	率	計算式	-	-	-
B 2	水路測量	測量	-	-	率	計算式	-	-	-
B 3	汀線測量	測量	-	-	率	計算式	-	-	-
B 4	流況調査	測量	-	-	率	計算式	-	-	-
B 5	水質調査	測量	-	-	率	計算式	-	-	-
B 6	底質調査	測量	-	-	率	計算式	-	-	-
B 7	環境生物調査業務	測量	-	-	率	計算式	-	-	-
B 8	漁港施設機能保全計画書作成(測量)	測量	-	-	率	計算式	-	-	-
B 9	災害復旧測量調査業務	測量	-	-	率	計算式	-	-	-

B 9の業務のうち、画像解析は測量調査費であるため、設計の諸経費を用いる。

### 【地質調査業務】

区分コード	項目	諸経費			安全費	電子成果品作成費	印刷製本費	事務用品費	施工管理費
H 5	土質調査業務	調査	-	-	-	計算式	-	-	0.70%

区分コード	項目	諸経費	その他原価	一般管理費等	安全費	電子成果品作成費	印刷製本費	事務用品費	施工管理費
I 1	解析等調査	設計	35%	35%	-	土質調査業務に含む	-	-	-

### 【設計業務】

区分コード	項目	諸経費	その他原価	一般管理費等	安全費	電子成果品作成費	印刷製本費	事務用品費	施工管理費
U 1	漂砂解析	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
U 2	その他設計業務	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
U 3	費用対効果分析[漁港]	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
U 4	費用対効果分析[海岸]	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
V 1	波浪推算	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
V 2	漁港施設設計	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
V 3	細部設計	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
V 4	実施設計	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
V 5	海岸保全施設設計	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
V 6	海岸保全施設実施設計	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
V 7	灯台設計	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
X 1	漁港申請図書作成	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
X 2	漁港・漁港海岸電子台帳整備更新	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
X 3	漁港施設機能保全計画書作成(新規作成)(既存計画更新)	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-
X 4	漁港施設機能診断(地震・津波対策)	設計	35%	35%	-	計算式	-	-	-

(注) 上記事務用品費は、成果品作成のための事務用品費を意味している。

「漁港関係工事積算基準 1 4 0 0 設計業務積算基準」の標準歩掛で積上計上する事務用品費と異なる。

## 第 2 章 業務工種体系構成表

- 1 . 測量業務
- 2 . 地質調査業務
- 3 . 設計業務



# 1. 測量業務

レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	ページ
業種	項目	工種	種別	
測量・調査等業務	測量業務	深浅測量	深浅測量	測量業務 - 1
			打合せ	
			直接経費	
			技術管理費	
		水路測量	水路測量	測量業務 - 2
			打合せ	
			直接経費	
			技術管理費	
		汀線測量	汀線測量	測量業務 - 2
			打合せ	
			直接経費	
			技術管理費	
		漁港施設機能保全計画書作成	現地調査	測量業務 - 3
			打合せ	
			直接経費	
			技術管理費	
	災害復旧調査業務	UAV空撮	測量業務 - 4	
		画像解析		
		水中調査		
		打合せ		
		直接経費		
	水域環境調査業務	流況調査	流況調査	測量業務 - 5
			打合せ	
			直接経費	
			技術管理費	
		水質調査	水質調査	測量業務 - 5
			打合せ	
			直接経費	
			技術管理費	
		底質調査	底質調査	測量業務 - 6
			打合せ	
			直接経費	
技術管理費				
環境生物調査業務		環境生物調査業務	プランクトン調査	測量業務 - 7
			卵・稚仔調査	
			底生生物調査	
			付着生物調査	
	藻場調査			
	魚介類調査			
	打合せ			
	直接経費			
	技術管理費			
	直接測量費			
間接測量費	諸経費			
測量調査費				
測量業務価格				



### 業務工種体系化構成表

レベル0	測量・調査等業務
------	----------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
測量業務											
深淺測量											
深淺測量											
測量準備			式	1	1式当り	測量準備費					B1
					1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満	B1		
					1km当り 【0.1】	踏査(陸上)費			B1		
						踏査(海上)費			B1		
					1地点当り	設標(陸上)費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩200m未満 影響なし 影響なし	B1		
						設標(海上)費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	B1		
					1地点当り	測角・測距費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 影響なし	B1		
						30地点当り	整理計算費		B1		
					1地点当り	主要基準点設置費 (コンクリート杭)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩100m未満 影響なし 影響なし	B1		
						1地点当り	主要基準点設置費 (金属製測点鉄)		B1		
1地点当り	補助基準点設置費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 影響なし	B1							
水深測量			式	1	1業務当り	検潮基準測定費					B1
					1日当り	検潮費			B1		
					10日当り	検潮資料整理費			B1		
					1箇所当り	簡易検潮器 設置・撤去費			B1		
					1日当り	検潮、観測機器 損料費			B1		
					1日当り	資料整理費			B1		
					1箇所当り	量水標設置・撤去費			B1		
					1日当り	検潮費			B1		
					10日当り	資料整理費			B1		
					1業務当り	観測テスト	供用係数:	$\alpha = 1.65$ (標準)	B1		
					1km当り 【0.1】	音響測深	海域区分: 平均測深長: 平均測深間隔: その他現場条件区分: 測深方向: 作業時間区分: 供用係数:	港内水域 500m未満 100m未満 影響なし 両方向 5km未満 $\alpha = 1.65$ (標準)	B1		
					1km当り 【0.1】	レド測深			B1		
					1km当り 【0.1】	成果報告			B1		
1km当り 【0.1】	成果報告			B1							
成果				式	1	報告書作成費				B1	
打合せ											
打合せ			式	1		打合せ協議	中間打合せ回数:	2回			B1
直接経費											
(旅費交通費)			(式)	1		乗込・引上旅費 打合せ旅費	移動距離:	25km			B1
(基地関係費)			(式)	1		測量基地設置 測量基地使用費用					B1
(安全費)			(式)	1		安全対策費					B1
成果	成果品部数	印刷製本:3部 電子納品:正副2枚	式	1		業務成果品費					B1
(その他)			(式)	1		機材運搬 伐木補償等 必要経費					B1

## 業務工種体系化構成表

レベル0	測量・調査等業務
------	----------

レベル1、2、3、4	レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]				積算要素			
<b>技術管理費</b>									
	精度管理費		式	1		検測 精度管理表作成 機械器具検定費			B1
	成果検定費		式	1		成果検定費			B1 (諸経費対象外)
<b>水路測量</b>									
<b>水路測量</b>									
	測量準備		式	1		(深浅測量 測量準備を適用する)			
	基準点測量		式	1		(深浅測量 基準点測量を適用する)			
	水深測量		式	1		(深浅測量 水深測量を適用する)			
	関連調査		式	1	1地点当り	底質判別費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	B2
		1地点当り			浮泥層調査費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	B2	
		1km当り 【0.1】			岸線測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし	B2	
		海岸線長 図上10cm当り			資料整理費			B2	
	成果		式	1		報告書作成費			B2
	打合せ	(深浅測量 打合せを適用する)							B2
	直接経費	(深浅測量 直接経費を適用する)							B2
	技術管理費	(深浅測量 技術管理費を適用する)							B2
<b>汀線測量</b>									
<b>汀線測量</b>									
	測量準備		式	1		(深浅測量 測量準備を適用する)			B3
	基準点測量		式	1		(深浅測量 基準点測量を適用する)			B3
	水準測量		式	1	1km当り 【0.1】	水準測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし	B3
		1km当り 【0.1】			縦断測量費	B3			
		1km当り 【0.1】			横断測量(通常)費	B3			
		1km当り 【0.1】			横断測量(碎波帯)費	B3			
	成果		式	1	100断面当り	報告書作成費	平均測線長区分:	100m未満	B3
	打合せ	(深浅測量 打合せを適用する)							B3
	直接経費	(深浅測量 直接経費を適用する)							B3
	技術管理費	(深浅測量 技術管理費を適用する)							B3

### 業務工種体系化構成表

レベル0	測量・調査等業務
------	----------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
漁港施設機能保全計画書作成											
現地調査											
計画準備			式	1	1業務当り	計画準備費					B8
					1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満	B8		
重点項目			式	1	1m2当り	陸上踏査	海域区分: 老朽度区分: 陸上現場条件区分:	港内水域 -0.2 影響なし			B8
					1m2当り	海上踏査	海域区分: 老朽度区分: 陸上現場条件区分:	港内水域 -0.2 影響なし			B8
					1m2当り	水中目視調査	海域区分: 透明度区分: 付着物区分: 水中現場条件区分: 水深区分:	港内水域 普通 被度30%以下 影響無し 3~5m			B8
詳細調査			式	1	1箇所当り	コンクリート採取・補修	海域区分: 老朽度区分: 陸上現場条件区分:	港内水域 -0.2 影響なし			B8
					1箇所当り	コンクリート圧縮試験費				B8	
					1箇所当り	鋼矢板、鋼材の肉厚測定	海域区分: 透明度区分: 付着物区分: 水中現場条件区分: 水深区分:	港内水域 普通 被度30%以下 影響無し 3~5m			B8
(漁港施設機能保全計画書作成は「設計業務」により別途計上を行う。)											
打合せ	(深淺測量 打合せを適用する)										B8
直接経費	(深淺測量 直接経費を適用する)										B8
技術管理費	(深淺測量 技術管理費を適用する)										B8
災害復旧測量調査											
UAV空撮											
UAV空撮											
作業準備			式	1	1施設当り	作業準備					B9
基準点設置			式	1	1点当り	基準点設置					B9
現地撮影作業			式	1	1km当り	現地撮影作業					B9
写真整理			式	1	1km当り	写真整理					B9
直接経費	(深淺測量 直接経費を適用する)										B9
技術管理費	(深淺測量 技術管理費を適用する)										B9
画像解析											
画像解析											
設計計画			式	1	1施設当り	設計計画					B9 (測量調査費)
画像解析			式	1	1km当り	画像解析					B9 (測量調査費)
図面作成			式	1	1km当り	図面作成					B9 (測量調査費)
成果取りまとめ			式	1	1施設当り	成果取りまとめ					B9 (測量調査費)
照査			式	1	1施設当り	照査					B9 (測量調査費)
打合せ	(深淺測量 打合せを適用する)										B9 (測量調査費)
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ回数:	1回			B9 (測量調査費)
直接経費	(深淺測量 直接経費を適用する)										B9 (測量調査費)
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					B9 (測量調査費)
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費	移動距離:	25km			B9 (測量調査費)
成果			式	1	1式当り	業務成果品費					B9 (測量調査費)

### 業務工種体系化構成表

レベル0	測量・調査等業務
------	----------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
水中調査業務											
水中調査業務											
水中調査				式	1	1施設当り	作業準備				B9
打合せ	(深淺測量 打合せを適用する)										B9
直接経費	(深淺測量 直接経費を適用する)										B9
技術管理費	(深淺測量 技術管理費を適用する)										B9
水域環境調査業務											
流況調査											
流況調査											
調査準備				式	1	1業務当り	計画準備費				B4
						1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満		B4
位置測量	主要基準点数 補助基準点数	主要基準点:○点 補助基準点:△点		式	1	1km当り	踏査(陸上)費				B4
						1km当り	踏査(海上)費			B4	
						1地点当り	陸上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩200m未満 影響なし 影響なし	B4	
						1地点当り	海上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	B4	
						1km当り	陸上測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし	B4	
						1地点当り	海上測量費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分: 供用係数:	1.0km未満 影響なし 5km未満 $\alpha = 1.65$ (標準)	B4	
						1地点当り	主要基準点設置費 (コンクリート杭)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩100m未満 影響なし 影響なし	B4	
						1地点当り	主要基準点設置費 (金属製測点鉄)			B4	
流況観測				式	1	1業務当り	流速計作動点検費				B4
						1地点当り	流速計設置費	設置方式区分 平均移動距離区分 現場条件区分 水深区分 作業時間区分 流速計台数	浮吊方式 1.0km未満 影響なし 浮吊方式 5km未満 3台	B4	
						1地点当り	流速計点検費	設置方式区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 水深区分: 作業時間区分: 1地点当りの設置台数区分:	浮吊方式 1.0km未満 影響なし 浮吊方式 5km未満 1台	B4	
						1地点当り	流速計撤去費	設置方式区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 水深区分: 作業時間区分: 観測器具供用日数: 流速計台数:	浮吊方式 1.0km未満 影響なし 浮吊方式 5km未満 30日 3台	B4	
						1式当り	観測器具損料費	観測器具供用日数:	35日	B4	
解析				式	1		記録解析費	昼夜区分: 層数:	1昼夜 3層	B4 (測量調査費)	
成果				式	1		報告書作成費	昼夜区分: 観測総台数:	1昼夜 6台	B4 (測量調査費)	
打合せ											
打合せ				式	1		打合せ協議費	中間打合せ回数:	2回		B4 & 測量調査費

### 業務工種体系化構成表

レベル0	測量・調査等業務
------	----------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用 条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
<b>直接経費</b>											
(旅費交通費)			(式)	1		乗込・引上旅費 打合せ旅費	移動距離:		25km		B4
(基地関係費)			(式)	1		測量基地設置、測量 基地使用費用					B4
(安全費)			(式)	1		安全対策費					B4
成果	成果品部数	印刷製本:3部 電子納品:正副2枚	式	1		業務成果品費					B4
(その他)			(式)	1		機材運搬、伐木補償 等必要経費					B4
技術管理費	(深淺測量 技術管理費を適用する)										B4
<b>水質調査</b>											
<b>水質調査</b>											
調査準備			式	1	1業務当り	計画準備費					B5
					1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:		25km未満		B5
位置測量			式	1	1km当り	踏査(陸上)費					B5
					1km当り	踏査(海上)費				B5	
					1地点当り	陸上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩200m未満 影響なし 影響なし		B5	
					1地点当り	海上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満		B5	
					1km当り	陸上測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし		B5	
					1地点当り	海上測量費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分: 供用係数:	1.0km未満 影響なし 5km未満 $\alpha = 1.65$ (標準)		B5	
					1地点当り	主要基準点設置費 (コンクリート杭)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩100m未満 影響なし 影響なし		B5	
					1地点当り	主要基準点設置費 (金属製測点鉄)				B5	
水質調査			式	1	1地点当り	採水費	1地点当り採水層数区分: 採水水深区分: 平均移動距離区分: 採水回数区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1層 10m未満 1.0km未満 1回 影響なし 5km未満		B5	
					1回当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満		B5	
分析	特記仕様書にて 明示		式	1		分析試験費					B5 (諸経費対象外)
成果			式	1		報告書作成費	調査項目:		生活環境項目+その他 項目+健康項目等+特 殊項目、要監視項目		B5 (測量調査費)
打合せ	(流況調査 打合せを適用する)										
<b>直接経費</b>											
(旅費交通費)			(式)	1		乗込・引上旅費 打合せ旅費	移動距離:		25km		B5
(基地関係費)			(式)	1		測量基地設置 測量基地使用費用					B5
(安全費)			(式)	1		安全対策費					B5
成果	成果品部数	印刷製本:3部 電子納品:正副2枚	式	1		業務成果品費					B5
(その他)			(式)	1		機材運搬 伐木補償等必要経 費					B5
技術管理費	(深淺測量 技術管理費を適用する)										B5

### 業務工種体系化構成表

レベル0	測量・調査等業務
------	----------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算単位 【計上数値】	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
<b>底質調査</b>											
<b>底質調査</b>											
調査準備			式	1		(水質調査を適用する)					B6
位置測量			式	1		(水質調査を適用する)					B6
底質調査			式	1	1地点当り	採泥費	採泥水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 採泥回数区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし 1回 5km未満			B6
					1回当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満		B6	
分析	特記仕様書にて明示		式	1		分析試験費					B6 (諸経費対象外)
成果			式	1		報告書作成費	調査項目:	生活環境項目+その他項目+健康項目等+特殊項目、要監視項目			B6 (測量調査費)
打合せ	(流況調査 打合せを適用する)										B6
直接経費	(水質調査 直接経費を適用する)										B6
技術管理費	(深淺測量 技術管理費を適用する)										B6
<b>環境生物調査業務</b>											
<b>環境生物調査業務</b>											
<b>プランクトン調査</b>											
調査準備			式	1	1業務当り	計画準備費					B7
					1回当り	機材運搬費	往復平均距離区分:	25km未満		B7	
位置測量			式	1	1km当り【0.1】	踏査(陸上)費					B7
					1km当り【0.1】	踏査(海上)費				B7	
1地点当り			式	1	陸上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩200m未満 影響なし 影響なし				B7
					海上設標費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満			B7	
1km当り【0.1】			式	1	陸上測量費	現場条件区分: 作業時間区分:	影響なし 影響なし				B7
					海上測量費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分: 供用係数:	1.0km未満 影響なし 5km未満 $\alpha = 1.65$ (標準)			B7	
1地点当り			式	1	主要基準点設置費(コンクリート杭)	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	徒歩100m未満 影響なし 影響なし				B7
					主要基準点設置費(金属製測点鉄)					B7	
1地点当り			式	1	補助基準点設置費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	50m未満 影響なし 影響なし				B7
プランクトン調査 試料採取			式	1	1日当り(O地点)	プランクトン調査 試料採取費	採取水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし 5km未満			B7
試料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満			B7
分析試験			式	1	1式当り	分析試験費					B7 (諸経費対象外)
解析・考察			式	1	1式当り	種組成・優占種・指標種等解析費、生態特性、海域特性考察費					B7 (測量調査費)

## 業務工種体系化構成表

レベル0	測量・調査等業務
------	----------

レベル1、2、3、4	レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]				積算要素			
<b>卵・稚仔調査</b>									
調査準備			式	1		(プランクトン調査 調査準備を適用する)			B7
位置測量			式	1		(プランクトン調査 調査準備を適用する)			B7
卵・稚仔調査 試料採取			式	1	1日当り (○地点)	卵・稚仔調査試料採取費	平均移動距離区分: 現場条件区分: 採取時間区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 10分未満 5km未満	B7
試料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	B7
分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象外)
解析・考察			式	1	1式当り	卵・稚仔の種組成・ 優占種・餌生物との 関係等分析費、分布 特性、海域特性、漁 場生産力等考察費			B7 (測量調査費)
<b>底生生物調査</b>									
調査準備			式	1		(プランクトン調査 調査準備を適用する)			B7
位置測量			式	1		(プランクトン調査 調査準備を適用する)			B7
底生生物調査			式	1	1日当り (○地点)	底生生物調査費	採取水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 採取回数区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし 1回 5km未満	B7
試料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	B7
分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象外)
解析・考察			式	1	1式当り	生物分析費、種組 成、優占種分布特 性、海域特性等考察 費			B7 (測量調査費)
<b>付着生物調査</b>									
調査準備			式	1		(プランクトン調査 調査準備を適用する)			B7
位置測量			式	1		(プランクトン調査 調査準備を適用する)			B7
付着生物調査			式	1	1日当り (○地点)	付着生物調査費	採取水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし :5km未満	B7
試料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	B7
分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象外)
解析・考察			式	1	1式当り	種組成、優占種分 析、分布特性、水質・ 基質等の環境状況と の関係および調査 個々の目的に関する 考察費			B7 (測量調査費)

### 業務工種体系化構成表

レベル0	測量・調査等業務
------	----------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用 条件
項目、工種、種別、細別		規格	[記載例]				積算要素			
藻場調査										
	調査準備			式	1		(プランク)調査 調査準備を適用する)			B7
	位置測量			式	1		(プランク)調査 調査準備を適用する)			B7
	藻場調査			式	1	1日当り (0m)	藻場調査資料採取	採取水深区分: 平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	10m未満 1.0km未満 影響なし :5km未満	B7
	試料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	B7
	分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象外)
	解析・考察			式	1	1式当り	種組成、優占種、分布特性、海域特性考察費			B7 (測量調査費)
魚介類調査										
	調査準備			式	1		(プランク)調査 調査準備を適用する)			B7
	位置測量			式	1		(プランク)調査 調査準備を適用する)			B7
	魚介類調査			式	1	1日当り (〇地点)	魚介類調査資料採取	平均移動距離区分: 現場条件区分: 作業時間区分:	1.0km未満 影響なし 5km未満	B7
	試料運搬			式	1	1式当り	試料運搬費	往復平均距離区分:	50km未満	B7
	分析試験			式	1	1式当り	分析試験費			B7 (諸経費対象外)
	解析・考察			式	1	1式当り	種組成、優占種、分布特性、海域特性考察費			B7 (測量調査費)
	打合せ	(流況調査 打合せを適用する)								B7
	直接経費	(水質調査 直接経費を適用する)								B7
	技術管理費	(深淺測量 技術管理費を適用する)								B7
直接測量費										
間接測量費										
諸経費										
測量調査費										
測量業務価格										

## 2 . 地質調査業務

レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	ページ
業種	項目	工種	種別	
地質調査 業務	土質調査業務	直接調査	直接調査	地質調査業務 - 1
			直接経費	地質調査業務 - 2
		間接調査	間接調査	地質調査業務 - 3
	純調査費			地質調査業務 - 4
		諸経費		
	一般調査業務費			
			解析等調査業務	
			直接経費	
	直接調査費			
	間接調査費			
		諸経費		
	解析等調査業務費			
	調査業務費			



### 業務工種体系化構成表

レベル0	土質調査業務
------	--------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	【記載例】					積算要素				
土質調査業務											
直接調査											
直接調査											
ホ-リツク				式	1	1日当り ( m ) 【0.1】	海上ホ-リツク 費 (66mm, 86mm, 116mm)	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1日当り ( m ) 【0.1】	海上ホ-リツク 費 (66mm, 86mm, 116mm)	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1m当り 【0.1】	土質ホ-リツク 費 岩盤ホ-リツク 費	深度区分： せん孔方向区分：	深度0～50m 鉛直下方		H 5
原位置試験				式	1	1回当り	標準貫入試験 (海上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1回当り	標準貫入試験 (陸上) 費				H 5
						1回当り	原位置 <sup>^</sup> -ソせん断試験 (海上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1回当り	原位置 <sup>^</sup> -ソせん断試験 (陸上) 費				別途積算 H 5
						1回当り	孔内水平載荷試験 (海上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1回当り	孔内水平載荷試験 (陸上) 費	載荷区分：	普通載荷		H 5
						1m当り 【0.1】	電気式静的ソソ貫入 試験(海上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1m当り 【0.1】	電気式静的ソソ貫入 試験(陸上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1m当り 【0.1】	P・S検層(海上) 費	測定間隔区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	2m間隔 影響なし 影響無し		H 5
						1m当り 【0.1】	P・S検層(陸上) 費	測定間隔区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	2m間隔 影響なし 影響無し		H 5
						1回当り	現場透水試験費	試験方法： 深度区分：	オ-ガ-法 GL-10m以内		H 5
						1m当り 【0.1】	ソソ式 ソソ式 費				H 5
						1m当り 【0.1】	ソソ式二重管 ソソ式貫入試験費	区分：	20kN		H 5
						1m当り 【0.1】	ソソ式ソソ式貫入試験費	区分：	単管式		H 5
						3点1箇所当り	砂置換法による密度試験費				別途積算 H 5
						1点当り	球体落下試験[D値] 費				別途積算 H 5
乱れの少ない 試料採取				式	1	1個当り	ソソ式 ソソ式 (海上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1個当り	ソソ式 二重管ソソ式 (海上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1個当り	ソソ式 三重管ソソ式 (海上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1個当り	ソソ式ソソ式 二重管ソソ式 (海上) 費	深度区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	50m未満 影響なし 5km未満		H 5
						1本当り	ソソ式ソソ式 (海上) 費				H 5
						1本当り	ソソ式ソソ式 (海上) 費				H 5
						1本当り	ソソ式ソソ式 (海上) 費				H 5
						10m当り 【0.1】	ソソ式ソソ式 (海上) 費	深度区分：	5m以内		別途積算 H 5

### 業務工種体系化構成表

レベル0	土質調査業務
------	--------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用 条 件	
項目、工種、種別、細別		規格	[ 記載例 ]				積算要素				
	土質試験			式	1	(物理試験)					
							1個当り	土粒子の密度試験費			H 5
							1個当り	含水費試験費			H 5
							1個当り	粒度分析試験費	分析方法 :	沈降+70I	H 5
							1個当り	液性限界試験費			H 5
							1個当り	塑性限界試験費			H 5
							1個当り	湿潤密度試験費			H 5
							1個当り	石の比重試験費			H 5
								(力学試験)			
							1個当り	一軸圧縮試験			H 5
							1個当り	三軸圧縮試験	規格 : 土質 :	非圧密非排水 粘性土	H 5
							1個当り	簡易圧縮試験			H 5
							1個当り	繰返し三軸試験			H 5
							1個当り	直接せん断試験	規格 : 土質 :	非圧密非排水 粘性土	H 5
							1個当り	圧密試験			H 5
							1個当り	透水試験			H 5
								報告書作成			式
1式当り	試料整理とりまとめ			H 5							
1式当り	断面図等の作成費			H 5							
	業務成果品			式	1	1式当り	業務成果品費			H 5	
打合せ											
	打合せ			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ :	1回	H 5	
地盤情報データベース登録検定費											
	地盤情報データベース登録検定費			式	1	1式当り				諸経費 対象外	
直接経費											
	(特許使用料等)			(式)	1		特許使用料			H 5	
	(水道)			(式)	1		水道料			H 5	
	(光熱・電力料)			(式)	1		光熱・電力料			H 5	
	(その他)			(式)	1		その他経費			H 5	

### 業務工種体系化構成表

レベル0	土質調査業務
------	--------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別		規格	[記載例]				積算要素				
間接調査											
間接調査											
準備				式	1	1式当り	調査準備費				H 5
位置測量				式	1	1地点当り	測量(海上トランソット)	平均移動距離区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	0.5km未満 影響なし 5km未満		H 5
			1地点当り			測量(海上トランスジョン)	平均移動距離区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	0.5km未満 影響なし 5km未満		H 5	
			1地点当り			測量(海上GPS)	平均移動距離区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	0.5km未満 影響なし 5km未満		H 5	
			1km当り			測量(陸上)	平均移動距離区分： 現場条件区分： 作業時間区分：	0.2km未満 影響なし 影響なし		H 5	
(足場)				(式)	1	1基当り	足場組立解体費(ｽｯｯ台船)				H 5
			1箇所当り			海上足場設置・撤去 (単管足場)費	潜水土船の有無： 標識灯損料供用期間：	無 3日		H 5	
			1箇所当り			ｽｯｯ台船設置費	引船運転時間： 水深区分： 足場損料供用期間 (日)： 標識灯損料供用期間 (日)：	2時間運転 5mまで 5日 5日		H 5	
			1箇所当り			ｽｯｯ台船撤去費	引船運転時間： 水深区分：	2時間運転 5mまで		H 5	
			1箇所当り			ｽｯｯ台船移設費	引船運転時間： 水深区分：	2時間運転 5mまで		H 5	
			1箇所当り			足場仮設(陸上平坦足場)費				H 5	
			1箇所当り			足場仮設(陸上単管足場 (湿地足場))費				H 5	
			1箇所当り			足場仮設(陸上単管足場 (傾斜地足場))費	傾斜角度：	30°～40°		H 5	
			1式当り			損料(ｽｯｯ台船)	足場規格： 供用期間：	水深5m未満 3日		H 5	
			1式当り			損料(海上足場(単管足場))	足場規格： 設置箇所数：	1～3m未満 2力所		H 5	
			1式当り			作業船拘束費	引船規格： 拘束日数：	綱D300ps 1日		H 5	
	(運搬)						(式)	1	1回当り	交通船運転	
			1回当り	交通車運転						H 5	
			1回当り	機材運搬 (ｽｰﾘﾝｸﾞ ｽｼﾞのみ)費	機材等運搬区分： ｽｰﾘﾝｸﾞ ｽｼﾞ台数： 往復平均距離区分：	機材等単独で運搬 1台 25km未満				H 5	
			1回当り	機材運搬(ｽｯｯ台船)費						H 5	
			1回当り	機材運搬(海上単管足場)費						H 5	
		1式当り	試料運搬	乱さない試料数： 乱した試料数： 往復平均距離区分：	5試料 10試料 50km未満		H 5				

### 業務工種体系化構成表

レベル0	土質調査業務
------	--------

レベル1、2、3、4			レベル5		単位	数値	積算用単位 【計上数値】	レベル6	明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別			規格	[記載例]				積算要素			
		(足場(鋼製檣))			(式)	1	1基当り	足場組立解体(鋼製檣)費			H 5
							1箇所当り	足場設置(鋼製檣)費	鋼製檣区分: 海上運搬距離区分: 足場損料供用期間(日): 標識灯損料供用期間(日):	高さ7m・重さ8.4t 8.2km以下 7日 7日	H 5
							1箇所当り	足場撤去(鋼製檣)費	鋼製檣区分: 海上運搬距離区分:	高さ7m・重さ8.4t 8.2km以下	H 5
							1箇所当り	足場移設(鋼製檣)費	鋼製檣区分: 海上運搬距離区分:	高さ7m・重さ8.4t 8.2km以下	H 5
							1式当り	損料(鋼製檣)	供用日数:	3日	H 5
							1式当り	作業船拘束費	作業船規格: 引船規格: 拘束日数:	クレーン付台船80t吊 鋼D300ps 1日	H 5
		(運搬(鋼製檣))			(式)	1	1回当り	機材運搬(鋼製檣)費			H 5
		(安全費)			(式)	1	1式当り	安全(標識灯)費	標識灯規格: 本数: 供用日数:	型 1本 3日	H 5
							1式当り	安全(浮標灯)費	浮標灯規格: 本数: 供用日数:	型 1本 3日	H 5
							1式当り	安全(安全監視船)費	運転日数:	1日	H 5
		(水雷・傷害保険)			(式)	1	1式当り	水雷保険料	付保対象船舶: 保険期間: 対象隻数:	船 3ヶ月まで 1隻	H 5
							1式当り	傷害保険料	対象人数: 保険期間:	1人 2ヶ月まで	H 5
		(借地料)			(式)	1	1式当り	借地料			H 5
		(管繕費)			(式)	1	1式当り	管繕費			H 5
		(その他)			(式)	1	1式当り	その他経費			H 5
施工管理											
		(施工管理)			(式)	1	1式当り	施工管理費			H 5 0 1
旅費交通費											
		(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			H 5 0 0
純調査費											
諸経費											
一般調査業務費											
解析等調査業務											
		解析等調査			式	1	1業務当り	既存資料収集・現地調査			I 1
		解析等調査成果			式	1	1業務当り	資料整理とりまとめ(解析業務)			I 1
							1業務当り	断面図等の作成(解析業務)			I 1
							1業務当り	総合的な解析(解析業務)			I 1
直接経費											
		打合せ			式	1	1業務当り	打合せ協議	中間打合せ:	1回	I 1
		(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費			I 1
直接調査費											
間接調査費											
諸経費											
解析等調査業務費											
調査業務費											

### 3. 設計業務

レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	ページ	
業種	項目	工種	種別		
設計業務	設計業務	漂砂解析	漂砂解析	設計業務 - 1	
			打合せ		
			直接経費		
		静穏度解析	静穏度解析		
			打合せ		
			直接経費		
		費用対効果分析	費用対効果分析 [ 漁港 ]		設計業務 - 2
			打合せ		
			直接経費		
			費用対効果分析 [ 高潮 ]		
			費用対効果分析 [ 侵食 ]		
			打合せ		
	直接経費				
	漁港・海岸施設設計	波浪推算	屈折図・回折図の作成	設計業務 - 3	
			波浪変形計算 [ I値 <sup>2</sup> - 平衡方程式 ]		
			波浪変形計算 [ 非定常緩勾配不規則波動方程式 ]		
			波浪変形計算 [ フレッシュナイター法 ]		
			打合せ		
			直接経費		
			漁港施設設計		防波堤基本設計
		護岸基本設計			
岸壁・物揚場基本設計					
打合せ					
直接経費					
設計業務 - 5		細部設計			
		打合せ			
		直接経費			
		防波堤実施設計			
設計業務 - 6		護岸実施設計			
		岸壁・物揚場実施設計			
		船揚場実施設計			
		航路・泊地実施設計			
		用地実施設計			
		打合せ			
直接経費					
設計業務 - 7		海岸保全施設設計	海岸護岸基本設計		
			海岸離岸堤等基本設計		
			打合せ		
			直接経費		
設計業務 - 8		海岸保全施設実施設計	海岸保全施設実施設計		
	打合せ				
	直接経費				
設計業務 - 8	灯台設計	灯台移設実施設計			
		打合せ			
		直接経費			

### 3. 設計業務

レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	ページ
業種	項目	工種	種別	
	漁港申請図書作成	公有水面埋立申請図書作成	公有水面埋立申請図書作成	設計業務 - 8
			打合せ	
			直接経費	
	漁港・漁港海岸 電子台帳整備・更新	漁港・漁港海岸 電子台帳整備・更新	漁港・漁港海岸電子台帳整備	設計業務 - 9
			漁港・漁港海岸電子台帳更新	
			打合せ	
			直接経費	
	漁港施設機能保全 計画書作成（新規策 定）（既存計画更新）	漁港施設機能保全計画書作成 （新規策定）（既存計画更 新）	漁港施設機能保全計画書作成 （新規策定）	設計業務 - 10
			漁港施設機能保全計画書作成 （既存計画更新）	
			打合せ	
			直接経費	
	漁港施設機能診断 （地震・津波対策）	漁港施設機能診断 （地震・津波対策）	地震動の算定	設計業務 - 11
耐震・耐津波照査（外殻施設）				
耐震・耐津波照査（係留施設）				
津波外力算定				
打合せ				
直接経費				
直接業務費				
間接業務費	諸経費			
業務価格				

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
設計業務											
漂砂解析											
漂砂解析											
計画準備			式	1	1業務当り	計画準備					U 1
資料収集整理			式	1	1項目当り	資料収集整理	資料収集整理数 :	1			U 1
漂砂特性の把握			式	1	1港当り	漂砂特性の把握					U 1
モデルの設定			式	1	1港当り	モデルの設定					U 1
条件の設定			式	1	1港当り	条件の設定					U 1
計算の実行			式	1	1ケース当り	計算の実行 電算費	計算ケース数 : 検討港形数 :	1 1			U 1
計算結果の整理			式	1	1港当り	計算結果の整理					U 1
結果の検討			式	1	1港当り	結果の検討					U 1
報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成					U 1
照査			式	1	1業務当り	照査					U 1
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ :		1回		U 1
直接経費											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					U 1
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					U 1
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品 : 印刷製本部数 :		正副2部 3部		U 1
(電子計算機使用料)			(式)	1	1式当り	電算費	計算ケース数 :		3ケース		U 1
(機械器具損料)			(式)	1	1式当り	機械器具損料費					U 1
(特許使用料)			(式)	1	1式当り	特許使用料					U 1
(製図費等)			(式)	1	1式当り	製図費等					U 1
(その他)			(式)	1	1式当り	その他費用					U 1
静穏度解析											
静穏度解析											
計画準備			式	1							U 2
条件の設定			式	1	1港当り	条件の設定設定					U 2
データ作成			式	1	1港当り	データ作成					U 2
計算の実行			式	1	1ケース当り	計算の実行、 電算費	検討港形数 : 計算ケース数 :	1 1			U 2
計算結果の整理			式	1	1ケース当り	計算結果の整理					U 2
結果の検討			式	1	1港当り	結果の検討					U 2
報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成					U 2
照査			式	1	1業務当り	照査					U 2
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ :		1回		U 2
直接経費											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					U 2
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					U 2
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品 : 印刷製本部数 :		正副2部 3部		U 2
(電子計算機使用料)			(式)	1	1式当り	電算費	計算ケース数 :		3ケース		U 2
(機械器具損料)			(式)	1	1式当り	機械器具損料費					U 2
(特許使用料)			(式)	1	1式当り	特許使用料					U 2
(製図費等)			(式)	1	1式当り	製図費等					U 2
(その他)			(式)	1	1式当り	その他費用					U 2

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
費用対効果分析 [漁港]											
費用対効果分析 [漁港]											
現地調査・資料収集			式	1	1港当り	費用対効果分析	施設数： 漁業種類数：	1～3 1～3			U 3
便益項目の抽出			式	1	1港当り	費用対効果分析	施設数： 漁業種類数：	1～3 1～3			U 3
便益額の算出			式	1	1港当り	費用対効果分析	施設数： 漁業種類数：	1～3 1～3			U 3
費用便益比率の算出			式	1	1港当り	費用対効果分析	施設数： 漁業種類数：	1～3 1～3			U 3
報告書作成			式	1	1港当り	費用対効果分析	施設数： 漁業種類数：	1～3 1～3			U 3
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：	1回			U 3
直接経費											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					U 3
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					U 3
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本数：	正副2部 3部			U 3
費用対効果分析 [海岸]											
費用対効果分析 [高潮]											
計画準備			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
現地踏査			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
既往資料収集・整理			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
対象便益項目の検討			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
越波量の算定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
浸水区域の設定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
浸水区域の防護資産の算定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
被害軽減額の算定 [再現確率年波毎]			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
被害軽減額の算定 [年次別平均]			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
費用便益分析			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
報告書作成			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
費用対効果分析 [侵食]											
計画準備			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
現地踏査			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
既往資料収集・整理			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
対象便益項目の検討			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
想定侵食区域の設定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
侵食区域内の土地利用調査			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
土地面積・一般資産などの被害額の算定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
侵食防止便益の算定			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
費用便益分析			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
報告書作成			式	1	1海岸当り	費用対効果分析	海岸防護延長：	2km以下			U 4
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：	1回			U 4
直接経費											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					U 4
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					U 4
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本数：	正副2部 3部			U 4

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
漁港・海岸施設設計											
波浪推算											
屈折図・回折図の作成											
設計計画			式	1	1業務当り	屈折図・回折図の作成 (エネキ'-分散法)					V 1
屈折図の作成	エネキ'-分散法		式	1	1波向当り	屈折図・回折図の作成 (エネキ'-分散法)					V 1
回折図の作成	エネキ'-分散法		式	1	1波向当り	屈折図・回折図の作成 (エネキ'-分散法)					V 1
照査			式	1	1業務当り	屈折図・回折図の作成 (エネキ'-分散法)					V 1
波浪変形計算 [エネキ'-平衡方程式]											
設計計画			式	1	1業務当り	波浪変形計算 (エネキ'-平衡方程式)					V 1
数値計算			式	1	1波向当り	波浪変形計算 (エネキ'-平衡方程式)					V 1
換算沖波波高の算定			式	1	10点当り	波浪変形計算 (エネキ'-平衡方程式)					V 1
設計波高の算定			式	1	10点当り	波浪変形計算 (エネキ'-平衡方程式)					V 1
伝達波の検討			式	1	10点当り	波浪変形計算 (エネキ'-平衡方程式)					V 1
照査			式	1	1業務当り	波浪変形計算 (エネキ'-平衡方程式)					V 1
波浪変形計算 [非常常緩勾配不規則波動方程式]											
設計計画			式	1	1業務当り	波浪変形計算(非常常緩勾配不規則波動方程式)					V 1
数値計算			式	1	1波向当り	波浪変形計算(非常常緩勾配不規則波動方程式)					V 1
換算沖波波高の算定			式	1	10点当り	波浪変形計算(非常常緩勾配不規則波動方程式)					V 1
設計波高の算定			式	1	10点当り	波浪変形計算(非常常緩勾配不規則波動方程式)					V 1
伝達波の検討			式	1	10点当り	波浪変形計算(非常常緩勾配不規則波動方程式)					V 1
照査			式	1	1業務当り	波浪変形計算(非常常緩勾配不規則波動方程式)					V 1
波浪変形計算 [ブレットシュナイダ'-法]											
設計計画			式	1	1業務当り	波浪変形計算 (ブレットシュナイダ'-法)					V 1
換算沖波波高の算定			式	1	1波向当り	波浪変形計算 (ブレットシュナイダ'-法)					V 1
設計波高の算定			式	1	1波向当り	波浪変形計算 (ブレットシュナイダ'-法)					V 1
回折の検討			式	1	1波向当り	波浪変形計算 (ブレットシュナイダ'-法)					V 1
伝達波の検討			式	1	1波向当り	波浪変形計算 (ブレットシュナイダ'-法)					V 1
照査			式	1	1業務当り	波浪変形計算 (ブレットシュナイダ'-法)					V 1
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:		1回		V 1
直接経費											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					V 1
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					V 1
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:		正副2部 3部		V 1
(電子計算機使用料)			(式)	1	1式当り	電算費	計算ケース数:		3ケース		V 1

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
漁港施設設計											
防波堤基本設計											
設計計画			式	1	1業務当り	設計計画					V 2
機能保全方針の設定資料			式	1	1業務当り	機能保全方針の設定資料					V 2
利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・自然条件設定					V 2
土質資料整理解析	土質:	粘性土地盤	式	1	1地点当り	土質資料整理解析	ホーリング本数:	1			V 2
機能保全の検討			式	1	1業務当り	機能保全の検討					V 2
基礎部の計算			式	1	1検討断面当り	基礎部の計算	基礎検討:	円形すべり計算			V 2
地盤改良工法の検討			式	1	1検討断面当り	地盤改良工法の検討	地盤改良工法	床掘置換工法			V 2
設計計算			式	1	1検討断面当り	設計計算(防波堤)	構造形式:	ケソ式			V 2
基本断面算定			式	1	1検討断面当り	基本断面算定	施設名: 基本断面数:	施防波堤 2断面			V 2
図面作成	図面:	平面図	式	1	1枚当り	図面作成					V 2
報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成					V 2
照査			式	1	1業務当り	照査					V 2
護岸基本設計											
設計計画			式	1	1業務当り	設計計画					V 2
機能保全方針の設定資料			式	1	1業務当り	機能保全方針の設定資料					V 2
利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・自然条件設定					V 2
土質資料整理解析	土質:	粘性土地盤	式	1	1地点当り	土質資料整理解析	ホーリング本数:	1			V 2
機能保全の検討			式	1	1業務当り	機能保全の検討					V 2
基礎部の計算	基礎検討:	円形すべり計算	式	1	1検討断面当り	基礎部の計算					V 2
地盤改良工法の検討	地盤改良工法:	床掘置換工法	式	1	1検討断面当り	地盤改良工法の検討					V 2
設計計算	構造形式	ケソ式	式	1	1検討断面当り	設計計算(護岸)					V 2
基本断面算定 [全項目]			式	1	1検討断面当り	基本断面算定					V 2
図面作成	図面:	平面図	式	1	1枚当り	図面作成					V 2
報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成					V 2
照査			式	1	1業務当り	照査					V 2
岸壁・物揚場基本設計											
設計計画			式	1	1業務当り	設計計画					V 2
機能保全方針の設定資料			式	1	1業務当り	機能保全方針の設定資料					V 2
利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・自然条件設定					V 2
土質資料整理解析	土質:	粘性土地盤	式	1	1地点当り	土質資料整理解析	ホーリング本数:	1			V 2
機能保全の検討			式	1	1業務当り	機能保全の検討					V 2
基礎部の計算	基礎検討:	円形すべり計算	式	1	1検討断面当り	基礎部の計算					V 2
地盤改良工法の検討	地盤改良工法:	床掘置換工法	式	1	1検討断面当り	地盤改良工法の検討					V 2
設計計算	構造形式	ケソ式	式	1	1検討断面当り	設計計算(護岸)					V 2
基本断面算定 [全項目]			式	1	1検討断面当り	基本断面算定					V 2
図面作成	図面:	平面図	式	1	1枚当り	図面作成					V 2
報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成					V 2
照査			式	1	1業務当り	照査					V 2
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1回			V 2
直接経費											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					V 2
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					V 2
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本数:	正副2部 3部			V 2

業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
細部設計											
設計計画				式	1	1業務当り	設計計画(ケトン式、 棧橋式、矢板式、L 型・セルテプロック式)	構造形式:		矢板式	V 3
配筋計算				式	1	1タイフ当り	配筋計算(ケトン式、 L型・セルテプロック式)	版数:	2		V 3
							配筋計算(1)(棧橋 式(床版)、矢板式 (矢板上部工))	構造形式:	矢板式	V 3	
							配筋計算(2)(棧橋 式(梁)、矢板式(控 頭部工))	構造形式:	矢板式	V 3	
							不等沈下計算 (ケトン式)			V 3	
数量計算				式	1	1タイフ当り	数量計算(棧橋式、 矢板式、L型・セル テプロック式)				V 3
							数量計算(1) (ケトン式)	一般ケトンタイフ数:	1	V 3	
							数量計算(2) (ケトン式)	スリットケトンタイフ数:	1	V 3	
図面作成				式	1	1タイフ当り	図面作成(ケトン式、 棧橋式、矢板式、L 型・セルテプロック式)	版数:	2	V 3	
付帯施設				式	1	1タイフ当り	付帯施設計算				V 3
							付帯施設図面作成				V 3
報告書作成				式	1	1タイフ当り	報告書作成(ケトン 式、棧橋式、矢板 式、L型・セルテプロ ック式)	ケトンタイフ数:	1	V 3	
協議・報告				式	1	1回当り	協議・報告				V 3
照査				式	1	1タイフ当り	照査(ケトン式、棧橋 式、矢板式、L型・ セルテプロック式)				V 3
打合せ											
設計協議				式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:		1回	V 3
直接経費											
(事務用品費)				(式)	1	1式当り	事務用品費				V 3
(旅費交通費)				(式)	1	1式当り	旅費交通費				V 3
成果				式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:		正副2部 3部	V 3
実施設計											
防波堤実施設計											
設計計画	構造形式	傾斜堤(芯無)		式	1	1業務当り	防波堤実施設計				V 4
設計図作成	構造形式	傾斜堤(芯無)		式	1	1施設当り	防波堤実施設計	類似断面延長: 起伏による補正: 軟弱地盤補正: 複雑箇所補正:	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所		V 4
数量計算	構造形式	傾斜堤(芯無)		式	1	1施設当り	防波堤実施設計	類似断面延長: 起伏による補正: 軟弱地盤補正: 複雑箇所補正:	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所		V 4
報告書作成	構造形式	傾斜堤(芯無)		式	1	1業務当り	防波堤実施設計				V 4
照査	構造形式	傾斜堤(芯無)		式	1	1業務当り	防波堤実施設計				V 4
護岸実施設計											
設計計画	構造形式	直立堤 (消波工無)		式	1	1業務当り	護岸実施設計				V 4
設計図作成	構造形式	直立堤 (消波工無)		式	1	1施設当り	護岸実施設計	類似断面延長: 起伏による補正: 軟弱地盤補正: 複雑箇所補正:	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所		V 4
数量計算	構造形式	直立堤 (消波工無)		式	1	1施設当り	護岸実施設計	類似断面延長: 起伏による補正: 軟弱地盤補正: 複雑箇所補正:	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所		V 4
報告書作成	構造形式	直立堤 (消波工無)		式	1	1業務当り	護岸実施設計				V 4
照査	構造形式	直立堤 (消波工無)		式	1	1業務当り	護岸実施設計				V 4

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
<b>岸壁・物揚場実施設計</b>											
設計計画	構造形式	直立堤	式	1	1業務当り	岸壁・物揚場 実施設計					√ 4
設計図作成	構造形式	直立堤	式	1	1施設当り	岸壁・物揚場 実施設計	類似断面延長： 起伏による補正： 軟弱地盤補正： 複雑箇所補正：	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所			√ 4
数量計算	構造形式	直立堤	式	1	1施設当り	岸壁・物揚場 実施設計	類似断面延長： 起伏による補正： 軟弱地盤補正： 複雑箇所補正：	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所			√ 4
報告書作成	構造形式	直立堤	式	1	1業務当り	岸壁・物揚場 実施設計					√ 4
照査	構造形式	直立堤	式	1	1業務当り	岸壁・物揚場 実施設計					√ 4
<b>船揚場実施設計</b>											
設計計画	構造形式	捲上げ施設を考慮し ないもの	式	1	1業務当り	船揚場実施設計					√ 4
設計図作成	構造形式	捲上げ施設を考慮し ないもの	式	1	1施設当り	船揚場実施設計	類似断面延長： 起伏による補正： 軟弱地盤補正： 複雑箇所補正：	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所			√ 4
数量計算	構造形式	捲上げ施設を考慮し ないもの	式	1	1施設当り	船揚場実施設計	類似断面延長： 起伏による補正： 軟弱地盤補正： 複雑箇所補正：	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所			√ 4
報告書作成	構造形式	捲上げ施設を考慮し ないもの	式	1	1業務当り	船揚場実施設計					√ 4
照査	構造形式	捲上げ施設を考慮し ないもの	式	1	1業務当り	船揚場実施設計					√ 4
<b>航路・泊地実施設計</b>											
設計計画			式	1	1業務当り	航路・泊地 実施設計					√ 4
設計図作成			式	1	1施設当り	航路・泊地 実施設計	対象面積の補正： 起伏による補正：	5,000m <sup>2</sup> まで 75%以上			√ 4
数量計算			式	1	1施設当り	航路・泊地 実施設計	対象面積の補正： 起伏による補正：	5,000m <sup>2</sup> まで 75%以上			√ 4
報告書作成			式	1	1業務当り	航路・泊地 実施設計					√ 4
照査			式	1	1業務当り	航路・泊地 実施設計					√ 4
<b>用地実施設計</b>											
設計計画			式	1	1業務当り	用地実施設計					√ 4
設計図作成			式	1	1施設当り	用地実施設計	対象面積の補正： 起伏による補正：	5,000m <sup>2</sup> まで 75%以上			√ 4
数量計算			式	1	1施設当り	用地実施設計	対象面積の補正： 起伏による補正：	5,000m <sup>2</sup> まで 75%以上			√ 4
報告書作成			式	1	1業務当り	用地実施設計					√ 4
照査			式	1	1業務当り	用地実施設計					√ 4
<b>打合せ</b>											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：	1回			√ 4
<b>直接経費</b>											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					√ 4
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					√ 4
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本数：	正副2部 3部			√ 4

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
<b>海岸保全施設設計</b>											
<b>海岸護岸基本設計</b>											
設計計画			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式： 補正率：	重力式 1.7			V5
設計計算			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式： 補正率：	重力式 1.7			V5
設計図作成			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式： 補正率：	重力式 1.7			V5
概算工費算定			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式： 補正率：	重力式 1.7			V5
報告書作成			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式： 補正率：	重力式 1.7			V5
照査			式	1	1断面当り	海岸護岸基本設計	構造形式： 補正率：	重力式 1.7			V5
<b>海岸離岸堤等基本設計</b>											
設計計画			式	1	1断面当り	海岸離岸堤等設計	施設名称： 補正率：	離岸堤 1.0			V5
設計計算			式	1	1断面当り	海岸離岸堤等設計	施設名称： 補正率：	離岸堤 1.0			V5
設計図作成			式	1	1断面当り	海岸離岸堤等設計	施設名称： 補正率：	離岸堤 1.0			V5
概算工費算定			式	1	1断面当り	海岸離岸堤等設計	施設名称： 補正率：	離岸堤 1.0			V5
報告書作成			式	1	1断面当り	海岸離岸堤等設計	施設名称： 補正率：	離岸堤 1.0			V5
照査			式	1	1断面当り	海岸離岸堤等設計	施設名称： 補正率：	離岸堤 1.0			V5
<b>打合せ</b>											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：	1回			V5
<b>直接経費</b>											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					V5
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					V5
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本部数：	正副2部 3部			V5
<b>海岸保全施設実施設計</b>											
<b>海岸保全施設実施設計</b>											
設計計画	構造形式：	離岸堤・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1業務当り	海岸施設実施設計					V6
設計図作成	構造形式：	離岸堤・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1施設当り	海岸施設実施設計	類似断面延長： 起伏による補正： 軟弱地盤補正： 複雑箇所補正：	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所			V6
数量計算	構造形式：	離岸堤・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1施設当り	海岸施設実施設計	類似断面延長： 起伏による補正： 軟弱地盤補正： 複雑箇所補正：	30mまで 75%以上 置換工法 60mまで 混成堤に類するもの1箇所			V6
報告書作成	構造形式：	離岸堤・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1業務当り	海岸施設実施設計					V6
照査	構造形式：	離岸堤・消波堤 (捨石マウンド無)	式	1	1業務当り	海岸施設実施設計					V6
<b>打合せ</b>											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：	1回			V6
<b>直接経費</b>											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					V6
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					V6
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本部数：	正副2部 3部			V6

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
灯台設計											
灯台移設実施設計											
現況調査			基	1	1基当り	灯台移設実施設計					√ 7
設計計画			基	1	1基当り	灯台移設実施設計					√ 7
数量・工費算定			基	1	1基当り	灯台移設実施設計					√ 7
設計図作成			基	1	1基当り	灯台移設実施設計					√ 7
報告書作成			基	1	1基当り	灯台移設実施設計					√ 7
照査			基	1	1基当り	灯台移設実施設計					√ 7
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：		1回		√ 7
直接経費											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					√ 7
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					√ 7
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本部数：		正副2部 3部		√ 7
漁港申請図書作成											
公有水面埋立申請図書作成											
公有水面埋立申請図書作成											
計画準備			式	1	1部当り	計画準備	区分：		I		X 1
願書作成			式	1	1部当り	願書作成	区分：		I		X 1
埋立申請理由書			式	1	1部当り	埋立申請理由書	区分：		I		X 1
設計概要説明書			式	1	1部当り	埋立地の地盤の高さ	区分：		I		X 1
						護岸、堤防、岸壁 その他これらに類する 工作物の種類及び構造					X 1
						埋立に関する 工事の施工方法	区分：		I		X 1
環境保全に関し 講じる措置を 記載した図書			式	1	1部当り	対象事業の 目的及び内容	区分：		I		X 1
						対象事業の実施が 環境に及ぼす影響の 予測結果	建設作業騒音： 道路交通騒音：				X 1
埋立区域及び埋立に 関する工事の施工区 域を表示した図面	作成図面：	一般平面図 海面 実測平面図 各求積平面図	式	1	1部当り	埋立区域及び埋立に 関する工事の施工 区域を表示した 図面	区分：		I		X 1
埋立地縦横断面図	作成図面：	埋立地縦断面図 埋立地横断面図	式	1	1部当り	埋立地縦横断面図	区分：		I		X 1
工作物構造図			式	1	1部当り	工作物構造図作成					X 1
現況写真			式	1	1部当り	現況写真					X 1
埋立に用いる土砂等 の採取場所及び採取 量を記載した図書			式	1	1部当り	埋立に用いる土砂 等の採取場所及び 採取量を記載した 図書	区分：		I		X 1
漁港施設用地 利用計画平面図			式	1	1部当り	漁港施設用地 利用計画平面図					X 1
照査			式	1	1式当り	照査	区分：		I		X 1
製本・取りまとめ			式	1	1式当り	製本・取りまとめ					X 1
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：		1回		X 1
直接経費											
報告書作成費			式	1	1式当り	報告書作成費	必要部数：		4部		電子納品 は別途
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					X 1

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算用単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
漁港・漁港海岸電子台帳整備・更新											
漁港・漁港海岸電子台帳整備・更新											
漁港・漁港海岸電子台帳整備											
計画準備			式	1	1式当り	計画準備					X 2
資料収集整理			式	1	1港当り	資料収集整理					X 2
現況確認			式	1	1km当り	現況確認					X 2
カリ画像作成			式	1	1港当り	カリ画像作成					X 2
漁港・漁港海岸台帳データベース作成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸台帳データベース作成					X 2
漁港・漁港海岸加付作成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸加付作成					X 2
施設加付作成			式	1	1港当り	施設加付作成					X 2
漁港・漁港海岸平面図(GIS)作成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸平面図(GIS)作成					X 2
漁港・漁港海岸平面図(GIS)作成(RTK-GPS計測のみによる場合)			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸平面図(GIS)作成(RTK-GPS計測のみによる場合)					X 2
関連データ作成	水域管理データ		式	1	1港当り	関連データ作成					X 2
	深淺測量データ(砂浜域)		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	深淺測量データ(岩礁域)		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	地質調査データ		式	1	1孔当り	関連データ作成					X 2
	底質調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	その他調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	委託報告書		式	1	1冊当り	関連データ作成					X 2
	老朽化調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
システム登録・調整			式	1	1港当り	システム登録・調整					X 2
成果取りまとめ			式	1	1式当り	成果取りまとめ					X 2
照査			式	1	1式当り	照査					X 2
漁港・漁港海岸電子台帳更新											
計画準備			式	1	1式当り	計画準備					X 2
資料収集整理			式	1	1港当り	資料収集整理					X 2
現況確認			式	1	1港当り	現況確認					X 2
修正カリ画像作成			式	1	1港当り	修正カリ画像作成					X 2
漁港・漁港海岸台帳データベース作成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸台帳データベース作成					X 2
漁港・漁港海岸加付作成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸加付作成					X 2
施設加付作成			式	1	1工事当り	施設加付作成					X 2
漁港・漁港海岸平面図(GIS)作成			式	1	1港当り	漁港・漁港海岸平面図(GIS)作成					X 2
関連データ作成	水域管理データ		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	深淺測量データ(砂浜域)		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	深淺測量データ(岩礁域)		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	地質調査データ		式	1	1孔当り	関連データ作成					X 2
	底質調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	その他調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
	委託報告書		式	1	1冊当り	関連データ作成					X 2
	老朽化調査データ		式	1	1回当り	関連データ作成					X 2
システム登録・調整			式	1	1港当り	システム登録・調整					X 2
成果取りまとめ			式	1	1式当り	成果取りまとめ					X 2
照査			式	1	1式当り	照査					X 2
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：		1回		X 2

### 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用 条件
項目、工種、種別、細別		規格	[記載例]				積算要素				
直接経費											
(事務用品費)				(式)	1	1式当り	事務用品費				X 2
(旅費交通費)				(式)	1	1式当り	旅費交通費				X 2
成果				式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本部数：	正副2部 3部		X 2
漁港施設機能保全計画書作成(新規策定)(既存計画更新)											
漁港施設機能保全計画書作成(新規策定)(既存計画更新)											
漁港施設機能保全計画書作成(新規策定)											
計画準備				式	1	1式当り	計画準備				X 3
構造物履歴調査				式	1	1港当り	構造物履歴調査				X 3
図面作成				式	1	1枚当り	図面作成				X 3
現地調査結果整理				式	1	1港当り	現地調査結果整理				X 3
施設機能診断				式	1	1港当り	施設機能診断				X 3
機能保全対策工法 (シナリオ)の作成				式	1	1港当り	機能保全対策工法 (シナリオ)の作成				X 3
対策工法の検討				式	1	1港当り	対策工法の検討				X 3
老朽化進行予測 の検討				式	1	1施設当り	老朽化進行予測 の検討				X 3
コスト縮減効果 (LCC比較)				式	1	1施設当り	コスト縮減効果 (LCC比較)				X 3
機能保全計画の作成				式	1	1港当り	機能保全計画 の作成				X 3
報告書作成				式	1	1式当り	報告書作成				X 3
照査				式	1	1式当り	照査				X 3
打合せ											
設計協議				式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：	1回		X 3
直接経費											
(事務用品費)				(式)	1	1式当り	事務用品費				X 3
(旅費交通費)				(式)	1	1式当り	旅費交通費				X 3
成果				式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本部数：	正副2部 3部		X 3
(漁港施設機能保全計画書作成に係る現地調査は「測量業務」により別途計上を行う。)											
漁港施設機能保全計画書作成(既存計画更新)											
計画準備				式	1	1式当り	計画準備				X 3
構造物履歴調査				式	1	1港当り	構造物履歴調査				X 3
図面作成				式	1	1枚当り	図面作成				X 3
現地調査結果整理				式	1	1港当り	現地調査結果整理				X 3
施設機能診断				式	1	1港当り	施設機能診断				X 3
機能保全対策工法 (シナリオ)の作成				式	1	1港当り	機能保全対策工法 (シナリオ)の作成				X 3
対策工法の検討				式	1	1港当り	対策工法の検討				X 3
老朽化進行予測 の検討				式	1	1施設当り	老朽化進行予測 の検討				X 3
コスト縮減効果 (LCC比較)				式	1	1施設当り	コスト縮減効果 (LCC比較)				X 3
機能保全計画の作成				式	1	1港当り	機能保全計画 の作成				X 3
報告書作成				式	1	1式当り	報告書作成				X 3
照査				式	1	1式当り	照査				X 3
打合せ											
設計協議				式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ：	1回		X 3
直接経費											
(事務用品費)				(式)	1	1式当り	事務用品費				X 3
(旅費交通費)				(式)	1	1式当り	旅費交通費				X 3
成果				式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品： 印刷製本部数：	正副2部 3部		X 3
(漁港施設機能保全計画書作成に係る現地調査は「測量業務」により別途計上を行う。)											

## 業務工種体系化構成表

レベル0	設計業務
------	------

レベル1、2、3、4		レベル5		単位	数値	積算単位	レベル6		明示すべき積算条件	明示すべき積算条件 (記載例)	積算用 条件
項目、工種、種別、細別	規格	[記載例]	積算要素								
漁港施設機能診断(地震・津波対策)											
漁港施設機能診断(地震・津波対策)											
地震動の算定											
設計計画			式	1	1業務当り	設計計画					X 4
資料収集整理			式	1	1項目当り	資料収集整理					X 4
サイト特性の設定			式	1	1地点当り	サイト特性の設定					X 4
レベル1地震動の算定			式	1	1地震当り	レベル1地震動の算定					X 4
レベル1津波地震動の算定			式	1	1地震当り	レベル1津波地震動の算定					X 4
レベル2地震動の算定			式	1	1式当り	レベル2地震動の算定					X 4
耐震・耐津波照査(外郭施設)											
利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・自然条件設定					X 4
土質資料整理分析			式	1	1地点当り	土質資料整理分析	ボーリング本数: 土質種類:	1本 砂質土地盤			X 4
偏心傾斜荷重に対する支持力			式	1	1断面当り	偏心傾斜荷重に対する支持力					X 4
設計計算			式	1	1断面当り	設計計算	構造形式:	コンクリート単塊式			X 4
耐震・耐津波照査(係留施設)											
利用・自然条件設定			式	1	1地点当り	利用・自然条件設定					X 4
土質資料整理分析			式	1	1地点当り	土質資料整理分析					X 4
偏心傾斜荷重に対する支持力			式	1	1断面当り	偏心傾斜荷重に対する支持力					X 4
設計計算			式	1	1断面当り	設計計算	構造形式:	コンクリート単塊式			X 4
地盤応答・液状化の判定			式	1	1断面当り	地盤応答・液状化の判定					X 4
動的変形解析(レベル2地震動)			式	1	1断面当り	動的変形解析(レベル2地震動)					X 4
津波外力算定(津波シミュレーション)											
資料収集整理			式	1	1項目当り	資料収集整理					X 4
条件の設定			式	1	1項目当り	条件の設定					X 4
データ作成			式	1	1港当り	データ作成					X 4
モデリング			式	1	1港当り	モデリング					X 4
演算			式	1	1ケース当り	演算					X 4
計算結果の整理			式	1	1ケース当り	計算結果の整理					X 4
結果の検討			式	1	1ケース当り	結果の検討					X 4
報告書作成											
報告書作成			式	1	1業務当り	報告書作成					X 4
照査											
照査			式	1	1業務当り	照査					X 4
打合せ											
設計協議			式	1	1式当り	設計協議	中間打合せ:	1回			X 4
直接経費											
(事務用品費)			(式)	1	1式当り	事務用品費					X 4
(旅費交通費)			(式)	1	1式当り	旅費交通費					X 4
成果			式	1	1式当り	業務成果品費	電子納品: 印刷製本部数:	正副2部 3部			X 4
直接業務費											
間接業務費											
諸経費											
業務価格											

